明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可

夕刊 滿洲日報 五月廿四日

從來の差別主義を棄て日本移民の比例定員制

米國移民委員會長上院に提出

わが反感緩和されん

【ワシントン廿三日發電】上院移民委員會議長ジョンソン氏は今日上院に於て日本移民にも比例定員を與へることを提案したが、氏の案は一九二四年の移民法に對する日本の反感を緩和せんとするもので現在日本よりの移民は一年約百名で右案に依ると一ケ年五十名乃至九十名の増加を見るに過ぎないが、その根本主義においては從來の差別主義を棄てゝ日本の希望する比例定員を與へんとするものである

軍縮第十九條解釋

國防の缺陷は大いに緩和され日本にとつて好都合

【東京二十四日發電】二十三日の閣議で山梨海軍次官より報告されたロンドン海軍條約第十九條の解釋は第十六條に關聯して目下日、英、米三國において問題となつてゐるが、その疑義を生ずる點は日英米三國は大小巡洋艦の合計保有噸數内において艦齡超過艦の代換建造は小巡洋艦の代りに大巡洋艦を又は逆に大巡洋艦の代りに小巡洋艦を起工建造し只條約期間中に完成せざれば可なりといふやうに條約文上は言譯出來ることに起因してゐる、若しそのやうに解釋するとすれば米國は兎も角日英は小巡洋艦の代換として多數の大巡洋艦を起工建造し得ることゝなり一九三六年末迄の條約期間中は完成せず共日英殊に日本の大巡洋艦勢力は條約規定の比較保有量以上の實勢力となり、さうなれば目下國内問題として喧しく論ぜられてゐる國防缺陷も大いに緩和される事となる譯であるから日本に採つては極めて好都合な解釋である

豫算編成方針は來月下旬頃決定

西下車中 井上藏相語る

【東京廿三日發電】大阪の貯蓄銀行大會等に出席のため廿三日午後九時廿五分東京驛發西下した井上藏相は車中左の如く語る

明年度の豫算編成は頗る困難で補助艦代換建造其他重大なる根本問題がどうなるか全然豫想がたゝぬから編成方針も何とも目鼻がついてゐない、然し海軍問題、減税問題等は取除けて一先づ編成方針を決めることゝし主計局に命じて調査させてゐるが來月二十日前後には閣議で決定する運びにならう、勿論緊縮方針で公債は發行しない、歳入情況は租税收入の如きも相當の減税は免がれまいし國庫剩餘金も殆んど全く期待出來ないから新規施設はとてもやれない、只現下の情勢に照し減税と或程度の社會政策的施設、國際貸借改善施設等は何とかしなければならないからその實現方法等については海軍部内にて海軍費等の目安がたゝぬ内は減税等も何處迄やれるか判明しない、税制整理については來月邊りから調査會を設けたいと思ふ

外國への現金郵送を禁止

【上海廿三日發電】國民政府は本日支那から日本その他諸外國へ價格表記の方法に依り現金を流出せしむるを嚴禁する旨の命令を發布した

漁獲物課税

布哇議員抗議

【ホノルル二十四日發電】ハワイ代議士ハウストン氏は市民權の無い外國人の漁獲物に關税を課する事は通商條約違反なりとしてワシントン政府へ抗議を申し込んだ

けふの寫眞

（上）李王垠殿下には二十二日世田ケ谷、國士館中學部に御成遊ばされた　寫眞は學生の奉迎裡に御入場の殿下　先頭は水野總長（下）は近く除幕式を擧げる上野の竹の臺に設置のグランド將軍來朝記念碑

支那の南北戰

到る處混戰

現在一勝一敗の形勢

【天津特電二十四日發】南北の戰ひは例によつて兩派の宣傳が盛んで殆派の丁士源氏が「今や新聞を看るの必要がない」と慨嘆したやうに、その眞相を捉へることは困難で例へば南方では

今次の戰は民國最後の封建軍閥閻錫山、馮玉祥を討伐するものであるが大義名分に照し彼等の自滅はたゞ時間の問題だ、故に早くも山西派の巨將商震、傅作義、王靖國等は內應すべく決定すると共に去る十日からの戰は北方の雜軍所在に敗れ歸德の如きは夙に陷落した鄭州の占領も數日の後であらう

と吹聽し又上海南京電報賑々しく南方の勝利を報じてゐる、これに對して北方では

吾等はたゞ背叛國の蔣中正一人を討伐するのみ、義軍の嚮ふ所敵なく早くも陳調元軍（阮肇昌氏の部下李松山、張彬の二師）の一部は濟寧で石友三軍に寢返り更に蔣介石氏の信賴せる王均楊勝治、王金鈺、郝夢齡の諸將は全軍を率ゐて內應することになつた、假りにドイツ人顧問が指揮してゐても南方の軍心は既に蔣氏に離叛したから南京を陷すことは一、二週日後であらう

と宣傳してゐる、孰れを聞いても景氣のいゝ話だが事實はこれに反し戰局は所在に混戰に陷り一勝一敗の形勢に在るものゝ如く遽に勝敗を斷じ難いのが實情である、而して今次の戰ひは蔣、反蔣兩派の天下分け目の戰ひで更 戰線の長さ、參加軍隊の多數は民國未曾有と稱せられ實戰と共に買收政略も併せ行はれつゝある爲め蔣介石氏は勿論、閻錫山、馮玉祥氏さへ前線に出馬し血みどろとなつて一切を指揮してゐる、今兩派の宣傳臭きものを抜き當地にて得たる信ずべき情報を綜合すると現今の戰況は大體次の如くである

隴海線方面

南軍は浦口に在つた教導團をも動員し之に直系部隊たる劉峙、顧祝同、陳繼承の精銳を加へ去る十日より隴海線に展開し、亳州、鹿邑夏邑、歸德等に在つた北軍の孫殿英、萬選才、劉春榮各軍に猛烈なる攻擊を加へつゝあるが、北軍善く防ぎ各部隊とも城內に據つて包圍されつゝ戰ひを交へてゐるが大體において北軍危うしと見られ爲めに山西軍の孫楚、張會詔の二軍が急援に赴き二十日頃から戰ひに參加した、勝敗は不明であるが北軍不利と雖も城內に據る强味があるので急には同方面の勝敗は決せられない模樣である、蔣介石氏は徐州、碭山を往復して指揮してゐる

山東西部方面

隴海線の開戰と共に曹州、東明方面の石友三軍は急に行動を開始し濟寧、袞州を目標にして進擊中、石氏は山東省政府主席に內定してゐるので黃河に背水の陣を布き非常な勢ひを以て進みつゝあるが、これに對し南軍の范熙績軍は濟寧魚臺の線に防禦陣地を築き守勢を取つてゐる、その一部は前記の如く阮肇昌氏の二師が石軍に寢返つたので南軍は泰安の馬鴻逵軍碭山の陳繼承軍から一部づゝを割いて應援せしめつゝある、今日のところ尙主力戰に入らないので戰況は不明

平漢線方面

南軍は蔣鼎文軍を主力としてこれに王金鈺、上官雲相、岳維峻の各軍を加へた有力なる部隊を以て東隴海線の攻勢に呼應して許州を目標に北進中であつたが北軍の樊鍾秀軍善く防ぎ却つて南軍を擊退したと傳へらるゝ一方、臨汝方面から馮軍の龐炳勳軍は東南に進み北上しつゝある南軍を脅迫したので目下激戰中である、更に湖北の西部襄陽方面においても張維璽、劉汝明、田金凱等の馮軍南進を開始し南軍の楚芝蘭、范石生、楊虎城等の各軍と所在に交戰中、この方面は目下のところ南軍やゝ不利である

山東北部方面

津浦線の北段では依然山西軍（傅作義、李生達）と韓復榘軍と對峙してゐるが北軍としては右翼石友三軍を援助せざるを得ないので山東西部の戰況と共に近く行動を開始することにならう、之を要するに南軍は北軍の前在る雜軍を先づ擊破し機先を制して主力戰に入る作戰で蔣介石氏の拙速主義が快よく發揮され既に去る十日から猛烈に攻擊を加へてゐるが、雜軍は土匪上りで地理に詳しく且城內に據つて住民を抱へてゐる爲め戰ひは急速に進まないことや、西北軍は雜軍を陣前に立て友軍を顧慮して主力の集中を怠つてゐたこと等がそれである、しかし今や西北軍の主力（孫連仲、宋哲元、劉郁芬、孫良誠等）も鄭州一帶に集結を了り山西軍も續々兵力を前線に輸送すると共に閻馮兩氏も指揮線に立つたから兩軍の主力戰はいよ〳〵こゝ數日中に開始されやうが殆ど空前絕後と觀られる大戰亂ではある

日本は太平洋における平和の擁護者である

送別會席上、駐日米大使演說

【東京廿四日發電】駐日米大使キヤッスル氏は廿七日歸國の途に就くので日米協會では二十三日午後六時半から華族會館で盛大な送別晚餐會を開き會長德川公主催者側を代表して送別の辭を述べキヤッスル大使は大要左の如き演說をなし滿場拍手裡に十時散會した

日米兩國は往々にして他を誤解し又日本は屢々アメリカを以て日本の極東における勢力を害はんとするものとなし、アメリカは時に日本を目するに東洋において禍の心を有するものとなしたのであります、而してロンドン會議後の信賴と友情との新時代においては從來よりも更に易く學び得ることは何であるかと申しますれば日本の極東における利害は最も重大であつて日本の對支貿易は何よりも自由であるが故に日本は太平洋における平和の擁護者であらねばならぬといふことであります【寫眞はキヤッスル大使】

閻軍總豫備隊出動

隴海、津浦兩方面に急派電命

北平の軍事行動緊張

【北平二十三日發電】閻錫山氏は各方面の戰況不利のためいよ〳〵北平附近に殘留せる總豫備隊を繰出すべく第四路總指揮張蔭梧軍を隴海線方面に急派し更に第五路軍總指揮李服膺氏に即時津浦線方面に出動を電命した、當地の軍事行動は俄に緊張を呈して來た

實業團の反對に無產黨對抗

勞働組合法實現期待

【東京二十四日發電】第五十八議會において內相が屢々言明したことに依り勞働組合法の來議會提出が確實性を帶びて來た折柄工業俱樂部を中心に全國の十數實業團體が大規模な組織的反對運動を起さんとしつゝあることは勞資の階級的對立をます〳〵尖銳化するものであるとして注目されてゐるが果然無產各派では勞働組合法獲得無產黨協同鬪爭委員會を設置し實業團體の反對に對抗すると共に政府を鞭撻して之が實現を圖ることに決し二十四日午後社民、大衆、勞農三黨の書記長會議を開き具體的對策を講ずることゝなつた

沿海州暴動原因

强制勞働者二萬人派遣に生活不安に襲はる

【ハルビン特電二十四日發】浦鹽よりの報道によると沿海州地方は今にも反ソウエート勞農民が暴化するやう傳へられてゐるが、その眞相によると最近ロシヤ本國から强制勞働者（囚人）約二萬人を極東に派遣し各地の炭礦に使用した爲め以前の坑夫は失業の不安に襲はれて反對し、スウチヤン炭坑に同盟罷業を起し官憲と衝突し多數銃殺されたと傳へられる

東鐵管理局の罷業對策

【ハルビン特電二十四日發】露領沿海州スウチヤン、イマン、スパスカヤ地方に石炭坑夫の同盟罷業あり、當地ロシヤ人を刺戟してゐるが、東鐵管理局にては從業員が罷業した場合處分する方法として管理局がその調停者となり、法規に遵ひ處罰することゝした、その法規は一九一九年の同盟罷業に適用したと類似のものを以てすると共に一九一一年のペスト流行に際し多數の機械工が十日に亘り罷業したので、管理局は彼等を解雇し更に採用したが何れも位置を一個年間低下したことがある

總裁、張長官に靈感を說く

剝製の虎の置物から

張學良氏の仙石總裁招待宴

【奉天特電二十四日發】滯奉中の滿鐵仙石總裁は二十三日夜七時から城內張長官々邸における晚餐會に臨んだ、日本側は仙石總裁、藤根滿鐵理事、鍋島秘書役、古仁所公所長、鈴木特務機關長出席、支那側は主人公張長官、臧式毅、榮臻、王樹常、張煥相、王鏡寰諸氏、顧問の儀我、芝山兩顧問出席、張長官の挨拶に次いで仙石總裁謝辭を述べ、總裁は努めて禁酒に箸をつけ互に杯をあげて健康を祝し合ひ同八時閉宴、宴終つて仙石總裁と張學良氏は陶尚銘氏の通譯にて別室にて腹藏なき意見の交換をなし、そこにあつた虎の剝製の置物から

「澤庵和尚が掌で虎の口を撫ぜたが虎は柔順しく和尚の愛撫を受けた、虎も和尚の誠に心を和げたのでどんなことでもすべて誠をもつてすれば通らないことはない」

と總裁が語り、人間の靈感は一概に迷信とは言はれないと東西の神

郵貯二千餘萬圓

預金者數二十八萬人

【遞信局廿三日現在調査】

關東遞信局では四月より貯金課員總掛りで郵便貯金四年度分の利子計算に着手し文字通りに晝夜兼行でその完了を急いだ結果本月二十三日を以つて約二十八萬の預け人原簿全部に對し利子元加の計算を完了した、元來郵便貯金の利子は毎年三月末日を區切つてこれを計算し元金に加へる結果として滿洲では計算のために五月末日迄は利子記入の請求には應じないことになつてゐるが本年は係員の努力で便宜右期間內でも利子記入の請求に應ずることにした、希望者は最寄の郵便局に通帳を提出して欲しいとの事である、因に四年度の元加利子總額は九十七萬七千四百九十圓六十錢でその元加の結果本月二十三日の現在では實に二千三百九萬餘圓の多額に達し預け人員また二十八萬五千四百餘人の多數を算するに至つた

反英運動の首腦投獄

【ボンベイ廿三日發電】ナイヅ女史は二十三日禁錮九ケ月の判決を言渡された斯くてガンヂー氏の第二の後繼者も遂に投獄さるゝ事となつた尙ガンヂー氏の息マニラル、ガンヂー氏は重禁錮一年イマムサット氏は同六ケ月の判決を受けた

反英中心地を軍隊占領

【ボムベイ二十三日發電】反英運動の中心ダラサナ村に對し遂に當局の彈壓の手下り同村は軍隊の占領するところとなつたが、これがため本日再び同地の部分的ボイコットが開始され株式取引所、棉花市場は閉鎖された

滿鐵の扈從者歸連

秩父宮殿下の沿線御視察に扈從中であつた滿鐵藤井秘書役は廿三日夜着連したが平野學務課長は二十四日、市川營業課長、清水工務課長、太田運轉課長、保々地方部長貝塚旅客係主任等は二十四日夜歸連の豫定

電話に話がついて、九時半長官邸を後に仙石總裁は宿舍ヤマトホテルに歸つた、なほホテルに一泊の總裁は二十四日午前十一時ヤマトホテル出發正午から省政府主席臧式毅及び省政府委員全體の招宴に臨んだ

淺野氏等歐米視察

廿三日歐洲へ

【ハルビン特電二十四日發】二十三日歐亞連絡列車で田中館博士、淺野總一郎氏外歐米視察の沼田少佐等十六名歐洲へ向つたが、淺野氏は「健康には旅行することだ」と冒頭し

ベルリンの燃料會議に出席しドイツの復興、世界の製紙、製鋼等產業界を視察して來る、豫定は約半ケ年だ

と八十三歲の老翁とも見えぬ元氣で、僅に七時間の休憩を利用して市內を一巡し、岡三菱支店長に「當地で事業をすれば何がよいか」と聞き「麵粉、製油も日支關係上事業は難しい」との答を聞いて「それではひとつ圓滿に行くやうせねばなっぬ」と何處までも事業本位の視察に岡氏を驚かした

宮崎氏郵船入說

【東京二十四日發電】二十三日依願免官となつた管船局長宮崎淸則氏は日本郵船會社入社說が傳へられてゐるが、郵船當局は固く緘して語らない

東鐵電信權

第二案を作成

【ハルビン特電二十四日發】東支鐵道、露支電信權交涉は既報の如く骨拔案となつたが、支那側代表李德言氏は右東鐵ロシヤ委員の答をもつて滿足したものではなく二の具體案を提示する意嚮であると稱し東鐵電信局を視察調査した上と每日午前九時から午後三時まで委員と電信局に詰めかけ研究してゐる

市議補選の有權者身分照會

大連市では今秋施行される補缺選擧に關し二十四日から選擧人名簿作成のため原籍地の市町村役場に對し選擧人の生年月日、犯罪の有無等の身分照會を發送したが、一萬五千通に達する見込みであると

大觀小觀

勝つた、勝つたの相互宣傳、南か北か、戰爭には誂へ向の好季だが結局は、うやむやの裡にすくみか。

◇

張靜江の和平提唱、奉天側の觀通電の噂など、双すくみの前兆と觀るべく、うやむやの兆、早くも認めらる。

◇

併し、北も南も、景氣のいいと夥だしい。

◇

が、河南一省だけの罹災民、千五百五十七萬一千五百五十四と註せられる。

◇

三千三百萬中、一千五百萬の難民、支那民衆は何處へ往くのか。

◇

胡藤さき匂ひ、今や一年中の好佳期、體育のシーズン、その高調を示す。市民運動會も近きにあり。

天氣

廿五日（南西の風）晴一時曇

滿潮　午前八時二十五分　午後八時三十分

干潮　午前一時五十分　午後二時三十分

極東オリムピック大會

けふ、神宮競技場に華やかな開會式

秩父總裁宮の令旨を文相捧讀　百米豫選に火蓋切る

【東京二十四日發電】第九回極東選手權競技大會の劈頭を飾る開會式は二十四日正午から盛大に擧行された、會場の神宮競技場入口は紅白の幔幕を張り廻らし大國旗を交叉して、メインスタンド屋上のポールには日、比、支、印の參加四國の國旗が揭げられて飜飜と初夏の風に飜へる、待ちに待つた滿都のファンは午前九時頃から早くも會場目がけて押寄せ定刻前には一萬五千人を容れるスタンド、五萬人を收容する芝生席の八分通りは埋められた、東京比律賓人、中華民國人各々數百名が一團となつてスタンドに陣取つてゐるのも國際大會ならでは見られぬ光景である、正面の來賓席には大會副總裁田中文相を始め各方面の名士、外交團がズラリと顏を揃へ夥だしい婦人客の翳すパラソルが色とりどりに外苑の綠に映えて、如實にスポーツ時代を物語る、やがて

朗らかな 行進曲のリズムが場に流れて正十二時信濃町口から陸軍々樂隊を先頭に禮服に威儀を正した總務委員の諸氏これに次ぎ、各自國の國旗を捧げた旗手は選手代表二名宛を從へ中、比、印日の順序で其の後に續き、茲に華やかな入場式が開始された紫、紺白、赤等様々のユニホーム姿可憐な女子選手の列に續いて健康美そのものゝ様な男子選手が潑剌たる姿で隊伍堂々と行進をつゞける、怒濤の如き滿場の拍手を浴びながら六百餘名の選手は堂々場内を一周して再び信濃町口側に中、比、印、日の順序で整列した、五萬の觀衆が一齊に脱帽する中に嚴かな

君ケ代の 奏樂行はれ終つて田中文相は秩父總裁宮殿下の令旨を捧讀、續いて極東體育協會長岸淸一氏開會の辭、濱口首相（鈴木書記官長代理）は外國選手に對する歡迎の辭を、國際オリムピック委員嘉納治五郎氏は祝辭をそれぞれ朗讀して意義ある大會に滿腔の祝福を送つた、これに對して支那代表張伯苓、比律賓代表ブアルガス、印度代表マカージ三氏の答辭が濟むと引續き四國選手代表に依つて

嚴肅なる 宣誓が行はれ、總務委員長平沼亮三氏起つて茲に愈々競技大會開會の旨を宣し、都下男女中等學校生徒一千餘名の壯快な大合唱の唱和につれ白地に赤くFEAAのマークを染め拔いた榮譽ある大會旗は場内正面の檣頭高くスルスルと揚げられ拍手と歡呼の中に茲に目出度開會式を終つた、この時陸海軍、各新聞通信社東京鳩の會等の一千七百羽の傳書鳩はスタンド下から羽聲立てゝ一齊に空高く舞ひ上り、競技場空前の異彩を放つ、斯くて

奏樂裡に 選手一同退場午後一時半から商明大職合軍對早慶職合軍のオープン、ホッケー競技が開始され、同三時競技場を包む興奮と緊張の裡にいよいよ陸上個人選手權競技に入り火花を散らす百米豫選のスタートが切られた

秩父總裁宮令旨

茲ニ第九回極東選手權競技大會ヲ東京ニ開ク、本會ハ之ヲ組織スル各邦人士相互ノ信頼ト協力トニ依リ益々盛大ニ赴キ、今又新ニ印度ノ參加ヲ見ルハ欣快ニ堪ヘス、余ハ諸子カ克ク本大會ノ趣旨ヲ體シ平素鍛錬セル身體ト技術トヲ以テ相競フト雖モ常ニ公正ノ心ヲ持シ恭讓ト友愛トヲ失フコトナク以テ運動競技ノ精神ヲ發揮シ且ツ友邦親善ニ資センコトヲ望ム

陸上競技　第一日組合

【東京二十四日發電】極東大會第一日陸上競技組合せ左の如く決定した

▲百米豫選　A組、南部、佐々木、ネポムセノ、カンダリ、周兆元、劉長春、ハミッド　B組、吉岡、阿武、ゴンザガ、ブンダウエラ、郝春德、鍾連基、サットン

▲高障碍豫選　A組、ハミッド、ニカノール、ポータシオン、三木、藤田、林紹洲　B組、淺川、岩永、龐鼎華、カシアス、カドレス

▲二百米豫選　A組、劉長春、岡大限、ネポムセノ、ゴンザガ、周恩德、B組、佐々木、吉岡、鍾連基、周兆元、ガンダリ、サットンブンダペラ

▲低障碍豫選　A組、カシアス、カドレス、程錦官、池田、淺川、B組、三宅、梁甚平、ピラヌエベ、ニカノール、阿武、ハミッド

▲四百米豫選　A組、劉長春、朱瑞洪、カンダリ、ホワイト、石原、蒲田　B組、王健吾、麥國珍、西、中島、アランブラ

▲千五百米決勝　津田、北本、角谷、西浦、ヤタール、ヌド、グレー、ヂイアス、姜雲龍

あすの競技

【東京廿四日發電】明二十五日の競技種目左の如し

陸上、個人選手權（午後零時十分）▲蹴球、日本對比律賓（午後三時）▲野球、日本對比律賓（午後二時）▲庭球、日本對比律賓（午後一時）▲排球、女子エキジビション（午後一時）比律賓對中華　午後三時）▲籠球、女子エキジビション（午後六時）比律賓對中華（午後七時半）▲ホッケーオープン競技（午前十一時）未定

驚嘆の大出版

目下發賣中の『昭和天覽試合』は、宮內省よりの御下命に感奮して價格十圓以上のものをタッタ三圓八十錢といふ講談社一流の大犧牲出版！一家一冊是非備へられよ！

日本大相撲　千秋樂の取組

【東京二十四日發電】日本大相撲夏場所千秋樂の取組左の如し

綾浪（伊勢海　荒熊（藤ノ里
肥州山（吉野山　若瀬川（幡瀬川
若常陸（大島　外ケ濱（綾昇
古賀浦（雷ノ峰　太郎山（眞鶴
山錦（新海　常陸島（和歌島
劍岳（寶川　清水川（鏡岩
出羽岳（武藏山　信夫山（天龍
若葉山（錦洋　能代潟（朝汐
玉錦（常陸岩　大ノ里
豐國（玉錦　宮城山

結婚オヂヤン　珍劇一幕　判つて見れば藝妓なり

市內日出町九の二奧田虎吉＝假名＝は妻の姪である小倉市平松町春吉長女西村トキ（一七）を、自分の知人に周旋せんと來連するやう促してゐたところ、廿三日トキの親元より去る十七日着の定期船でトキが大連に赴いたからとの依賴狀が來たところが本人の姿が一向に見えないので奧田方では心配のあまり大阪商船について取調たところ十七日着のはるぴん丸に確實に乘船し、行き先きは得勝街であることも判明した、奧田は不安のあまり小崗子署に搜査方を依賴したので同署で取調たところ、船客名簿に同じく得勝街行きの同船者があるのであるひは誘拐されたものではないかと取調た結果、同船者市內得勝街料理店金時柳井光雄（三二）が既に門司において藝妓稼業をして居るトキを兩親の承諾を得て千二百圓を出して抱へ入れたこと判明、折角の結婚話もオヂヤンになつた

田中文相の四國選手歡迎會

（下）神宮外苑競技場入口のアーチ

田中文相は二十二日午後二時より極東大會出場の四國選手を上野精養軒に招待して盛んなる歡迎會を開催した（寫眞上は起つて挨拶中の田中文相）

州內庭球戰　參加者注意

本社主催の第十四回州內庭球大會はいよいよ二十五日午前八時より露西亞町、北公園兩コートに於て擧行されるが、參加チーム百二組の大多數であるから參加者は左記注意事項を嚴守せられたし

一、午前八時入場式（北公園コート）

一、試合は豫備戰より開始ず

一、出場者は試合開始後は割當られたるコートに參集せられたし

一、次位の組の試合終了迄に未參者は棄權と見做す

一、試合進行上必要と認めたる場合は他のコートを使用することあるべし

姑の虐待に　離婚請求　たまりかねて

市內千歳町五十番地カトリック教會內小田實は熊本縣天草郡本渡町居住の小田チホに相手取られ離婚請求の民事訴訟を二十四日大連地方法院民事部に提起された、理由は原告チホは大正十五年五月被告實と正式結婚したが樂しかるべき新婚生活は僅か二、三ケ月で淚の生活に變つた、といふのは姑のマスは何故か花嫁チホを嫌ひ虐待の限りを盡すので、チホは三度まで家出したが、そのたびごとに連れ戾されてゐた、處が同年十二月姑マスはチホに盜癖があるなどと無根の說を担造し侮辱を加へるのにたまり兼ね遂に鄕里に逃げ歸り再三離婚を迫つてゐるが、實は宗敎上斷じて離婚は出來ぬと應ぜぬといふのである

醫大、工大

演ぜられ結局醫大側大將を殘して一勝し、先づ一勝を擧げた、成績左の如し

醫大		工大
山下（一級）	分	中島（一級）
古野（同）	分	佐々木（同）
德永（初段）	分	津村（同）
菱沼（同）	分	水谷（初段）
川畑（同）	跳腰	北川（同）
安畑（同）	分	三ノ宮（同）
安武（同）	分	中田（同）
草場（同）	分	溝口（同）
門脇（二段）	分副將	岩崎（初段）
副將松澤（同）	分將	大小山（二段）
大將沼野（二段）	不戰勝	

一方庭球試合ダブルスの結果は左の如く醫大輕く工大を屠る

庭球ダブルス

醫大		工大
椎名・馬場	六―三、六―三	百田・藤井
眞子・山葛	六―二、六―四	黑羽・黑凱

市內荒しの二人組捕はる　贓品は入質して遊興に費消　連日にわたり犯行

最近市內に二人組の竊盜犯人が潛入し、盛んに各所を荒し廻るので大連署司法係で嚴探中、廿三日午後十時ごろ市內若狹町四七番地正木喜七方へ何者か忍び入り衣類數點時價三百圓を盜み去つた屆出あり、同署では直ちに刑事總動員の下に市中質屋を片端から臨檢し贓品の發見に努めた結果、犯人が

逢坂町 遊廓に繰込んだことを突き止め、嚴重張込中、二十四日午前一時ごろ愛媛樓に登樓した首魁一名を逮捕、殘り一名は旅館に逃走中を手配により同夜八時ごろ旅順署の手で取押へた、首魁は佐賀縣生れ住所不定前科一犯市丸儀一郎（三〇）共犯者は山形縣生れ住所不定小野寺虎雄（三〇）とて、本月十八日兩名共謀で市內三河町二七番地高橋德次郎方に忍び入り衣類三十五點時價約千圓を竊取したのを手始めに、二十日二葉町百十一番地川本陸士方で衣類百三十八圓、越後一日は西公園町渡邊新平方で現金十五圓外數軒で約二千圓の盜みを働き何れも入質遊興に費消した旨を自白した、市丸は小倉聯隊で上等兵勤務中、詐欺罪で軍法會議に廻され、懲役四ケ月を服役してから靑島方面を流浪、五月初旬來連し小野寺を引き入れて空巢専門に惡事を働いてゐたものである

秩父宮　京城に御着

【京城二十三日發電】秩父宮殿下には本間御附武官を從へさせられ二十三日午後八時五十分京城驛着列車で初の御入城遊ばされた、驛頭には齋藤總督、南軍司令官、兒玉政務總監以下官民多數奉迎申上げた、殿下には總督府差廻しの自動車に召され沿道堵列の軍隊、在鄕軍人、靑年團、學生その他の奉迎裡に朝鮮ホテルに入らせられ貴賓室に齋藤總督、南軍司令官、兒玉總監、朴泳孝侯等に謁を賜はつた

時の記念日　協議會　廿六日開く

來る六月十日は「時」の記念日なので市役所ではこれが宣傳方法に關し二十六日午後二時から協議會を開催し左記事項に就いて種々討議すると

一、宣傳ビラを小學校、公學堂、靑年訓練所および各中等學校生徒を通じ一般に配布の事、宣傳ビラの樣式等は市に一任すること

二、當日正午各電車、乘合自動車內乘客に對し「正午ですから時計を合せて下さい」と擔當車掌に於て注意すること

三、當日正午より二分間碇泊船、工場、機關車の汽笛を吹鳴する外消防隊の半鐘を打つこと（船舶に對しては海務局より滿鐵關係工場、機關車等に對しては滿鐵社會課長より其他の工場に對しては警察側より交涉を願ふこと）

四、前項時刻に各寺院の鐘を鳴らすこと（佛敎團體世話人より各寺院へ交涉を願ふこと）

五、當日各小學校、各中等學校に於て時に關する講話を爲すこと（小學校長會幹事より交涉を願ふこと）

六、當日時計商は可成「時」に關する宣傳的裝飾を爲すこと

七、當日時計商組合は市內適當の箇所にて「時」の宣傳を爲すこと（六、七項は時計商組合に於て盡力すること）

八、前日及び當日「ラヂオ」で「時」に關する講話を放送すること（本講話に關する一切の交涉は放送局に依賴すること）

九、當日は各種會合の時間を特に勵行する樣注意すること

好天に惠まれ醫、工大　對抗競技開始さる　長旒を押立て鉢巻姿の應援團　醫大先勝し意氣昂る

第四回滿洲醫大對旅順工大の對抗競技は廿四日　八時工大コートにおける庭球試合によつて切つて落された、この日西風やゝ强きも一天晴れ渡る好の運動日和、兩軍の應援團は醫大は赤、工大は白える、一方振武館においては午前九時から柔道の試合が始まつた、ほの暗き道場に互に鉢卷、白シャツの應援團が後に控へて兩軍の軍の應援團は醫大は赤、工大は白と源平の旗を見るが如き十數旒の長旒を朝風になびかせてコートの南北に陣取り、大太鼓數個を中心に左右に應援歌を高唱して氣勢を添

肉彈相搏つ 猛烈な戰ひが

奉大兩滿倶　野球戰　あす午後二時　滿倶球場で

滿洲倶樂部では對大連實業野球戰を控へての前哨戰として沿線の强豪奉天滿倶を邀え廿五日午後二時から滿倶球場で一戰を試みること、なつた、奉天軍は本年新たに同志社大學其他から三、四名の新選手を入れ必勝を期してゐるから面白い試合となるであらう、なほ同軍は廿四日夜來連あづま旅館に投宿の筈

危險倉庫に預りの武器　劉珍年の手に

さきにドイツ汽船リックマース號が奉天行並びに芝罘の劉珍年宛の武器百十噸を正規の護證なしで大連港に陸揚げせんとして問題を惹起し、引續き國民政府と當時去就明かでなかつた劉珍年行武器をそのまゝ渡すは飼犬に手を噛まれるやも知れずとて總稅務司の手でこれを取敢ず海關の手に沒收、奉天行武器のみ營口經由奉天に渡したが、その後芝罘行武器は寺兒溝の危險倉庫に保管中であるが、支那時局もその後幾變轉して最近に至り灰色であつた劉珍年軍が全く蔣介石側に加擔したのを見屆けるや國民政府は山東における反蔣軍討伐を劉珍年の手に一任する事となりさきに海關の手で保管中の武器をこれが代償として手渡す事となつた、因に該武器は小銃五千挺彈丸五百萬發であるが劉は正規の手

日曜の催物

▲大連遞信倶樂部運動會　大連運動場にて午前八時より

▲關東州內庭球大會　北公園露西亞町兩コートにて、午前八時より

▲全滿排球大會　大廣場YMCAコートにて午前九時より

▲野球戰　滿洲倶樂部對奉天滿倶戰、午後二時から滿倶球場で

▲觀世會月次會　午後六時薩摩町八三渡邊師宅にて

▲素謠　嵐山、兼平、西行櫻、櫻川、鵜飼、連吟、弱法師、鉢木

▲獨吟、鞍馬天狗、八島、加茂、竹生島、忠度、小袖曾我

山崎專助氏

埠頭輸入係助役山崎專助氏は豫て紫斑症にて入院加療中、腎臟病を併發し遂に廿三日午後八時五分死去した、葬儀は廿五日午後四時から市內播磨町常安寺で執行

船倉興助氏二女とし子（五つ） 大連水上署員船倉興助氏二女とし子（五つ）さんはかねて病氣のところ四日午前一時死去、二十五日午後四時より東本願寺において葬儀執行の筈

山崎專助儀永々病氣の處廿三日午後八時五分逝去致候間此段生前辱知各位に謹告仕候

追而葬儀ハ五月二十五日午後四時常安寺に於て相營可申候

昭和五年五月二十四日

妻　せつ
兒　伊與作
親戚一同
友人一同

艶色生膽祕譚 (121)

伊藤松雄作　河原঳鶴太郎畫

お庫燒打 (五)

「礙にありやア警備船に違ひありませんぜ」

「うむ」

三藏の言葉に左近はぢつと腕組して考へこんだが、ポンと小膝をうつて、

「さ、化けろ！一思ひにのつきつて首尾の松へつけるんだ」

「よからう」

亮之助は仕掛綱を再び引くとも
と〳〵通りいかにも夜釣にでも出たらしい猪牙船形、不器用乍ら鼻唄まじりに櫓へとりついた。

「あ、いけねえ、そんな漕ぎ方ぢやア、危なくつて見ちやアゐられねえや」

三藏は立ちかかつたが、

「待て、そちにはこれから大役があるんだ」

「あッ、さうだつけ、おお太夫さん、さ、こつちへ来てゐるなよ」

「ペッ……砲擬船に化けりやア世話アねえ」

ブックサ云ひ乍らも三藏右手をグイと伸ばして、板片で拵へた船艪の供養盞から赤の燈明皿をとつた。

「これでようがすかい？」

化け船の舳へ置くと、

「よからう、そこで三藏、俺達はトマ下へもぐつてゐるんだ。亮之助殿も小腰をかがめて漕いで貰はうか、つまり見張番人に砲擬船と思はせりやアいいんだ」

「違へねえ」

三藏は太夫を抱へこんで息をひそめた。

宵から吹いてゐる南西の風、川面はひとしほ荒く、波立つてゐる中を櫓擊忍ばせお藏をめざす。

恰度八ッの突出しの中央に當る築土には、コンモリと茂つた常盤木がその根をおうまかに張つてゐる。

亮之助はぢつと耳をすませた。

「やつつけるか！」

「うむ」

「藏の軒下隙にこの火藥包を一丁宛はさんでくるのだ、これがこやつの仕事よ、よいか、それからこの口火繩を一ト所に納めて、それへ火をつけるのが三藏の仕事だ、で、亮之助殿は水面見張り、それがしは上下を見張らう」

大きくうなづいた三藏、グイと猿の太夫を抱いたまゝ築土へとびおりると聲をひそめてその耳に囁いた。

「太夫たのむぜ、ほれあの軒隙ひだ、八百屋お七よ、いいか判つたかな」

魚舗へ乍ら情婦から傳授されたか、それとも重五郎から習つたか、ひどく手練れてるらしく猿の耳に囁いたのち火藥包みを二三丁とりだしてその手に摑ませた。

と、猿の太夫は眼つぶしの紙袋と間違へたものか、ヒヨイと前方へむかつて投げつけやうとする。

「オッといけねえ、困るなアさつきたア違ふんだぜ」

「おい三藏大丈夫か、うつかり投げられたら大變なことになる」

左近は氣づかはしげに見守つてゐる。

再び猿を手許へよせてぢつと下流を睨んでゐる。

船は上げ潮に逆らつて左手の岸をめざして下る。

うつとりと空にそびえた首尾の松。

「ああ、左近様、あの松蔭にやア川船役所があつたつけ」

「何と申す？」

「左近殿、あせるな、よい〳〵流し放題やるから、釣糸でも垂らしてゐてくれ」

さう云ふ間でも赤い灯は次第に近づいてくる。

「なアんだ戯談ぢやアねえ、砲擬だ」

「え？」

「あいつア船頭の倅かなんかが砲擬で死んだんで、供養のために流したんでさア」

三人は低く笑つた。

近寄り見れば正しくそれに相違なかつた。

「よし、三藏その赤い灯をとつてくれ、この船へつけるんだ」

「縁起でもねえ」

「莫迦、この燃縁起不縁起が云つてゐられるか」

「さうともさうとも」

たが、そこへピタリと化け船をつけて樣子如何にとうかがへば、遠く警戒の柝の音はきこえるもの丶近くには見張番人の咳ひとつ起らない。

「刻限は？」

「さやうさ」

第七回 滿日勝繼碁戰 (井上氏一回勝 二回目)

先二子先番　井上太市氏　瀧田俊介氏

—【3】—

●四一リの十七　○四二ワの十五　●四三カの十四　○四四リの十五

●四五ニの十三　○四六への十四　●四七への十三　○四八ホの十二

●四九への十四　○五〇ロの四　●五一ロの三　○五二チの三

●五三ヌの五　○五四チの五　●五五ヌの七　○五六チの七

●五七ホの八　●五八ヌの八　●五九ルの八　●六〇ルの四

▲清水二段講評　白四二は(い)に尖み頂け黒(ろ)の時(は)に飛んで打つ方優らん黒五七は好點なるも大勢上尚一歩(に)に單關するを要す

本社主催で開催する
甲賀三郎氏等の
獵奇探偵趣味漫談と音樂の夕べ
來月七日協和會館で

しば〳〵來連を噂されて居た日本探偵小説界の元老甲賀三郎氏は、いよいよ本社の招聘に應じて、いよいよ本月末東京出發、陸路滿洲の旅につく事になつたが同氏と共に既報の如くソプラノの名手鮫若初代孃、新進テナー黑田進氏も來連する筈で、途中京城に於て「漫談と音樂の夕」を開催し、來月五日大連着、同七日(土曜日)夜滿鐵社和會館に於て、本社主催、滿鐵社員俱樂部後援の下に「獵奇探偵趣味漫談と音樂の夕」を開催する事に決定した、今や、全世界をあげて探偵小説時代を現出し、獵奇と探偵趣味こそ時代の尖端を行き、モダンのトップを切る物とさへ云はれてゐる此の時に當つて、本社が特に甲賀三郎氏を招聘する此の催しは恐らく全市の人氣を此の一點に集中する事と豫想されて居る尚同一行は大連より旅順其の他沿線へも出かける豫定で、沿線に於ける漫談會の開催は目下打ち合せ中である

社員俱樂部の
兒童映畫デー
父兄の來會をも希望

滿鐵社員俱樂部では兒童の爲に三月に第一回兒童映畫デーを催して大成功をおさめたが、つゞいて來る二十五日午前十時及び同日午後一時半との二回に亙つて協和會館に於て第二回兒童映畫デーを催す事になつた、會費は大人二十錢小人十錢であるが、社員俱樂部に於ては此の際兒童と共に父兄の來會をも非常に希望して居ると、尚其のプログラムは次の如きものである

一、國歌　君ケ代　(一卷)
二、運動　輝くスポーツ　(一卷)
三、日活映畫兒童劇　春は又丘へ　(六卷)

大連 JQAK

五月廿五日午後七時

▲童謠(イ)ナイトナイトさん(ロ)ポチトカロ　獨唱平井英子
▲ソプラノ獨唱(イ)四葉のクローバ(ロ)ニーナの死　同關屋敏子
▲新民謠(イ)石見小唄(ロ)伯耆小唄　唄佐藤千夜子、同二三吉
▲新小唄「踊る黑猫」獨唱二村定一
▲ジャズソング「舞踊行進曲」同同
▲小唄「吉原雀、四季の歌」唄、三絃祇園初太郎
▲浪花節「由井正雪」四面　木村友衛
▲同「青柳瀬氏の白旗」同同
▲新小唄「銀座セレナーデ」唄二三吉
▲歌謠曲「空[illegible]島」獨唱佐藤千夜子
▲ボート唄「灘の朝霧」合唱徳山璉
▲同「同」唄、三味線所澤藝妓連
▲新民謠「所澤小唄」唄二三吉
▲同「同」獨唱二村定一
▲獨唱「海と空の唄」同同
▲合唱「日本海々戰記念」合唱平井英子其他
▲浮世節「トツチリトン」(二面)唄　三味線立花家橘之助
▲浪花節「天野屋利兵衛」(四面)壽々木米若

東京 JOAK

廿五日午後六時廿五分

▲ラヂオ風景一九三〇年新風景　小野健一郎作演出指揮、第一景丸ノ内の或新聞社の朝、第二景玉川、第三景丸の内、第四景ビルデイング内の事務室、第五景屋上の展望、第六景病院、第七景デパートにて、第八景小料理屋、第九景夜店、第十景郊外の家　出演者(郡誠、柳榮二郎、飯島綾子、秋本梅子、外數名)
▲七時五十分極東選手權競技大會ニュース
▲八時和洋合奏　松竹管絃樂團、指揮島田晴譽、(一)長唄鞍馬山(二)映畫小唄(獨唱付)

義江主演のトーキー
『ふるさと』を見て
溝口氏の監督振りを激賞す

次に監督、撮影と俳優について云へば、此の映畫に於いて最も注意すべきは、藤原義江でもなく夏川靜江でもない。實に監督溝口である。此の映畫は彼が決して一様の凡才に非ざることを證據だてるものである。

彼はトーキーといふハンディキャップにもひるまず、其の束縛より自由に離れ、畫面に變化をみせたのは、流石に非凡な手腕である。然し其の畫面の變化が內容變化ではなくして單なる描寫的變化に過ぎなかつた事は遺憾ではあるが、ともかくも舞臺につめられて居た日本トーキーを野外に放つ、トーキーならでは表現し得ない幾多のテクニツクを發見し、利用し、トーキーの畫面に變化を與へ得たこと流石に溝口健二である事をうなづかせて居る。一二の例を擧げれば、音樂會場の樂屋裏の場面で會場から聞えて來る聽衆の拍手、叫び、口笛等のあわただしい氣分を出す効果。又は鍵穴からのぞいた部屋の中、そこには女(夏江)の姿だけしか見えないが、陰から男の口笛の音が叫へて來るところ又主人公(藤原義江)がラヂオ放送をするとき、それを聽く人が各所にある事を次々に示して行く點、最後の大樂撮影に於ける音響效果、等々、ストーリイの割合に簡單であるにも拘らず相當に面白く見せて居るのは監督の手腕である事を認めないでは居られない撮影も先づ無難である。トーキーとしては、ことに日本トーキーとしては「大尉の娘」「假名屋小梅」に比べると數段の差であつた同じスタヂオで、同じ機械で、同じライトを使つて此の差異を示すのは技術に對する苦心、研究を物語るものであらう。唯夜間撮影の場面が——勿論いかなる映畫でもセット以外は餘り芳ばしくないが——餘り綺麗でなかつた樣な氣がした。音響吹き込み、及び其の効果は日本トーキーとして激賞してよからう。雜音の入つて居ない事が最も氣持ちをよくした。

俳優の苦心は充分くめる。幾分舞臺の經驗はあつても、トーキーは又調子が違ふので相當其の演出は苦かつた事と思ふ。聲と影とを合せて見ると、夏川が一番よく出來て居たやうに思はれる。藤原には少し荷が勝ちすぎて居たかも知れぬ。映畫に深い經驗のない彼として無理もない事と思ふ。入江たか子が一寸顏を出す。その科白が「蒼白いインテリ野郎め！」である少しくさ過ぎ居る樣だ。何かの映畫の一カットをつぎ合せた樣な氣がした。とにかく「ふるさと」は日本トーキーとして、發展的にみたるとき其の價値を認めることが出來る「大尉の娘」「假名屋小梅」に比べ其の間に大飛躍を認めることが出來る。

トーキーのストーリイとしては、其の選擇に於いて、或は外國作品に優るかも知れない。事實、撤尾レヴユーの外國トーキーよりは、一歩進んでゐる(終)

當地錢鈔市場 變態狀態に陷る
金輸出禁の結果
標金市場との掛繫ぎ不安で

國民政府の金輸出禁止以前の標金と爲替の鞘は平均二、三兩の開きを保つてゐたが、輸出禁止當時標金は爲替より十兩の下鞘を歩んでゐたところ其後一定せず昨日から今日にかけては標金は十九兩から二十兩の下鞘となつた、從つて爲替と標金は全然別個の獨立した物となり、爲替の繫ぎとはなり得ず銀行筋は

全部手控 への狀態である又當地錢鈔市場の鈔票を標金を基準として換算すれば（先づ材料として、標金五百十六兩、標金一本四百八十圓又は八十五圓、滙申七十三兩前後）公定式により

480圓×73÷516＝68圓

即ち約六十八圓見當になる、次に爲替を基準とすれば（材料として日本向爲替百十一兩、滙申七十三兩として）六十五圓九十錢即ち約六十六圓見當となる譯である、ところが當地鈔票は今朝の寄付きは六十五圓五十錢であるから、標金を基準とした六十八圓と比較すれば二圓五十錢の開きがあり、爲替を

基準とし た六十六圓の方に鞘寄りを示してゐる、つまり爲替を基準としてゐるのである、しかし金輸出禁止以前に於ては標金と鈔票の鞘は開きが少く、鈔票は標金を基準としてゐたのである、從つて現在の錢鈔市場は一種の變態的狀態を示してゐる譯である、從來大連、上海兩市場の繫ぎは主として標金市場に繫いでゐたのであるが、金輸出禁止以來上記の如き開きを示して變態的狀態となつてゐる、從つて標金市場に繫ぐのは危險であるから爲替市場に繫がねばならない、然るに爲替電報は當地に午前二回、午後一回しか來らず繫ぎには不便である、故に

現在當地 の一般掛繫ぎ屋は目下手控へし、市場も閑散なる狀態は示してゐる、つまり金輸出禁止は上海、大連兩市場ともに不振狀態に落ち入らせたと云はなければならない

墺國銀行利下

【ウインナ廿三日發電】オーストリア國立銀行は公定割引歩合を引下げ五分五厘に改訂する旨本日發表した

朝鮮向滿洲粟 中旬は增加

五月中旬に於ける滿洲粟の鮮內入荷は四百七十一車、一萬四千百三十噸で前年同期に比し二千六百噸の增加を示した、右は產地在荷豐富と鮮內一般農家の手持米減少によるもので、今後幾分は增加の見込であるが麥の出廻りと共に激減するのではないかと見られてゐる

正隆銀行 職制改革か
石橋氏保善社に復歸

正隆銀行では既報の通り取締役三名を增員することになり安田銀行常務取締役たる兵須久氏が現職のまゝ副頭取に、常務取締役として現監査役楊井勇三氏が轉じ、更に取締役として保善社の竹內悌三郎氏が就任し、監査役の後任としては保善社の池田眞□氏が就任することに內定したが、副頭取の兵須氏は安田銀行とかけ持ちで同行の大綱を統べ、常務取締役が高橋、楊井の兩名となり陣容を改むると共に內部の職制を改正して現業務部長山本氏が支配人として事務に當り、現總務部長の石橋氏は保善社に復歸することに內定し、石橋氏は六月七日の株主總會終了後離連の豫定であるが來る總會には兵須、楊井の兩氏も株主として出席の筈なりと

州內生產品見本市
至急申込まれたいと

滿洲見本市第二部州內生產品見本市の出品申込數は二十六七小間に達した、初め右は去る二十日までに三十小間以上の申込あれば開催する計畫であつたが、略豫定數に達したのでこの後數日の申込あれば矢張り開くことになつた、それで希望者は大連民政署地方課商工係宛至急申込まれたいと

公設市場賣上
四月中は增加

大連市內五公設市場の四月中成績は賣上總額三十八萬二千百二十五圓にして前月に比し一萬七千八百六十一圓を增加してゐる、各市場別に示せば左の如し

市場	賣上金額
信濃町	二八三、四八二圓
小崗子	一四、七六六圓
沙河口	一五、〇〇二圓
山縣通	五三、五三四圓
千代田町	五、三四〇圓

愈々時期に入りかけた 北洋材の積取り
今年も大汽活躍か

北洋材の積取りは六月に入つて愈々最盛期となるが、昨年疾風的に北洋材積取りに侵入し、支那方面向三十餘萬石を奪つて內地船主に脅威を與へた大連汽船會社は今年も又相當の活躍を演ずるものと荷主船主間に於て可成り注目の的となつて居る、然しながら一般財界の不況に伴ふ需要減退の傾向は運賃市況を愈々惡化せしめて停止する所を知らざる際とて例年

北洋材 の積取りは一千萬石內外であるが、今年は三割減の七百萬石と言はれ、而も一般に荷動き閑散なる折柄とて北洋材積取に密集する近海の船腹は百五十五萬噸に達し、必死的の競爭を演出せんとして居るが、一般荷主は運賃の軟化を目越してまだ〱殆ど成約をみざる模樣である、かゝる事情にあるため大連汽船としても目下の處は形勢觀望の形で、最近大連、青島方面のオファーも二あつた模樣なるも運賃高唱への爲折合はず荷主又先安を見越して容易に急がず、未だ一隻の成約もないと言はれるが、大汽としては

內地船 のチャーターを相當に有してゐるから積取最盛期たる六月に入れば之が積出に侵入するは明かなるものと觀られる但し本年は支那向材が前年に比し半減の狀態にあるため大汽の仕事もそれだけ活躍の範圍が減少されるわけである

不景氣を物語る
朝鮮銀行券の大縮小
殊に滿洲方面が甚し

年初以來の鮮銀券發行高は前年同期に比し大體一千萬圓の縮小を持續してゐるが、本月廿一日に繰越された發行帳尻は發行高八千三百九十二萬四千餘圓、正貨三千三百九十四萬一千餘圓にして前年同期に比し發行高正貨準備とも一千萬圓の開きを見せてゐる、而して滿鮮を通じて斯かる通貨の縮少は預金貸出に全然無關係の對內地及び對支送金關係にあるやうである、即ち諸商品買付資金又は一部貸付金及預金の內地流出と、滿洲における對支貿易（主として上海）決濟資金の近金は滿洲の鮮銀券回收となるので、旁々是等の事情から滿鮮に於ける鮮銀券の大縮小を招致してゐる譯である、從つて正貨準備も發行高に正比例して減少し滿鮮を通じて不況の深刻化を如實に示してゐる

最近の海運界（上）
列强の保有高と巨船優秀船競爭

海は我等の經濟生活に對して重要な二つの關係を有つ一つは生產的關係で海產物の豐富な寶庫で一つは茲に述べんとする交通關係で最も便利な交通路となる產業革命以前は海上貿易と海上運送とは不可分な一個の企業形態を爲したが其後兩者は分離して異常の發達を遂げ各々獨立の產業として國民經濟の主要な一部門をなしてゐる倘海運業の對外貿易補助、海外屬領の領有保持、國防との關係等も極めて重大なものであつて世界列强が自國海運振興のため全力を傾倒せざるを得ないものである、我國に於ても經濟界立直し策として商工立國主義が有力に多年提唱され、從つて海運振興も重視されてはゐるが列國競爭場裡に占むる現勢は一日も樂觀を許さゞるものがある、以下世界海運界の大勢を述べたるのち日本海運界の現狀並に將來に及んでみやう

◇

目下世界の船舶總噸數は約六千七百萬噸である、その中英國の保有高は約二千二百萬噸、近年同國の造船界は以前程振はず、一方石炭の惱みをも反映してゐるが矢張り名實共に世界一を誇つてゐる、米國は近時多少持船を減じて約一千百五十萬噸を以て第二位を占めてゐる、元來國柄や國民性は少しも海運業に適しないやうであるが絕大の金力を以て飽くまで海運助長に努めてゐる、第三位は四百二十萬噸を有する我國で過去五十年間に貿易額が百倍したのに比べ船舶は百七十倍となつてゐるが實質的には後述の如く五、六倍見當と觀られてゐる、カイゼルをして「ドイツの將來は海にあり」と叫ばしめたドイツは當時五百十萬噸を保有したが戰敗の結果一時四十萬噸に激減した、然しその後補充奬勵につとめたので今日では三百八十萬噸となり、なほ目下建造中のもの約四十萬噸と稱せられ遠からず我國を凌駕せんとする勢ひである、何分同國は造船價額安く技術は巧妙なるので能率の高い經濟的な新式船舶が揃つてゐる、そこでドイツ船の東洋進出は今後目覺ましきものあるべく、我國の最も恐るべき競爭對手となるだらう、伊國はムッソリーニ宰相の所謂「商船の增加は領土の擴張なり」といふ主義に基き種々の保護政策を加へてゐるので戰前の百四十萬噸から今日三百四十萬噸に躍進してゐる、とにかく列强の船舶增加は素晴らしいもので、戰前より約四割を增してゐる、然るに貨物の出廻りは僅か五分內外の增加に止まつてゐるので海洋自由を原則とする海運界に白熱的競爭が起るのは當然のことで海運好況時代の再來は當分一寸考へられない

◇

以上は列强保有高より見た競爭狀態であるが、之を質的に見れば巨船大船建造の流行が國際間の著るしい競爭になつてゐる、即ち大戰後當分は各國共その喪失した必要船の補充を急いだので一時影をひそめてゐた巨船大船主義が近年それ〲積極的發展に猛進するのと、旅客增額、大量の國際商取引、各國港灣の完備、載貨損傷程度の輕減、運航經費の割安等の理由から猛烈に競はれるに至つた、現在世界第一といはれるのは元ドイツ船で今は米國船のレヴイアザンであつて五萬九千五百噸といふ巨大なもので、更に近く七萬噸以上の巨船建造計畫も傳へられてゐる、目下のところ二萬噸以上の巨船は新造中のものを合せて七十數隻に達し、之等は何れも主として大西洋を航海してゐるが、やがては太平洋が激甚なる列國海運競爭舞臺となる運命にあると考へられる

◇

以上の如く巨船大船主義は世界の大勢ではあるが、一面に於てはやゝ行過ぎた感があるのも事實である、何となれば巨船建造の今日のやうな甚しき競爭は既に採算を外れて無謀の域に陷りつゝあるのと、一方に於て造艦の國際的制限を協定しながら、その代用となり得る大商船の建造を放任するのは大いに軍縮の意義を失はしむるからである、かゝる見地から今日最も必要に迫られ而も採算の有利な中型船の建造に努むべしとする議論が各國とも有力に行はれてゐるのを見逃せない、無論かゝる條件に適ふ中型船は所謂優秀船を前提とするものであることはいふまでもなく、ともかく巨船乃至優秀船競爭は世界の大勢である

奉天に於る 金融經濟
四月中の狀況

朝鮮銀行奉天支店調査＝四月中に於ける奉天の金融經濟狀況は左の如くである

綿糸布市況 上旬銀塊、米棉の保合により內地相場も聢りを呈した爲引續き綿糸大尺布等に好況を見た、中旬當地品相場下游つたが、先安懸念に軟弱氣配を示し、下旬鐘紡問題を强材料視したるも在荷漸增傾向と米棉の軟調に內地相場の續落を移して當地もヂリ安閑散に終つた、本月相場左の如し

	上旬	中旬	下旬
綿糸 銀月	一二五、〇〇	一二四、〇〇	一二三、〇〇
同 仙桃	一二六、〇〇	一二五、〇〇	一二七、〇〇
粗布 一牛頭	六、四五	六、五五	六、一〇
太綾 鶯島	六、一〇	六、二五	六、一五
細綾 人面	四、六〇	四、八五	四、六〇
銅布 軍人	七、八〇	七、八〇	七、七五
大尺布 象冠	二、一九	二、一九	二、一八

特產市況 大豆は銀安と輸出不振に僅かに地場油房筋原料として商談を見たるに過ぎず、黑豆は不變、大連方面の需要に出荷あり、粟は支那時局關係に外米昂騰したために鮮內との商談相當旺盛を極め、大麻子は上旬米國向に輸出筋の買出動に煽られ內地筋亦よく買つたが中旬手當一巡觀に軟調を呈した、本月中主要品相場並に當驛發送高左の如し

	上旬	中旬	下旬
白眉大豆	四、六〇	四、六〇	四、六〇
混保大豆	四、〇五	三、九五	三、九五
豆粕	一、四一	一、三七	一、三七
豆油	一四、七〇	一四、七〇	一四、七〇
大麻子	六、八〇	六、九五	六、八〇
胡麻	九、一〇	九、一〇	九、一〇
粟	五、〇〇	四、九五	五、〇〇
雜豆	三、八五	三、八五	三、八五
高粱	三、二〇	三、二〇	三、二〇
小麥	三、四五	三、四五	三、四五

當驛發送高（千斤單位）

品目	數量	品目	數量
大豆	三、一七〇	小豆	六〇四
粟	二、二〇四	黑豆	六〇八
大麻子	一、五九九	胡麻	三九九
蕎麥	一五一	其他	一二〇
合計	六、二二五	前月分合計	三、七七七

錢鈔市況 當地現大洋票は月初南安值材料に大勢鈍狀六十八圓六、七十錢弱保合、四日銀塊の低落を入れて三十錢方下押し、爾來上海標金、大連銀等何れも差したる材料もなく、保合を續け月末現大洋の軟調を眺めて廿八日六十六圓臺を割り先行尙安に減月、奉天票は現大洋票相場に追從し材料薄にて八千八百元臺釘付けの儘推移した

金融狀況 叙上の如く朝鮮向粟の輸出のみは僅かに活況を示したが其他一般輸出入各況共不相變振はず金融方面も從て沈滯無活氣に終始した、組合銀行本月末帳尻は預金一五、四七二三、九九圓、貸出二二、六五五六、二八八圓で前月末に比し預金は二萬七千圓の增加、貸出は三十六萬八千圓の減少を示した、當月手形交換所取扱高左の如し

	枚數	金額
本月	二、六〇三枚	一、七〇五、九〇三圓
前月	二、九三〇	二、〇九九、六〇三
前年同月	三、〇四五	三、五六六、四二一

南滿瓦斯總會
四分配當可決

南滿瓦斯會社では二十四日午前十時より本社樓上に於て第十期定時株主總會を開催、昭和四年度下半期決算を附議承認を求むる所あり配當四分を決定した、利益金處分案を示せば左の如し（單位錢）

項目	金額
總益金	七九四、三二三、八四
總損金（償却金十三萬圓を含む）	五八二、四三〇、六〇
差引	二一一、八九三、二四
前期繰越金	一五、〇三五、五九
合計	二二六、九二八、八三

之を處分すること左の如し

項目	金額
法定積立金	一〇、五九五、〇〇
株主配當金（四分）	一八六、〇〇〇、〇〇
役員賞與及交際費	七、八〇〇、〇〇
社員に對する慰勞金	五、〇〇〇、〇〇
後期繰越金	一七、五三三、八三

東亞勸業總會

東亞勸業公司では廿四日午前十一時から社員俱樂部會議室に於て臨時總會を開催、大藏理事（社長兼務）以下吉植專務取締役、松島取締役等重役及關係者出席の上吉植專務並に松島取締役の辭任に伴ふ役員の補充事業方針等につき協議した、なほ兩氏の後任としては專務に業務課參事花井脩治、松島氏後任に農務課農務係主任橫瀨花兄七の兩氏がそれ〲就任することゝなつた

大連商議役員會

大連商工會議所では消費組合對策案を決定する全滿商議聯合會開催の件を協議するため來る二十七日午後三時から役員會を開くと

蘇聯盟 新關稅率表（2）

第二十五條 木製品及材料（一）各種家具……一瓩に付一〇留（二）其他の木製品及材料……價格の一五〇％

第二十六條 コルク樹々皮及其の製品（一）コルク樹皮の破片及製品の殘物……價格の一〇〇％（二）各種コルク樹皮製品……價格の二〇〇％

第二十八條 コプラ……價格の一五％

第二十八條 「オニナベナ」の頭顆（羅紗起立に用ふる大なる刺多き頭部を有する植物の種類）……價格の二〇％

第二十九條 植物及その部分品細片にせられたると否とを問はず染料又は鞣用として或は「クウエルシトロン」「薑黃樹」オジヤソウ（ミモザ）「ワロネア」「ミラボラナ」吐根等醫療品並にその種子粉末……價格の二五％

黄塵

◇…由來銀行屋サンはダンマリ主義の不言實行家が多い中に正隆銀行高橋常務はこの型を破り內地へ往復する度毎に聲明書を以て堂々處信を發表す。

◇…昨日發表の聲明書の重點は安田保善社が斷然百パーセントの援助を正隆銀行に與へ保善社の幹部級をズラリと重役の椅子に倚らしめ威儀を正して滿蒙財界に君臨すると云ふに在る、なるほど大頭だけは揃つた。

◇…頭と言へば兵須君は腦漿が多いせいか頭る巨大で而も光彩陸離たる頭の持主、綽名を田舍十郎と稱さる、長らく地方に在り腹藝が上手と言ふ謂也、相役に豪傑高橋君その下に溫厚なる山本君在り、君は酒間の餘技として聲音の名人、配役は整つた折角良い芝居を打つて貰はふ。

◇…株主中には重役に當地の人物を選ぶべきなりとするものもあるが同行の更生は當地人士の力で出來そうにもない、此際一切合切安田様にお任せするが賢明でござらう。

◇…安田としても數年前より正隆を左右し重役も行員も總て子飼の士を配して今日に及んでゐるまい。在滿人は荊棘も獲らずばならぬ蒔いた種は新幹部を信賴して起死回生の手腕を歡迎すべしだ。

市況

今日の相場

▲五品 先限七圓五十錢
▲新株 錢鈔先十三圓半
▲綿糸 十月一四九圓三
▲綿布 氣乘薄く見送る
▲麻袋 現氣配二七錢五
▲大豆 見送り商狀大引
▲豆粕 軟弱商狀で大引
▲豆油 弱氣配商狀大引
▲高粱 當限二錢方低落
▲鈔票 期近六五圓四〇
▲大洋 九十七圓六十錢
▲小洋 百八十四圓丁度

特產 人氣引き立たず 各品弱氣配

今朝の市場は依然新規材料もなく各品共に人氣引き立たず、大豆は弱保合、豆粕は軟調、豆油は弱含み、高粱は軟調を呈して大引、現物大豆は油坊二十車、建成、鼎新昌、三菱で十車、豆粕は建成、勝間、三井、日清、日陞、鼎新昌で五萬枚の各手合はせがあつた、今日の油坊生產高は五萬枚で操業工場は二十一軒、明日の屈出は五萬枚の二十軒である

◇定期前場（銀建）

▲大豆（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	七〇八〇	七〇八〇	七〇八〇	七〇八〇
六月末	七二五〇	七二六〇	七二五〇	七二六〇
七月末	七二一〇	七二三〇	七二一〇	七二三〇
八月末	七二九〇	七三〇〇	七二九〇	七二九〇
九月末	七三五〇	七三六〇	七三三〇	七三六〇

出來高 九十七車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕 軟調 單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	一三一〇	一三一〇	一三一〇	一三〇五
七月限	一三一〇	一三一〇	一三一〇	一三一〇

出來高 一萬枚

▲豆油（保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	一〇四五	一〇四五	一〇四〇	一〇四〇

出來高 二千五百箱

▲高粱（弱保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	四五三〇	四五三〇	四五二〇	四五二〇
六月末	四五四〇	四五四〇	四五一〇	四五一〇
七月末	四五三〇	四五三〇	四五一〇	四五一〇
八月末	四五四〇	四五四〇	四五一〇	四五一〇
九月末	四五四〇	四五四〇	四五四〇	四五四〇

出來高 六十車

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

品目	寄付	大引
混保大豆（袋込）	七一三〇	七一二〇
大豆（裸物）	—	—
出來高	三十車	
普通大豆（袋物）	七〇三〇	七〇三〇
大豆（裸物）	—	—
出來高	十車	
豆粕	一三一〇	一三〇五
出來高	五萬枚	
豆油（出來不申）		
高粱	四五五〇	四五五〇
出來高	二車	
包米	四三〇〇	四三〇〇
出來高	五車	

定期喰合高（廿三日帳入）（前日對比 較△印減）

品目	喰合高	前日對比
大豆	二六〇九車△	一八車
高粱	一九七八車△	一九車
豆粕	七九一千枚	一五千枚
豆油	一〇四〇百箱	五百箱

錢鈔 銀塊高乍ら 鈔票低落

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十八片四分の三と（八分の一高）先物は十八片十六分の十一と（八分の一高）紐育は四十仙二分の一と（四分の一高）孟買は五十二留比十六分の十一と（十六分の一高）滙豐は七十一兩五五、滙申は七十三兩〇七五、大洋は九十七圓六十錢、日米は四十九弗八分の三と（同事）米日は四十九弗十六分の七と（同事）米英は八十六仙丁度と（八分の一安）米支は四十四弗二分の一と（十六分の一高）上海標金は五百十五兩丁度と寄り十九兩丁度と止め當市の銀價は低落を呈した

◇定期取引（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	六五四〇	六五四〇	六五三〇	六五三〇
遠期	六五五〇	六五五〇	六五四〇	六五四〇

出來高 期近 八十二萬圓 遠期 二百四十五萬圓

◇現物取引（單位錢）

株

今朝北濱の寄は鐘紡二圓高と反撥をみせたので大株大新共小高く新東短期の寄も二十錢高と強保合を入れたがアト新東安を報じて當市も寄鼻諸株共保合乍ら引際新東は一圓安を示した▲過般來新東は鐘紡の慘落を眺めても下游り落着をみせてゐたが受渡し切迫につれいよ〱買方も氣が持てなくなつたらしい▲弱氣筋は早くも新東の八十四、五圓どころにおいてゐるやうであるが前の安値九十七圓臺を下廻つたら或は八十圓揃みの相場はありそうな雲行である▲賣買双方とも腰入が深いだけに月末の受渡前後は可なり激戰が展開されそうである

豆

大豆は昨日後場人氣無く五月限及び六月限とたつた二限しか立たず出來も近來のレコードを示したつた十四車といふ閑散振であつた▲今朝も引き續き新規材料も現出せず人氣引き立たず平凡なる場面を辿つた▲歐報の如く歐洲方面も不況のドン底を低迷しつゝあるから買氣はなく團端詰つた需要があつても國產品かまたは割安の代用品で間に合はせるだらう▲當地の市場もこの六月上旬頃まではこのまゝ不況なる狀態が續くであらうが六月中旬頃からは何も材料はなくとも品薄といふことで少しは活氣を呈するであらう▲昨年の昨今も丁度かくの如き狀態であつたが六月に入り九月までは所謂夏枯閑散期を他所目に活況を示した▲これは露支紛爭のお影であるが今年はかゝる突發事件がないだけに悲觀されてゐる

銀

大連、上海兩市場ともに銀課稅問題を中心として氣迷ひ狀態を辿つてゐたが▲今日引前銀課稅案否決されたとの報に接しつゝ地場鈔票は五圓臺を割り急落した▲今朝海外材料としての銀塊が一齊高を呈したのは支那、印度の小量買ひによるのであらうが銀塊市場は閑散であり又買屋も滿腹狀態であるから大勢安であらう▲上海在銀は奧地の需用ありて引き續き移出され漸減を呈しつゝあるといへ依然在銀は豐富である▲金輸出禁止により上海では爲替と標金の掛繫ぎが出來ず銀行筋は手控へ氣味でちり▲又當市場も上海標金市場への掛繫ぎが出來ない變態的な狀態に陷入らせてしまつた▲金解禁は支那政府の一部の役人等には好都合であつたらうが一般人民の打擊は相當大きいであらう

商品 前場

麻袋（保合）產地國際袋鐵青共に四分の一安と低落を入れたるも買氣なきため先物には聲なく相場も全然保合にて閑散を極めた氣配は現二十七錢五厘五月二十七錢五厘六月二十八錢五厘七圓二十八錢六厘八九圓二十九錢見當

株式 內地株强保合 地場株不動

北濱前場寄は大新二十錢高、鐘新九十錢高、東京短期新東二十錢高と强保合を入れたが當市定期は新豆同事、現物大新同事、新東二十錢高、鐘紡六十錢高と保合つたが內地の引安を入れてアト弱氣配であつた、定期出來高四十枚、現物六百枚

◇定期

銘柄	約定期	値段	枚數
福助	九月限	一九九、三	一〇
同	同	一九九、一	一〇〇
同	十月限	一九九、三	一一〇

出來高 二百二十枚

前場

◇定期

銘柄	當限	中限	先限
五品 寄	—	—	—
新豆 寄	—	—	—
引	—	—	—
錢鈔 寄	—	—	—
引	—	—	—
新東 寄	—	—	—
引	—	—	—
五品 中	—	—	—
引	—	—	—

◇現物（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	七、三	七、三	七、三	七、三
商信	—	—	—	—
新豆	—	—	—	—
錢鈔	—	—	—	—
氷新	—	—	—	—

◇現物（乙部）

銘柄	寄	引
大新	四七、五	—
新東	九六、〇	—
鐘新	—	—

◇爲替及受渡日歩

銘柄	受渡	代引	代渡	日歩
五品	一〇〇	一二〇	—	五
商信	—	—	一〇	一
新豆	一四〇	—	一三〇	無
錢鈔	一〇、五	—	—	—
新東	九二、〇	—	一四〇	三

後場（保合）

◇定期

銘柄	當限	中限	先限
五品 寄	—	—	—
新豆 寄	—	—	—
錢鈔 寄	—	—	—
新東 寄	—	—	—
五品 中	—	—	—

◇現物（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	七、三	七、三	七、三	七、三
商信	—	—	—	—
新豆	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇
錢鈔	—	—	—	—
氷新	—	—	—	—

◇現物（乙部）

銘柄	寄	引
大新	四六、〇	—
鐘新	—	—
新東	八九、九	—

滿鐵株（保合）

▲東短前場 滿鐵新株 出來不申
▲大阪現物 滿鐵親株 六十八圓五十錢

市場電報（廿四日）

銀塊及爲替

種別	相場
倫敦銀塊	一八片四分三
同 先物	一八片十六分十一
紐育銀塊	四〇仙二分一
孟買銀塊	五二留比十六分十一
英米爲替	四弗八六仙 分〇
米日爲替	四九弗十六分七
米支爲替	四四弗二分一

棉花

●米棉（換算廿錢安）

限月	相場
現物	一六仙四〇
五月	一六仙一五
七月	一六仙二一
十月	一五仙一〇
十二月	一五仙一七
一月	一五仙一〇

●印棉

種別	相場
ベンゴール	—
ヴローチ	—
オームラ	—

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株新	—	—
大新	六三、一〇	六三、一〇
鐘紡新	一五五、九〇	一五五、〇〇
達鑛新	六七、六〇	六七、六〇
日糖	—	—
郵船新	四三、三〇	四三、三〇
東新	九二、〇	九二、〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	一〇五、二〇	一〇五、三〇
東新	九〇、〇〇	九〇、〇〇
五品 當	七、〇〇	—
中	七、二〇	—
先	七、一〇	七、一〇
新豆 當	—	—
中	—	—
先	—	—
同（短期）	九一、八〇	五品七〇
寄値	九二、三〇	七、〇
引値	九二、一〇	—
高値	九二、一〇	七、〇〇
安値	九〇、〇〇	七、〇〇

大阪期米

限月	前場寄	前場引
當限	二七、〇三	二七、〇一
中限	二七、二九	二七、二九
先限	二七、三一	二七、一八

東京期米

限月	前場寄	前場引
當限	二六、八八	二六、八二
中限	二六、五五	二六、七九
先限	二六、六六	二六、五五

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
五月	一四〇、六〇	一四〇、六〇
六月	一四二、一〇	一四二、六〇
七月	一四三、四〇	一四三、三〇
八月	一四七、八〇	一四七、八〇
九月	一四八、四〇	一四九、六〇
十月	一四八、六〇	一四九、八〇
十一月	一四九、一〇	一四九、六〇

大阪棉花

寄 大引

神戶豆粕

限月	前場一節
當限	一四〇
先限	一四五〇

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
四月	三四八〇	—
五月	三四三五	—
六月	三四三五	—
七月	三四四五	—
八月	—	—

限月	前一節	前二節
限月	一一五〇	一一六〇
五月	九六〇〇	九六三〇
六月	九六四〇	九六九〇
七月	九六〇〇	九六一〇
八月	九五二〇	九五一〇
九月	九四一〇	九四〇〇

印度麻袋

種別	相場
實物直積	三六留比十六分九
織筋直積	三三留比っ分〇
爲替相場	一七七留比四分一

上海爲替情報

【上海二十四日發電】銀高に安寄りせしも一部大手買氣あり大通銀行圓を賣り大連筋、外貨賣り、標金を買ふ三井は圓を好く買ひ、二三日來賣續けたる滙豐は輸入デマンドありて弗を買ひ、標金泰興の買にヂリ高を辿る支那筋は六月物に買カバーするもの少しある模樣にて月末高見越しである

上海標金

	相場
寄付	五一五兩
高値	五一九兩二
安値	五一五兩
大引	五一九兩一

株式出來高（廿四日）

種別	枚數
定期	三〇枚
現物	二九〇枚
合計	三二〇枚

爲替相場（廿四日正午）

正金（銀勘定）

種別	相場
上海（向參着賣銀建）	七三兩一五
同 十五日買（同）	六六圓二四
日本向參着賣（同）	七三兩五〇

正金（金勘定）

種別	相場
倫敦向電信賣（圓）	二志〇片卅二分九
信用付二月買（同）	二志〇片卅二分廿
米國向電信賣（百圓）	四九弗十六分七
同 九十日拂買（同）	四九弗十六分七

鮮銀（金勘定）

種別	相場
倫敦向電信賣（圓）	二志〇片卅二分九
同 二ケ月買（同）	二志〇片卅二分廿
紐育向電信賣（金百）	四九弗十六分七
上海向電信賣（金百）	一二兩〇〇
同 賣（銀百）	六六圓三〇
日本向電信賣（銀）	一四四兩三五
同 十五日拂買（同）	六六圓二五

奥地市況（廿四日 前場）

錢鈔

種別		
奉天（現物）（奉票）（先限）	八六九〇、〇	八六九〇、〇
奉天大洋票（現物）（定期）	六二、八〇	六二、八〇
開原（現物）（奉票）（先限）	八六〇〇、〇	八六〇〇、〇
同（現物）（鈔票）（先限）	八六一〇、〇	八六一〇、〇
安東（鎭平銀）（近期）（遠期）	九一、〇八	九一、〇七
哈爾濱（大洋）（現物）	五四、一二	五四、一七

手形交換（廿四日）

	枚數	金額
金	四四九枚	一、七〇〇、八六三圓
銀	二六四枚	一一、四〇一、一三一圓

株式現物配當落取引

大連五品市場では現物取引の左記株式に對し二十四日後場賣買の分より左記配當落を以て取引することに決定

銘柄	配當豫想
一、滿鐵新株	一圓三十七五厘
一、新東株	七十五錢
一、大新株	三十四錢

滿洲日報

社説

戰禍に暴露する支那民衆

人道上重大問題

南北兩軍、中原に相對峙して內亂抗爭しつつあるに、その地域たる河南省にありては、死を待つの災民、一千五百萬と稱せらる。支那側の統計によれば、河南省百十二縣、その人口三千三百萬、しかして一千五百萬人、全人口の半數は災厄に惱みつつあるのである。天變地殃、風蝗水旱、これ人力の及ばざるところとするも、兵禍匪兇によつて、かくの如く多衆が水深火熱の地獄に陷れられつつありといふに至つては、天を怨み、人を呪はざるを得ぬであらう。

◇

その調査概數によるも、家屋の破毀五萬餘、二百六十餘萬元、家具の燒却四百餘萬元、財物の損失六百餘萬元、糧秣徵發七百八十餘萬元(八千萬斤)、車輛派出百四十萬元(一萬八千臺)、牛馬派出二百餘萬元(二萬六千餘頭)、合計二千五萬元とに計上せるも、恐らくかくの如き輕少のものにはあらざるべく、また簡單に計數し得る損害の深刻甚大なることは、また想像以上といはねばならぬ。かくの如きは、ただ一地方の戰禍概算であるが、人口三千三百萬人中、すでに絕食するもの八百餘萬、而して餓死するもの、日に一千人を下らずといふことに至つては、言語道斷、しかも、この支那における軍閥抗爭、內亂の戰禍が、果して何時に至つて絕滅するであらうか。それらを考ふるとき、鼎中に死を待つ民衆に對し、同情なきを得ない。

◇

最近代の社會世相を顧みるに、いはゆる資本主義經濟組織の結果としてか、とにかくに、何ら罪なくして職を失ひ、生活苦に陷るものの、その數、何萬なるを知らぬのである。然るに、この支那にありては、軍閥相抗爭し、同胞相內亂して、かくの如く深刻痛切なる地獄を現出しつつあるのである。これ何の故か。兵火は勢ひといふものの、さりとは餘りの悲慘事ではあるまいか。かくの如くんば、三民主義、いづれにありや、國民革命、いづこにありやと、怨嗟の聲野に滿つるは、當然といはねばならぬ。

◇

蔣介石氏も馮玉祥氏も、また閻錫山氏も、みな三民主義を標榜し、青天白日旗下に黨國を云云しつつ、ともかくも抗爭を繼續しつつあるのである。これ取りも直さず、無數の良民は青天白日旗に夾擊せられ、その日その日の衣食住を奪はれ、訴ふるに神も佛もないといふ現狀に置かれてゐるのである。こうなると、孫總理、何があらん、三民主義、何をも意味すると、自暴自棄に陷るも當然といはねばならぬ。しかもなほ、鬩ぐことを知らぬ餓鬼の如き軍閥は、互ひに戰勝を宣傳し、血を啜り、肉を噉ひ、骨を叩いてもなほ足れりとせず、北方側などは第二次、第三次の中央委員會の資格を云々してゐるに至つては、全く沙汰の限り、むしろ淚なきを得ざる、笑ふことの出來ぬ滑稽事といはねばならぬ。

◇

かくの如き事象は、ひとり河南一省のみに限つたことではない。深淺多少はあるけれども、とにかく支那の全土にわたつて演出されつつある悲慘事なのである。かくてもなほ、國民革命を云々し、三民主義を高唱し得るの資格ありと思ふのであらうか。銀價の暴落によつて、一般民衆が甚大なる損失を被ること、これは不可抗力として、全く已むを得ぬものともいふことが出來やう。併しながら、軍閥の抗爭によつて、國內が混亂また混亂を續けてゐるといふことは、これ全然の不可抗力的事象であらうか。われらはこれを支那人の口癖にするところの沒有法子といふ程度には認めるけれども、絕對の不可抗力ではないと思ふものである。されば吾人は蔣、閻、馮らの軍閥、および汪ら國民黨の要人を以て任ずる人々に對し、重大なる反省を促さんと欲するものである。若し、今日にして兵を收むるの擧に出でざらんか、國民革命、南北統一の如き抽象的觀念を破壞するは勿論、結局、世界人類の人道問題として、重大なる結果を惹起せぬこととなしとも限らぬことを覺悟せねばならぬと思ふ。

日支間の紛議を除く爲 在滿鮮人に歸化權附與

我對滿政策と矛盾せずと觀て 拓務省で勅令案立案

【東京二十四日發電】拓務省では豫て在滿鮮人(約百萬人)に對する支那官憲の壓迫問題解決策につき講究中であつたが、適切なる方法としては在滿鮮人に歸化權を附與するの外に良法なくそのためには我國籍法を朝鮮に施行する用意ありとなし右に關する勅令案を立案するに決したが、本問題については

一、在滿鮮人を日本の國籍より離脫せしむるは我對滿蒙國策と矛盾する

一、歸化權附與は必らずしも根本的解決策でなく且つ鮮人も必らずしも之を欲してゐない

等の理由に依り反對する向もあるが

一、問題の禍根は在滿鮮人が土地所有權を獲得し得ない點にあるから歸化を認めれば土地所有權問題は解決する

一、歸化權を附與するといふも歸化を強制するものではないから鮮人の意志に反しない

との理由に依り歸化權附與が根本的對策に非ずとするも現在の最良策としてこれを認めることゝなつた

合理的處置 懸案解決は誠に結構 大藏滿鐵理事曰く

右につき滿鐵大藏理事は左の如き感想を洩らした

在滿鮮人の歸化權問題は隨分永い間の懸案となつてゐたものであるが、既に歸化を欲する多數の朝鮮人が在住するとすればその人達の希望通り歸化を認めることが合理的であることは夙に識者により認知されてゐた所であつて、今日まで朝鮮總督府邊りでも種々研究されて來た樣であるが東電の如く今回拓務省で決定を見たことが事實であるとすれば甚だ結構である、即ち宿年の懸案が當然解決されねばならなかつた通りに落着した譯であるから

宮相、地方官招待

【東京二十四日發電】一木宮相は二十四日正午霞ケ關離宮を拜借の上地方長官會議で上京中の地方長官全部を招待し午餐會を催した尚知事一行は午前十一時楓山御養蠶所の拜觀を差許され河井皇后大夫の案內で拜觀した

濱口首相靜養

【東京二十四日發電】濱口首相は二十四日午後二時自動車で鎌倉の別莊へ赴き休養二泊の上二十六日午前十一時歸京の豫定

首相海相協議

【東京二十四日發電】財部海相は二十四日午後二時半官邸に濱口首相を訪問し統帥權問題に關し岡田參議官の斡旋經過等につき報告した後軍事參議官會議招集の可否につき意見の交換を行つた

岡田大將と海相密議

【東京二十四日發電】財部海相は二十四日午前九時芝白金町の自邸を出で高松宮、北白川宮、竹田宮、朝香宮邸に伺候し歸朝の挨拶を述べた後十時四十分三日振りで海軍省に登廳直ちに大臣室において西園寺公秘書原田熊雄男と會見政局につき重要協議を遂げ午前十一時官邸において岡田大將と密議をなし午後に及んだが土曜日の事とて軍令部長は正午退廳したので第三次會見は本日は行はれない事となつた

米の軍縮條約審議方針

【ワシントン二十三日發電】フーヴァー大統領はロンドン條約が若し會期中に審議未了の場合には更に引續き特別會議を招集する考へであつてこれに對しては上院の首領株の承認を得たと發表した

航空母艦にテレビジョン 米發明家試驗

【スケネクタデイー(ニューヨーク州)二十三日發】電氣工學の權威で發明家であるアレキサンダーソン博士は航空母艦サラトガについて戰時のテレビジョン實用について試驗をする旨發表した、即ちテレビジョンの利用は學理的には飛行機上より敵地の偵察寫眞放送等に使用され得る筈で博士は今度の戰爭はテレビジョンといふ電氣の目を持つた操縱士無しの然かも電氣によつて爆彈投下が出來る飛行機によつて戰はれることゝならうと豫言した

學士院會員 藤井、足立兩博士

【東京二十四日發電】本日左の通り發表さる

文學博士 藤井乙男
醫學博士 足立文太郎

帝國學士院規定第二條に依り勅旨を以て帝國學士院會員被仰付

朝鮮の重要問題

兒玉政務總監歸任談

【京城特電二十四日發】兒玉政務總監は去月十七日東上し特別議會に臨み二十二日夜歸城二十三日登廳記者團に左の如く語る

特別議會で總督府本年度豫算約二億四千萬圓が無修正で通過したことは欣快に堪えない次第である、運合問題は海運業は既に解決がついて今日は**順調に進**んでゐる樣だが只陸の方は運合の主旨には反對と云ふ譯ではない樣だが合同の出來ない種々なる事情が介在してゐる爲めでこの事情が一掃された曉は當然合同する機運があらうと思はれる、六月一日から新設會社の朝鮮運送會社に代行權を與へるといふ問題も結局既定の方針通りだらう

私鐵補助 期限接近に對し更にこれが延長は當然なさねばならぬことに思つてゐる、來る通常議會までには何とか方策を考慮することにしてゐる、有賀殖銀頭取の任期滿了に關し後任問題につき草間前財務局長を起用するといふ噂はあるが自分では何等考へてはゐない、暫く言明は預けて貰ひたい、取引所法の發令については案はいろ〳〵とある中にも朝鮮の實情を斟酌して發布することに苦心がある、まだ何んとも具體的にいはれない

市場規則 の改正は取引所令と離れた問題として見て貰ひたい、勅任參與官問題はこちらでは必要と認めて提出したのであつたが政府が取下げて欲しいといふことで結局取下の手續きを執つた政府に一任した譯で實現は出來なかつた

東鐵ロシヤ幹部 著しく親支態度

露支會議を控へて

【ハルビン特電二十四日發】莫德惠全權のモスクワ行によつて東支鐵道ロシヤ側幹部の對支態度は最近非常な親支主義になりエムシヤーノフ理事が中心となつて露支間の親睦を計るに斡旋し特に特區間における教育問題については東鐵ロシヤ從業員子弟の教育上密接の關係を有してゐるのでルーデー局長は周廳長を訪問し親く沿線における教育行政の狀況を聽取したがロシヤ側としては教師はロシヤ政府から派遣した者を教育廳が單に形式上採用する程度に改めたい希望を有してゐる、勿論ロシヤ子弟を教育してゐる各小、中學校の教師はロシヤの國籍を有するものが任命されてゐるが、教科書その他一切はどこまでも勞農主義による教育方針を根本とすることに支那當局が緩和するならば東鐵として援助する肚を有してゐると

(前文續き)……氏と會見し反蔣の協定をなしたと傳へられる孫傳芳氏は既報の如く廿一日天津より來奉し次いで張作相氏も同日吉林より來奉したが于學忠氏も目下滯奉中で時局方針を具體的に決定すると

張景惠氏赴奉

【ハルビン特電二十四日發】近く遼寧で東北四省の首腦者會議を開催することになり張景惠行政長官も列席することに決定した、問題は內亂に對する東北政權の對策、その勝敗結果による對露關係、モスクワの露支正會議に關しての協議で財政問題も討議される由、尚張景惠氏は最近耳を患ひ醫師の診察を受けてゐると

大平副總裁 ゆふべ東京出發

【東京特電二十四日發】大平副總裁は廿五日夜九時廿五分東京驛發列車にて離京するので、挨拶のため廿四日正午松田拓相を、又同一時半幣原外相を夫々訪問した

議員會議出席

【東京二十四日發電】來る七月ロンドンに開催の萬國議員會議及びマドリットにおける萬國商事會議に出席する民政黨側の參列者は左記三氏に決定した

廣瀨德藏(團長) 定塚門次郎 三浦虎雄

尚自費參加者は山道襄一 佐竹庄七兩氏である

北寧鐵の職工學校

【奉天特電十四日發】北寧鐵路局では現業員教育普及を目的に皇姑屯驛に職工夜學校を新設し二十日から開校した、入校職工は二百餘人に達してゐると

遼寧省政府當局 仙石總裁を招待

寛いで歡談を交はす

【奉天特電二十四日發】支那側と交驩のため滯奉中の仙石滿鐵總裁は廿四日正午から城內の遼寧省政府における省政府主席臧式毅氏及び省政府委員全體の招宴に臨んだ日本側は仙石總裁を主賓に瘵根理事、古仁所公所長、山崎文書課長、鈴木奉天鐵道事務所長、小倉奉天地方事務所長、鍋島秘書役陪賓で日支共に打寛いで席につき臧主席は「總裁が昨年御來任、御來奉をお待しましたが本日御光來下されて誠に光榮である」と述べたのに對して仙石總裁は「老體の事とて身體に故障が出來たのでその意を得なかつた」と語り歡談を交へて省政府を辭して北陵に自動車を驅り陶尚銘氏の說明で約一時間に亘つて上機嫌で見物し陶尚銘氏と同乘して北陵裏の松林の間をドライヴし四時二十五分張學良氏別邸に入り應接間にて張學銘氏の挨拶を受けて食堂にてシャンペンと茶菓の饗を受けて漫談を交はし四時四十分ヤマトホテルに還つた

西部內蒙古 東省が測量 國防計畫のため

東北省當局は最の露支抗爭以來邊境の防備に全力を擧げ諸般の設備計畫をしてゐるが、西部內蒙古地方は露國と接壤し國防上最も重要なる地域であるにも拘らず未だ完全の地圖さへなき有樣なるより、今回該地方の地理を明かにし國防計畫を樹立すべく測量班を派遣することに決した、同班は測量局三角科班長王向生を主任とする五十名で、本月十九日打通線を經て蒙古に入るべく奉天を出發したと

奉派軍事會議

【奉天特電二十三日發】閻、馮兩

人事

▲清水留作氏(大連三越前庶務課長)本社に榮轉を命ぜられ二十五日出帆香港丸にて內地へ
▲稻垣準三氏(藥種業)二十四日上り機にて東京へ

安眠子

若葉に包まれた神宮外苑に展開した華々しき極東大會の人氣の中心は何といつても陸上競技だ▲スタンドも芝生も押寄せたファンで滿員の盛況正面芝生に陣取つた支那軍の應援團の奇拔な應援歌が面白い「ララト、チャンファー、アララカチン、アララカチョウ、アララカチンチン、チョウチョウ」には日本の女學生やファンも目をぱちくりして珍しがる▲千五百米突と圓盤に優勝して二十二點を擧げ日本のファンをほつと安心させる▲野球場では比支の野球戰で火花を散しファンも一點毎に一喜一憂の支那と完全に兩分される▲排球競技場は若い女學生の人氣を呼んで七割方は女である、日本對比島の試合中形勢は日本軍に不利見物中の女學生連「大和魂を出して下さい」と黄色い聲を上げるとかたはらの友達が「大きな聲を出さぬと聞えぬわよ」と注意するのも淚ぐましい情景であつた▲日本の敗と決ると女學生連ホロ〳〵と淚を出して口惜しがる【東京二十四日發電】

米海軍側擧つて海軍條約に反對

上院外交委員會にて

【ワシントン二十三日發電】ハフ海軍少將は二十三日上院外交委員會において

ロンドン條約の結果米國はその最も要求する艦種建造の權利を放棄した、巡洋艦の縮小は國防の安全を脅やかすものである

と述べペリーヒー少將は

八吋大型巡洋艦は米國の要求に最も適したものであるが協定の比率は日本に採つて甚だ有利である

と非難し更にトレイン提督は

米國は華府において日本の五、五、三の比較承認の交換條件として比島の防禦工事權を放棄したのであつたが今回は十、十、七といふ日本に有利なる比率に對し日本より何等の讓歩も受けてゐない

と協定の失敗を難じハフ少將はこれが後をうけて

米國は十、十、七の比率の交換條件として太平洋の海軍根據地に對する制限撤廢を主張すべきであつた十、十、七の比率では米國は國防の安全を期し難い、殊に潛水艦の日米均等は米國に取り著しく不利である

と述べ海軍側は擧つてロンドン條約に反對する氣勢を見せた

比島獨立の前提

自治政府組織容認 米上院委員會で可決

【ワシントン二十三日發電】米國上院屬領島嶼委員會は今日八對四の票數で比島獨立に關するホース氏の提案を緩和した案を可決しこれを上院に提案することゝなつた、右案は比島立法會議に對し立憲議會議員の選擧を命ずる權限を與へ外交關係のみを除く**自治政府の組織を許し五年後には一般投票の結果次第で獨立を與へん**とするもので、この經過が完全に行はるれば米國は比島より手を引くことになる模樣である

立法協會も活動

勞働組合法提案の爲

【東京二十四日發電】政府が來議會に提出せんとする勞働組合法案に對し資本家側は產業を危殆に導くものとして反對の意向を表明してゐるが、民政黨においては少壯派をはじめ幹部の多數も政府の提案は決して時機尚早に非ず、當を得たものとして之が成立を期し政府を督勵してこれが通過を圖るといふに意見一致してゐる、從つてこの際添田、加藤(民)山口、安藤、守屋、星島(政)清瀨(革新)安部、鈴木、片山(無產)氏等に依つて組織されてゐる社會立法協會が中心となつて近く之が實現のため活動を開始することゝなつた

地方長官會議

【東京二十四日發電】地方長官會議第五日(農林省所管)は二十四日午前九時より農相官邸に開會、農相の訓示あつて指示事項につき質問應答あつて十一時散會した

京城の秩父宮

朝鮮神宮に御拜の後 各方面御巡覽遊さる

【京城特電二十四日發】朝鮮ホテルに第一夜を過ごさせ給へる秩父宮殿下には廿四日早朝御起床、洋式御朝食後、直ちに陸軍步兵大尉の御軍服に大勳位大綬章を佩ばせられ本間御附武官を隨へさせられて總督府差廻しの自動車に召させ、京畿道警察部長の先驅にて朝鮮神宮に成らせられ、高松宮司の捧げた玉串を神前に供進御禮拜遊ばされたのち高臺より京城市中を御展望、關水府尹より御說明を御聽取あつた、九時卅分神宮御發、女子普通學校に向はせられ階上に御小憩の後各學年の授業を親く御覽あり再び自動車にて總督府御着、玄關には總督以下各局部長奉迎裡に總督室に入らせられ、齋藤總督ほか廿五名に單獨賜謁あり、列立拜謁(五百四十一名)の後、兒玉政務總監の御案內にて第二會議室に入らせられ陸大生徒と共に兒玉政務總監の朝鮮事情に關する講話を聞し召され朝鮮史料を御覽あり、廳舍建築模型等の御說明を聞し召され、正面玄關にて總督府幹部と共に記念御撮影遊ばされ、御徒步にて博物館、勤政殿、慶會樓を御巡覽あり正午總督官邸の午餐會に台臨あらせられた

工大力戰空しく無殘大敗す

醫大との對校競技

工大、醫大學對校競技大會第一日廿四日は工大靈陽軍今年こそはと雪辱の意氣物凄く選手も應援團も必死となつて奮戰せしも遂に武運つたなく先づ柔道に於て醫大勝を初め續いて庭球、排球更にこればかりはと賴みにしたる劍道も意外の大敗となつて既に四點を醫大軍に與へ、漸く最後の相撲に於いて勝ち一點を得た、成績は左の通りである

柔道

醫大 ○○大內一級 ○○同 ○○同 ○○湯淺初段 ○○北村同 ○○同 ○○同 ○○同 ○○同 ○若葉同 ○○本間同 ○○早間同
工大 ○加藤一級 西野同 ○須原同 ○○岡本初段 同 原同 ○前川同 畑本二段 ○赤司二段 同 副將○○平石三段 同 大將○○田中三段 同
河合初段 甲崎二段 副將武呂二段 大將獨藤 (不戰勝者)

庭球(シングル)

午前十一時半からダブルに引續き阿部、藤田、澄田、示森、小館、松尾、藤崎、木谷、山口諸氏の審判にて工大コートにて開始、左の如き成績で大接戰を演じたが三對二ダブルと合算して五對二にて同

排球

三時開戰

醫大 ○眞子 ×推名 ○山葛 ×天谷 ○馬場
工大 ×黑羽 ○黑瀨 ×百田 ○林 ×藤井

午後一時より工大コートにて黑田原田兩氏の審判にて工大先攻で開始したが、終始醫大側リードし左の如く一、二回は大敗第三回には可成の接戰を演じたが結局同二時半三對○にて醫大大捷した

相撲

午後三時十分より工大土俵に於て開始審判は後藤、宮後、小佐井三氏で相撲こそは工大初回以來傳統的の勝利を占めたるものであるだけに兩軍必死となつて應援大いに努めたが工大軍の努力空しからず午後五時三十五分六對四にて豫定の如く工大辛勝し初めて一點を收めた

醫大 先鋒小西 尾崎 川俣 津澤 菱沼 大友 佐藤(末) 佐藤(幸) 副將古野 大將難波
工大 東島 佐藤 三宮 中島 大澤 境 小山 高梨 笠 大磯

特產 定期後場(銀建)

▲大豆(強調)單位厘 限月 寄付 高値 安値 大引 五月末 六月末 七月末 八月末 九月末 [illegible] 出來高 八十九車
▲豆粕(強調)單位厘 限月 寄付 高値 安値 大引 七月限 [illegible] 出來高 九千枚
▲豆油(強調)單位錢 限月 寄付 高値 安値 大引 六月限 七月限 [illegible] 出來高 四千箱
▲高粱(強調)單位厘 限月 寄付 高値 安値 大引 五月末 六月末 七月末 八月末 [illegible] 出來高 三十八車
▲包米 出來不申

現物後場(銀建) 寄付 大引
混保(袋込) 七一四〇 七一五〇 大豆(裸物) 出來高 五十車
普通大豆 出來不申
豆粕 [illegible] 出來高 一萬枚
豆油 二〇四〇 二〇四〇 出來高 二千箱
高粱 四五四〇 四五四〇 出來高 一車
包米 出來不申

錢鈔 定期後場(單位錢) 寄付 高値 安値 大引 期近 遠期 出來高 期近百二十萬圓 遠期三百八十五萬圓
現物後場(單位錢) 銀對金 銀對洋 金對洋 一時半 二時半 三時半 出來高 銀對金二萬二千圓 銀對洋一萬二千圓

商品 後場(出來不申)

神戶特產(廿三日) 大豆現物 六一〇 先物 五一五 豆油現物 一六五 先物 [illegible] 滿洲小麥 豆油現物 [illegible]

東京株式(短期) [illegible]

大阪株式 [illegible]

神戶期米 [illegible]

東京期米 [illegible]

大阪期米 [illegible]

大阪綿糸 [illegible]

滿日地方版

奉天

李鍵公子殿下
きのふ戰蹟を御視察 けふは遼陽へ御出發

李鍵公子は陸軍士官學校生徒二百廿名と共に廿三日撫順の御視察を終へさせられ同日御歸奉、奉天神社並に忠靈塔に御參拜遊ばされ守備隊に御投宿遊ばされたが廿四日は北陵及び文官屯の戰跡を御見學遊ばされ廿五日遼陽へ向はせられる御豫定である

財界の不況から城內華商の投賣
附屬地邦商は大打擊

奉天附屬地內における邦商は深刻なる財界不況で青息吐息の矢先近頃城內における支那商も財界不況と官憲の壓迫で倒產者續出し附屬地に避難し來るものが多數に上り彼等は營利を目的とせず商品を金に換るため投賣りを開始してゐるため邦商の蒙る影響も甚大なものでこのまゝ一年も二年も續いたなら邦商は困苦のドン底に突き落されはしないかと杞憂されてゐる

防穀令の解禁要求
支那側の回答

支那側の防穀令發布に關し去月十八日奉天總領事館から抗議を提出した處今回左の如き回答書を送つて來た

穀物輸出禁止に關し取調方御依賴により早速省政府に送付した處省政府からは本件については未だ內政部の命令に接し居らず從つて禁止方も通令せざるも今後右の如き事情あらば當然前例によつて辨理すべく現に東北政府委員會にては山海關監督より國民政府の穀物輸出禁止に關し打電あり之がため營口領事より解禁方要求し來れる旨移牒ありたるにより現在の處東北省としては民食の缺乏の虞なきため國民政府に解禁方要求するに決定したり

酌婦が面當に自殺を圖る

本籍長崎市船津町市內柳町六番地料理店戀籠館抱へ酌婦志保子事金子かづ子(二三)は廿二日午後十一時頃自室に於てリゾール十瓦を嚥下し苦悶中を同樓の仲居が發見して大騷ぎとなり直に回生病院に入院せしめ應急手當の結果生命は取止めるらしい、志保子には豫て中村某(二三)假名と稱する情夫あり廿二日夜十時頃座敷で强か醉酊し中村に電話をかけて呼んだが來ないので立腹し面當の自殺を企てたものである、又志保子には前借千六百圓あり昨年七月大連沙河口から穗積に鞍替して來たもので評判の美人であるが一旦酒を飲むと日頃の溫順しい性質と打つて變つて人違ひのやうになり志保子が醉ふと同樓でも警戒してゐた程である彼女は三年前鐵嶺に於て力彌と名乘り稼業中も右の如き自殺を企てた

町の便り

ことがあると

奉天商議では廿三日午後三時から輸入組合、商店協會聯合で商業部門會を開き問題の消費組合問題に關し各自の意見を聽取した上近く議員會を開催し具體案を作成し大連にて開催の商議聯合會に臨む筈である

◇

仙石總裁は廿六日午後七時からヤマトホテルに官民有志多數を招宴する由

◇

高魁五氏は廿五日午後六時から在奉新聞通信記者を公記飯店に招待し懇親宴を張ると

◇

奉天驛では廿四、五の兩日春日公園並に溫泉倶樂部で家族會を催すが演藝、安來節、寶探し等の餘興があると又住吉町會內でも二十五日午前十一時から春日小學校々庭で家族會を開くと

◇

前田奉天司法領事天津へ轉勤のため奉天硬球倶樂部では二十五日午後一時から圖書館コートで送別試合を行ふ由

◇

二十二日午後零時四十分頃日吉町公和樓東側下坂に於て小西關永慶恒方運轉手住廣業(二六)の操縱せる自動車と皇姑屯運貨開(四〇)の見ける馬車と衝突し運は右足下腿部に輕傷を受け醫大醫院に入院せしめ加療中であるが治療費半額負擔することゝなつて解決

◇

東京市神田區表神保町六番地柳尾方同居水野ひで子(一八)は市內春日町八番地中村某に對し昨年戀仲となり同棲して姙娠までしたが伯母を呼びよせ中村と共にひで子を置き去りにして行方を晦したので是非歸して呉れとその筋へ說諭願ひを出した

人事

▲蓮沼侍從武官　二十三日長春より過奉釜山へ
▲大倉喜七郎氏　二十二日夜過奉赴連
▲土屋高等法院長　二十二日歸旅
▲安岡檢察官長　同上
▲田村滿鐵興業部長　二十二日本溪湖より過奉歸連
▲櫻井遞信局長　二十二日本溪湖より來奉
▲孫傳芳氏　二十二日歸連
▲陶尚銘氏　二十二日夜歸奉

長春

徵兵檢查第一日
合格者は六十三名

長春に於ける本年度徵兵檢查は二十二日から開始されたが、第一日の成績は

受驗人員は長春領事館管內一名吉林總領事館管內五名、哈爾賓總領事館管內二十二名、鄭家屯領事館管內一名、四平街警察署管內三十二名、其他(大連)一名合計六十三名

で甲種合格は吉林の一名、哈爾賓の三名、四平街の二十名だと

西公園の貸ボート

長春西公園の貸ボートは埠頭の修繕が漸く出來上つたので豫定よりやゝ遲れ二十四日から開始することゝなり同日午後一時からボート開きを行つた

秩父宮殿下
御成記念運動會

室町小學校では宮殿下の台臨は今回が始めてのことであるので、この光榮を記念する爲め二十四日午前八時から同校庭に於て殿下御成祝賀運動會を開催した

けふ日曜
賑ふ西公園 縣人會や家族會で

長春西公園は新綠に裝はれて昨今全く面目を一新したので日曜毎に此方彼方で家族會が催されてゐるが五日の日曜には滿鐵地方事務所、南滿電氣支店、國際運輸、吉長鐵道會計課、山梨縣人會、福島縣人會、岡山縣人會、愛媛縣人會、茨城縣人會の家族會がある筈であるから賑はふことであらう

守備隊滿期兵
四十名は三十日夜歸國する

長春守備隊の本年度滿期除隊兵四十名は三十日廿四時廿分發列車で歸國すると

家族慰安會
長春警察署員の

長春警察署は秩父宮殿下御來長に際して署員が不眠不休の活動を續けたので三十一日から二日間家族慰安會を催すと

修公安局長
營口に歸省

長春市公安局長修長余氏は展墓の爲め二十日間の豫定で鄉里營口に歸つたので留守中は梁督察處長が代理すると

撫順

總裁は廿七日來撫
一泊して詳細に視察

目下沿線巡視中の仙石滿鐵總裁は愈々二十七日來撫の旨炭礦に內報があつた、來撫の上は一泊して炭礦の各施設並びに現狀を具さに視察する筈である

渡邊琥珀店の光榮

畏くも秩父宮殿下御來撫の際既報の如く炭礦より獻上したる琥珀細工十一點は驛前渡邊琥珀堂謹製のもので渡邊氏はその光榮に欣喜してゐる

生產係主任

撫順における各種工業生產品激增と共に經理課內に生產係が新設されたが、右主任には龍鳳坑庶務主任日高篤三郎氏が任ぜられ日高氏のあとには運輸の菅野誠氏二十二日附任命された

山火事一時間半

二十三日午後四時三十分頃東部植材中に山火事起り炭礦勞務係小園誠吉、北谷平歲外華工多數出動消火に努めたが約二千平方米突黑松一千四百十本を燒失し同六時頃漸く鎭火した

各地の海軍記念日

祝賀宴に續いて公會堂で演藝會
廿八日は軍隊を慰問

【鐵嶺】來る二十七日海軍記念日には既報の如く二七倶樂部が主催して二十五周年大祝賀會を催し、午後四時からは陳列館を會場として祝賀餘興が催される事となり、過日來各方面の出演申込を募つてゐたが、廿三日を以て締切り協議の結果プログラムを定めた、なほ駐鐵軍隊の希望により廿八日晩は在鐵各團體が主催者となつて鐵嶺各軍隊の慰安會を催し、これ又在鐵有志の素人演藝會を開催する事になり海軍記念日餘興と同時に出演番組を定めた、決定せる出演者左の如し

廿七日(午後六時開始)

一、童謠　綠星倶樂部員
二、輕口　鐵嶺機關區有志
三、舞踊「淀の川瀨」　郵便局有志
四、尺八合奏　杵八會員
五、萬歲手踊り　居留地有志
六、尺八「青海波」　西田方山師
七、輕口　機關區有志
八、義太夫「野崎村」　若駒、倉田
九、手踊り　鐵嶺ホテル
十、喜劇「果報は寢て待て」　兵器部有志
十一、手踊　萬安連中
十二、博多二輪加　福岡縣人有志

廿八日(午後四時開始)

一、舞踊「唐人お吉」　かほる千惠子
二、琵琶「橘中佐」　岩滿旭嶠師
三、琴尺八合奏　方友會
四、舞踊「紅屋の娘」　機關區有志
五、義太夫「三十三間堂」　若駒倉田
六、尺八「青海波」　西田方山師
七、手踊り　萬安連中
八、喜劇「壺坂」　機關區有志
九、手踊り　鐵嶺ホテル
十、時代劇「一心太助」　郵便局有志
十一、歌劇「カフエー」　從濟寮有志

皇居を遙拜し
神社と忠魂碑に參拜

【開原】來る二十七日海軍記念日に際し在鄉軍人分會にては例年の通り午前六時半開原神社々頭に參集し遙拜所に於て皇居遙拜、開原神社に參拜したる後中央公園に至り忠魂碑に參拜する事となつたと會員のみならず一般に於ても參拜されたいと

祝賀會
會費は一圓で公會堂で開催

【大石橋】來る廿七日(火曜日)は日本海々戰の第二十五周年記念日に相當するを以て海軍に關する講演並に祝賀會を開催するため、官民有志は二十三日午後一時より地方事務所會議室に集まり協議の結果、當日は公會堂に於て會費一圓にて祝賀會を開催することに決した

祝賀會に從軍者を招待する

【營口】來る二十七日の海軍記念祝賀會は午後五時から公會堂に於て開催の筈なるが、海軍々人の同戰役の從軍者、山本土岐彥、江山百合一、黑川宗藏、水師重三郎、佐々木正章、前川幸次郎の諸氏を招待することゝなつた、尙右以外の從軍者は地方事務所に屆出でられたしと

開原

開原デー運動會
來る六月二十二日擧行

開原デー運動會に關する協議會は既報の通り二十二日地方事務所に於て開催の結果左の通り擧行する事に決定した

六月二十二日午前八時半より午後四時迄(雨天の時は二十九日に繰延)中央公園にて擧行▲實行方法は例年の通り▲運動會は家族の娛樂を本位として擧行、軍隊、官衙、地方部、驛、市中の對抗競技を行ふ▲觀覽席は各團體に例年の通り割當をなすも本年は棧敷を作らず西側及南側の樹間に各團體毎に隨意休憩所を設備する事▲當日會場內に支那人を入れぬ樣取締る筈につき各自の使用支那人は使用主の氏名を書き捺印せる白布の腕章を附し出入せしむる事▲會長川崎寅之吉、庶務委員長川島定兵衛、審判委員長三田泰三、競技委員長井上芳雄、場內整理委員長上郡山九效、賞品委員長大津鎌武、記錄委員長佐竹令信、救護委員長松本辰吉、設備委員長千々和正彥、警備委員長前田信二、その他委員は會長より追て委囑すると

親鸞上人降誕會

【開原】本願寺にては二十五日午前十一時より宗祖親鸞上人降誕慶讃會法要を營み續いて講演、正午より御齋、午後一時より餘興接待等ある由

除隊兵沿線見學

開原守備隊滿期除隊兵四十名は谷口特務曹長引率の下に旅順、大連、奉天、撫順、長春、公主嶺等各沿線見學の爲め二十二日五時四十分出發せるが二十六日十七時三十一分歸隊の筈

警察署家族會

開原警察署にては來る六月一日水源地に於て署員家族會を開催すると

中野五葉師講演會

臨濟宗の師家として鎌倉圓覺寺僧堂監督であつた中野五葉禪師は今回修養團滿洲聯合會の招聘に應じ滿鐵社會課後援にて沿線各地巡錫中なるが、當開原にては來る二十八日公會堂に於て講演を催す豫定なりと

松尾警部轉任

西豐縣陶鹿領事分館主任松尾警部は今回通化縣領事分館に轉任を命ぜられたので二十二日來開し轉任挨拶の爲め各方面を歷訪した

大瀨戶氏出發赴任

奉天取引所に轉任の大瀨戶篤次郎氏は二十六日十七時三十六分發列車にて出發赴任すると

永野家不幸

永野小學校長の二女宜子(二つ)さんは過日來入院加療中であつたが二十二日夕刻藥石効なく遂に死去、葬儀は二十三日午後四時開原寺に於て嚴に執行された

開原河に水死人

二十三日午前十時頃開原驛機關車方光本が開原河に水死人あるを發見屆出たので、坂井司法主任は直ちに三田院長と共に急行、開原河東側棧橋の橋脚の水面に浮びたる水死體を引揚げ檢案の結果、死後十二時間位を經過し左方臀部に輕い打撲傷あるのみにて左右目頭に爪の跡樣の疵あるも致命傷と認むべき傷狀なく、四十歲位身長五尺四寸餘、丸顏色白にて(水は相當呑んでゐたが)肥滿せる五分刈頭の鼻下と下唇下に僅に髭を蓄へ、セル地薄茶色の袷長衣を着し黑紋綢子のズボンを穿ち一見商人風の人品賤しからぬ風體であつたが、ポケット中にも手掛りとなるべきものなく、前記の模樣より見て夜行列車にて鐵嶺通過中デッキに出で誤つて墜落せる者にあらずやと列車內に遺留品の有無調査中、前記事情により死體は一先づ華商公議會に引渡し假埋葬に付し遺族の搜查方を各方面に手配中

平岡校長出張

滿鐵教育研究會にては吉林、敦化、海龍、北山城子方面の鮮人教育其他の狀況視察をなす事となり開原、長春、ハルビンの普通學校長は長春より、鐵嶺、奉天、旅順、安東の普通校長は奉天より同地方面へ視察に上る筈なるが、當開原よりは平岡雄吉氏が來る六月二日より七日まで出張すると

鐵嶺

電燈料値下問題
果然、白熱化す
商議の態度如何で市民大會 廿一日の會見は物別

鐵嶺の電燈料金値下問題に關し過日各團體より選出されたる代表者數名は二十一日電燈局に宗石局長を訪れ、六ケ條の件案を携へて面談數刻に及んだが何等具體案を得ず結局不得要領の儘物別れとなつたので、値下運動期成同盟會では本問題を商工會議所議員會に提出し其の贊同を得て滿電本社に直接交涉すべく決議し、商工會議所に申出たので

會議所でも來る二十六日議員會を開催協議の上會議所としての態度を決する筈である、期成同盟會では會議所が不贊成の場合は市民大會を開催し大いに輿論を喚起し全鐵嶺市民一致して目的達成に邁進せんと意氣込んでゐる

風薰る龍首山で
けふ野遊會
呼物の寶探は午後一時から 車馬賃は警察で定む

延期に延期を重ねた鐵嶺全市民の野遊會は愈々二十五日午前十時を期し龍首山上に於て盛大に擧行されるが、會場にはうどんビールサイダー菓子果物等の賣店が設備され午後一時からは賞品一等より三十等までの寶探しが催される、晝食のお辨當やお壽司は參加者各自に攜帶されたしと、車馬賃は警察の方で左の如く一定したから定額以上を拂ふ必要はない

洋車一臺片道三十錢、同往復五十錢、馬車一臺片道六十錢、同往復一圓

尙會場入口日支警察官が取締り、服裝の見苦しい支那人や精神病者は入場を禁止する筈であり、今日一日は全く野遊び氣分となつて健康增進の一助にされたいと

浙江省避難民

浙江省からの避難民百餘名は遼寧省政府の命令で鐵嶺縣下に居住すべく數日前に來鐵したが、鐵嶺縣下では既に水田事業も完成し荒蕪地なく開墾の餘地も無い爲め縣長はこれを吉黑兩省內に移住せしむべく省政府に申請し近く北方に出發せしめる筈と

平民簡易高級學校創立
支那側が城內に

城內では昨年七月平民簡易學校を開設し無學の者に對し無料で教育を授け普通教育を施すべく授業を開始したが、その後の成績頗る良好で最近は縣下各所に此種の學校が設立せられ現在三百十校、收容人員四千名といふ多數に達してゐる、この成績に鑑み縣政府では今回更に平民簡易高級學校を開設すべく既に城內で男女二校を創立したと

降雨を俟つ
奧地の鮮農

鐵嶺縣下は勿論東山地方奧地在住の鮮農達は昨今水田の播種期を迎へて準備を整へたが久しく降雨なき爲め各河川は全く枯渴の狀態にあり、慈雨の臻るを祈願してゐるが、來月十日頃まで降雨なき時は播種は全く不可能となり凶作を免れず、鮮農は何れも憂慮してゐると

立山巡查部長慰靈祭
犯人逮捕で

立山巡查部長射殺犯人逮捕により鐵嶺警察署では二十九日午後一時より鐵嶺基督教會に於て故立山部長に對する犯人逮捕の報告慰靈祭を執行すると

吉林

城內の道路擴張

吉林市政籌備處長劉樹春氏は城內各街の道路狹隘で交通不便なるを遺憾とし河南街、通天街等主要筋二十三ケ所の道路取擴げ計畫を立て、省政府委員會でも許可したので、車道と人道とに分けて修築し兩側の家屋も幾分引込められる個所も多いが、完成の曉は吉林各街は面目を一新するであらう

警官增員決定
間島から六名

吉林石射總領事は豫て警官五名の增員方を外務省に申請中の處、今回其決裁と同時に過般歸朝した西澤巡查の後任を含む左記派遣人員を發表されたが、新任者は孰れも從來間島地方に在勤した人々で、二十六日頃間島を出發し着任は月末頃の豫定である

巡查部長山田四太郎、巡查松尾峰雄、久保弘治、奧山寬一、柴正人、岩乘珪

衛生宣傳デー

吉林中華基督教青年會にては二十一日より二十四日までの四日間を市民衛生宣傳デーと定め毎日午後五時より六時まで市內主要地點に於て露天講演を試みつゝある

石射總領事
家族を同伴して廿五六日頃歸任

石射吉林總領事は內地に在りし家族が二十日神戶出帆、二十三日大連に着くので之が出迎への爲め二十一日午前八時五分發列車で大連に向つた、因に其の家族は夫人と息女二名で、二十五、六日頃歸吉の豫定であると

民會假事務所

吉林居留民會事務所の改築工事は野田喜太郎氏に落札したので、民會では二十日新開門外の元東亞煙草出張所に假事務所の移轉を了し執務して居るが、此の工事は約二箇月を要するのであると

小島氏離吉

今回滿鐵本社地方部社會課に榮轉を命ぜられた小島一男氏は二十日正午發列車で家族同伴赴任の途に就いたが、吉林在住官民多數驛頭に見送つた

哈爾賓

吾等の町を語る
草原から近代都市へ
素晴らしい三十年間の飛躍
滿鐵事務所々長代理 軍司義男氏談

時代はめぐる、地球は廻る、三十年間に著しい發育を遂げたこの町に三十二年間生活し、半生を過した軍司義男氏の史觀の一つ

◇

「明治 四十二年頃のハルビンに尖端を切つて日章旗を揭げたのが現在ニューヨークシチー銀行前の木造二階建に熊澤洋行が產れ當時日本商人としては僅に三井物產と其他二、三を數へる寂寥さ、人口は約一千名內外で、大部分は洗濯屋、時計修繕、寫眞屋さんで、料理屋が其の大半を占めてゐた、勿論日露戰爭前にも日本人は住んでゐたが、明治三十三年にこの第一線を突破して開拓に足を踏み入れたのが宮崎信升君であつた、當時汽車も完全でなく宮崎君は松花江の流れに沿ふてやつて來たといふ、一面雜草と川柳に葭のやうなものが生ひ茂つてゐて、鹽も見えなくなるくらゐの草原地だつた——それが僅々三十有餘年の間にシカゴと稱される程の飛躍をしたのだから夢のやうだ」と軍司さんは超スピード振に追憶の戀しさをなげかけての述懷

◇

「日露 戰後ですら現在の正金支店前一帶はぼツとした空地ばかりで、その背後には入場料を徵收する公園のやうなものもあつた、旅館は東洋館と朝日館の二軒だつたが、現在木造の朝日館は昔の儘で、謂はゞ歷史的の品物である、日本人で土地とか家屋を所有してゐたものは熊澤洋行ぐらゐのもので、實に隔世の感がある」

◇

「舊い 人物も段々無くなり今では武內商會の主人、料理屋組合長の宮崎君、東洋ホテルの城戶君等々、卅年の歷史をもつてゐる人は殆ど指を屈する程になつた」この町開拓の第一步を築いた人々の功勞は、町の生命の存在する限り永久に記念されるべきものであらう、それは民會墓地の年々歲々新なる墓標によつてのみ表象されるものではなく、永久の語り草のうちに殘されて行くであらう

◇

「町は ロシヤの東支鐵道敷設時代を第一期、ソウエート革命の一九一七年を第二期、更に支那勢力の擡頭した現在を第三期とすれば、第一期に於てはロシヤの勢力が偉大で中國人などは殆ど問題とならず、日露戰爭によつて漸く存在を認められた日本人も東支倶樂部には一步も近寄ることすらできなかつた、第二期に入りシベリーに日、英、米共同聯合軍を派遣する樣になつてから、初めて國際的都市として近代的發展を見るに至つたのである、滿鐵事務所も大正六年日滿貿易の夏秋龜一氏が運輸事務を取扱つてゐたのを改めて新設された、邦人は大正七、八年の好況時代松浦商會が堂々たるビルデングを建築し、漸く邦商がキタイスカヤに進出したに過ぎない」

◇

「民會 がペカルナヤにあつた時代は、民會附近の鐵路で泥濘で一步馬が足を踏み脫すと泥が馬腹に達すると云ふ有樣、それが今では立派なヘブが造られ、雨あがりの道にも苦まずに步ける文化町となつたのである」桑田の變、羅馬が一朝にして成るスピード時代の躍進である、この速力で町がグングン伸びて行けば人口百萬を突破するのは數年を俟たぬだらう

「不景氣風を押切つて、郊外の新築家屋が年々激增して行く狀態からみれば、恐ろしい平面的の伸び方である、これが立體化することはどうかと思はれるが、人口百萬決して倒れない都市となるであらう」

ハルピンの胃袋は無限大であり榮養素にも富み、決して神經衰弱には罹るまい(寫眞は軍司氏)

大してひゞかぬ緊縮の風
夏物洋雜貨を通して覗いた哈市の購買力

世界的不況と緊縮、節約の風にあてられた本年の夏物洋雜貨の新規仕入と賣行はどうであらうか——輸入組合の窓から覗つめた處によると夏物として組合の融資額は約五千圓見當で邦人向の小賣商十餘件に割當てられてゐる、その外は直取引であるから四、五の二ケ月に夏物として輸入された品物の總額は約一萬圓內外であらう、尤もこれはハルビン在留邦人向の範圍の計算であるが、昨年と一割乃至二割方仕入額が減つてゐるらしい、然し購買額は別に大した變化無く、たゞ口數が多くなつてゐる、これは一般邦人が緊縮のため幾分は餘分でも買物は差控へた點もあらうが、全體的にみてハルビンは俸給生活者が多いために購買力が減退しないのだらうと

東鐵管理局
日語飜譯者後任

東支管理局總務課日本語飜譯者のネズナイコ氏は病氣のため辭任し其の後任にはパンブリン氏が就任し事務を執つてゐる、ペ氏は東京ニコライ學校出身で日本語は流暢である、氏は局長の秘書として又日常は日本新聞の飜譯をする職務にあり日本に對し非常に趣味を有する人である

本溪湖

煤鐵公司記念式
未曾有の盛況

煤鐵公司創立二十周年記念式の次第は既報の通りなるが、大倉喜七郎男も豫定を變更して再び來溪し前總辦島岡亮太郎氏も株主代表として來溪、その他滿鐵側より田村興業部長、山西撫順炭礦長、支那側は奉天より大官連多數來溪列席した、これよりさき二十二日午前九時より大倉山山麓追悼碑前に於て莊嚴なる殉職者の追悼式を執行し十一時三十分より豫定のプログラムにより公會堂に於て記念式を擧行、午後一時より神社下廣場に建設けられたる宴會場に於て日支官民七百數十名の大宴會を開いた、餘興には奉天より聘した多數美形連も加はり、花火は晝夜間斷なく打ちあげられ眞に未曾有の大盛會であつた、因みに記念の爲め小學校、神社、公會堂其他の公共事業に對しそれ〳〵寄附のほか記念寫眞帳を多數關係方面に贈つた

父兄會幹事會
新役員決定

二十一日午後一時より小學校に於て父兄會幹事會を開き昭和四年度決算報告、同五年度豫算承認の件、父兄會副會長並に新幹事推薦の件、十年間勤續者那須教師表彰の件、來る二十六日午前十時より學校講堂に於て父兄會總會を開催する事を議決した、因に新副會長として機關區長七田積氏を、新幹事として吉川郵便局長、藤村驛長、保線の岡口竹次、藍平見田靜太郎の諸氏を推薦した

安東

把頭を襲ひ二萬餘元を强奪す
三人組馬賊

去る十九日臨江縣七道溝に拳銃所持の支那馬賊三名現はれ帽兒山より歸途の長白縣八道溝採木公司把頭王永喜を襲ひ大洋票二萬四千元を强奪し奧地へ逃走した、王が十八日帽兒山採木公司出張所から勞働者賃金を受取つて所持し居る事を探知し帽兒山から尾行したものらしいと

不二農場の小作爭議
廿日解決す

久しく紛爭を續けてゐた龍川郡不二農場の小作爭議も二十日朝來解決を告げ、二十一日朝に至つては農場一同小作人の約八割は出耕して播種期遲延の挽回に努めてゐるが何分一齊に起耕したので耕牛の不足を告げてゐる、二十一日よりは約五百頭の耕牛を使用し向ふ一週間位で終了の見込であると

一周年記念會
安東童話會で けふ開催

來る二十五日は安東童話協會創立一周年に當るを以て二十五日午後七時より安東クラブで一周年記念會を開催する事となつた、同夜は七時より一時間半の豫定で童話會を開き批評、研究、懇談を行ひ幹事の改選其他打合せをなし九時半閉會の豫定であると

營口

商議役員會
消組問題を報告

營口商業會議所では廿二日午後五時から同所內に役員會を開き、去る十六日大連に開催の滿洲商工會議所聯合會に出席した關副會頭の消費組合問題に關する協議會の經過報告あり、次で六月五日大連に開會の同會出席者及び有福前副會頭に記念品贈呈其他數件を協議し同八時散會

發電所增築
機關室を

營口水電會社では發電所の機關室を增築することゝなり二十四日地鎭祭を行ひ二十五日より起工八月中旬竣工の豫定、豫算は二萬圓であると

大石橋

守備隊の兵士更替
除隊兵士は三十日出發

當地守備隊滿期除隊兵八十九名及び入營初年兵士九十三名は左記時當驛を發着する事に決定した、市民は成るべく多數送迎せられたしと

滿期除隊兵士五月三十日午前六時四十分發(南行第二〇列車)入營初年兵士五月三十一日午後四時三十分着(第一五列車)因に前例に依り除隊兵士に對しては官民一同より慰勞品を贈呈する事となつた

鞍山

陸上競技場で蹴球戰
午後二時から

滿洲蹴球協會監督の下に鞍山蹴球倶樂部では二十五日大連育成軍を招き陸上競技場に於て午後二時よりラグビー試合を擧行する、鞍山始めての催しで一般ファンから頗る期待されて居る

士官學校滿鮮戰史視察團
廿六日午前來鞍

陸軍士官學校滿鮮戰史視察團一行二百四十餘名は二十六日八時二十五分着列車にて來鞍し製鐵所を見學し首山に向ふと

印度よ、何處へ？

反英運動は繼續し 政府は益々彈壓す

刮目される全インド圓卓會議

インドが綿布の關税を引上げただけでもわが國にとつて大打撃であるのに、その上に外國綿布の不買決議をして、反英運動の泡沫を日本にもあびせてゐるのは實に迷惑千萬な話である、綿布の注文は一、二ケ月先きの約定まで出來てゐるのだが、或はその積止めの電報が來はせぬかと懸念され、絹織物やレーヨンの方も心配してゐる一體インドは何うなるのか。

反英行動の繼續

反英運動の指揮者ガンヂーや、アバス・チヤブヂが相次いで投獄され、その後を繼いだ女詩人サロヂニ・ナイヅは、最近鹽專賣倉庫襲撃に向ふ途中、警官隊のため警戒區域外へ追拂はれた、全印國民會議實行委員會は去る十六日獨立派の領袖モチラル・ネールを議長として、税金不納、鹽專賣法破毀、禁酒等の各運動及びこれに伴ふ爭鬪の繼續、イギリス商業機關に對するボイコツト、新聞休刊、非暴力嚴守等の決議を行つた、インド政府は各地の暴動頻發に鑑み、その彈壓政策に漸次峻烈さを加へてゐる。

自治領の地位

反英運動の中堅たる全印國民會議一派は、飽くまで完全なるインドの獨立を獲得せんとしてゐる、然し遠き將來ならばいざ知らず、差當りイギリスがインドの獨立を許す模樣はない、たかゞ自治領になる位のものであらう、回々教徒の政治團體や穩健分子はそれで滿足するらしい、彼等は獨立派の行動を以て、却つてインドの將來を誤るものと非難してゐる。

全印圓卓會議

去る十二日インド總督アーウイン卿は「來る十月二十日ロンドンに全インド圓卓會議を開くことに決し、目下その準備中である」と言明した、これは昨年十一月同總督が約束したところであつて、イギリス政府が英領インド及びインド王侯國の各派代表者を招いて、インドの自治問題に關し協議をしようとしてゐるのである、尤もこの圓卓會議の催される二、三ケ月前に例のインドの施政狀態を實地に調査したサイモン委員會の報告が發表される筈である、右の圓卓會議に於いてインドが自治領を與へらるる事になるか何うか、全印國民會議派は同會議に列席する事さへも拒んでゐる、回々教徒及び穩健分子は出席の日を待望してゐる。

關税の自主權

現在カナダ、濠洲、ニュージーランド、南阿聯邦、アイルランド自由國等には完全な自治が許され通商條約の如きも形式的にはイギリス本國の監督を受けてゐるが、實際は各自治領政府が獨立的に締結してゐる、然しインドにこの權能が與へられるかどうか、頗る疑問であらう、インドは最近イギリス綿布に特惠關税を與へたが、これはインド人が非常に反對したところであつた、若しインドに自治が許されたら、インド人は恐らくイギリスに對する特惠關税を撤廢するであらう、イギリスもそれを見拔いてゐるに違ひない、果してあぶない双物をインドに渡すであらうか。

往昔の同志も現在では仇敵

トロツキーが近著『我が生涯』で スターリンを攻撃

一昨年スターリン一派の爲めに本國を追放され、失意の日を送つてゐるロシア革命の巨頭トロツキーは「我が生涯」と題する六百頁に達する大冊の自叙傳を最近ニユーヨークの出版業者によつて發表した、全册の半分以上は自分がロシア革命に演じた役割、スターリンとの角逐、及びレーニン亡き後に自己の王座を死守せんとした苦鬪に就いて述べてゐる、彼の言に從へば彼の沒落はスターリンの擡頭と共に共産黨内に胚胎してきた革命思想の衰退によるものである、とスターリンのことを徹頭徹尾攻撃し

彼は怠け者で嫉みやで、自分より仕事の出來る者を排斥しやうとする最も卑劣な人間で、レーニンや自分達が成就した革命の潮流にうまく棹さして成り上つた平凡人に過ぎない

實行力

とこき下し「スターリンは實行力があり意志の強い人間ではあるが、彼のイデイオロギーは極めて原始的なものだ」と述べてゐる、彼は此の著書の中でヂノヴイエフ、カーメネフ、ラデツク等スターリンに屈服した昔の同僚のことは大分注意して書いて居り餘り惡口はいつてゐない、文中惡罵したやうな言は吐いてゐないが、蓋し七轉び八起きを常とする彼の如き革命兒の生涯には、今の失意時代も來るべき活動期の前奏曲に過ぎないかも知れぬ、最後に彼は

フランス革命にも比すべき彼の十月革命はレーニンと自分によつて成し遂げられたもので、永い月日には必ず其の最後の結果が明かになるであらう、これはスターリンが如何に詭辯を弄するも斷乎として枉げ得られない事實である

と斷言してゐる

紅い夕陽

［遼陽[illegible]］民政廳から縣への訓令に依れば省内各縣長、管内人民の結婚に際しては結婚證書を販賣しその賣揚金は各地の女子學校の經費に充當せよとある

◇—新刊批評—◇

▲鹽と人生（平林敏滋著）或る西洋の學者が「鹽の少ない陸上に生活する動物の血精中に、多量の鹽を含有してゐるのは其の祖先が海水中に生活してゐた遺傳だと」言つてゐるが、鹽が生命と密接な關係のあることはこれによつても證據立てられる、鹽は單に健康の必需品だけでなく、吾々の生活に最も重大な役割を持つてゐる、本著は從來日本に鹽の文獻のないのを遺憾とし、鹽の知識の一般化のために著はされたもので、其一で鹽の科學、第二で調味及び食品としての鹽製品、其三で鹽を病氣治療に應用する所謂食鹽療法を述べ、その紹介に努めてゐる（四六版百十七頁定價八十錢東京神田表神保町栗田書店發行）

▲華道（三好洞石著）本書は花道教師三好洞石氏が多年唱道して來た生花の通俗化、即ち現代花道の缺陷たる技巧に囚れず植物の自然を尊重して學理を應用し、而かもなるべく短日月の間に習得せしめる目的の下に編纂されたものである、内容は盛花と投入花に亘り斯道にとつては革命的とも云ふべき清新な筆致で華道の民衆化を高調し、舊來の保守的因襲を棄てゝ最も現代に適應した新形式により一般初心者及び研究中の人々の爲に華道の由來より說き起し實際的技術を百二十二頁に及び詳細懇切、且つ平易に解說した良書である（定價二圓大連市柳町七十番地大連華道學院發行）

輕行を憐れむ

Y・A生

投書歡迎　中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以内のこと

二十日、高島護輔の名を以て「非國民仙石滿鐵總裁を葬れ」のパンフレツトが我事務室に配布された、私は滿鐵の社員である、總裁は我等の親分である、これに對し非國民呼ばりをされては好い氣持はしない、高島といふ人は私は一面識もないが察する所、偏見家の樣に思はれる、吾々社員に向つて吾々の親分を非國民呼ばりをするのみか、これに贊成を强調せらるゝことは恰度、子供に向つて其の親の非行をあばいて親を其の家から追出すことに共鳴せよといふのと同樣である、いくら正義の念にかられた子供でも親の惡口を言はれて好感を抱くものは恐らくなからう、而も其親の行爲が確然と非であることを認められない場合に於てをや、私は總裁の當時の病狀は詳しく聞いて居ないが病氣であつたのは事實だ、又秩父宮殿下の御着連の際、御出迎申上げなかつた事、及び沿線に御隨行申上げなかつたのも事實である、而しこれを以て直ちに非國民呼ばりするのは餘りに皮相の觀である、社會をリードし輿論を喚起するには餘りに淺見である、私は非國民呼ばりをするよりも御出迎にも御隨行をもするよりも病氣のため御遠慮申上げた總裁の心事には寧ろ同情する、宮殿下の御來滿に際して官憲は元より吾滿鐵も御乘用車は勿論總べての方面には深甚の注意を拂つてゐた其際若し私の親が總裁の位置にあつたと假定すれば私は親の意志に反してゞも極力、御遠慮申上げる事をすゝめたであらう、然らば私も總裁同樣非國民であらうか、私は私の親分を非國民呼ばりさるゝ事に反感を持つよりも高島氏の輕行を憐れむものである

海◇外◇消◇息

百廿年後には月世界へ旅行

大砲發射で航空船を推進 プリストン大學の教授の說

もう百二十年もしたら人間は月の世界に出かけてそこから地球の同胞と通話することが出來るとは、米國プリンストン大學星學教授ジョン・ステュアイト博士最近の豫言である、博士は曰く

間は一時間五萬哩の高速度航空船で遊星間を周遊し得る時が來る、それは今から百二十年以内に實現される見込である、もう二十年もしたら一時間千哩の飛行は可能になる、そして過去一世紀間に於ける交通機關の速力の增加率を見るに、今から百二十年以内即ち西曆二千五十年迄には引力に打勝つだけの速力を實現し、人類が月世界に旅行し得られると云ふ

推論に到達 する、この大速力を出すに足るだけのエネルギーは種々の物質に求めることが出來る、今日でも既に石炭や酸素の百倍もエネルギーを有してゐるイオン化水素とか、其のまた十六倍のイオン化リシウムなどと云ふものが發見されてゐる、そのエネルギーをどうして發動機に使用するかはこれからの研究に待たねばならないが、今日の智識でもロケツト（花火の如き）の原理によつて前進する新航空船で月世界への旅行は理論上可能である、その航空船は恐らく球形で直徑百十呎、四方八方に大砲を備へ付けその數

十數門に及 ぶであらう、總重量は約七萬噸、内二萬八千噸は砲彈でこの砲彈の發射によつて飛行船が推進するわけである、船員は約六十人乘客十數名で航續力約二ケ月である、出發地點は沙漠とし、大砲の發射による地上の被害を防ぐ、かくて砲彈のやうな大速力で月世界に達したら光線を利用して地球と通話する、これはケネリー・ヘヴイサイト層のため電波によるラヂオが通じないからである、歸航も往航と殆ど同じ道を通るが用心しなければならぬのは着陸の時で、餘り高速度で歸つて來ると、その落下を止める爲めに大砲を發射するので地上に危險を與へる虞がある

黄金製の自動車

ドアーの把手はダイヤモンド

五月六日フランスのシエールブール港に入港したアメリカ貨物船ミンネハンカ號は、ペルシヤ王の注文でアメリカの自動車會社が製造した黄金製の自動車を乘せてきたこれは恐らく世界で一番の贅澤品であらう、車體は全部黄金の延板で造られ兩方の扉の把手はダイヤモンドで出來てゐるモーター以外は全部王の設計したもので内部は赤い絹と高價な毛皮を以て裝飾され、黄金を臺としてダイアモンドをちりばめた電燈器具とテーブルが備へ付けられてゐる、此の世界一の贅澤品が無事にテーランに到着するやう自動車會社ではこれが製造以上の骨を折つてあらゆる注意を拂つてゐる

家庭とコドモ

過渡時代に於ける婦人服の改善
「なるべく洋服を推奬したい」

時代は移る……不利不便不經濟な日本婦人服はもう時代に合はなくなつた、傳統に捉はれて不合理な生活に執着することは愚の骨頂である、不合理なものは片はしから捨て了まふことだ……と言つたところで實行力の乏しい今の日本婦人にはそんな思ひ切つたことはおいそれと出來ないかも知れない、そこで先づ過渡時代として婦人の通常服、事務服、作業服などは全部洋服にしてしまふ、そこで問題になるのは婦人の禮裝であるが、次のやうにすれば結構だと思ふ、洋服ならば絹ワンピースに多少裝飾のあるものを認める、洋服の場合は

一、祝儀は無紋付を本體とする
二、喪服は無地紋付を本體とし紋がなくともよいことにする又模樣ものを用ふる場合は黑紗を以て其の模樣を覆ふこと
三、紋付羽織を以て禮裝に準じたい
四、止むを得ざる場合には吉凶共縞物を用ひて宜しい、但し凶事には喪章をつけて弔意を表すことにしたい（土肥修策氏談）

窓を開けて
新鮮な空氣を入れませう

滿鐵家庭研究所　日向保良

私共の生活に新鮮な空氣が、どんなに必要であるかと言ふことは歐米諸國では古くから知られてゐます、それで屋内に居る時は何時でも窓を開けて新鮮な空氣を入れるやうに心掛けてゐます、尙夜には寢臺をベランダに持出して寢ることまでしてゐるそうです、又病院では窓を開けるだけに止まらず、病室を野天に移すことまでも實施して治療方面に立派な成績を擧げ只今では肺結核の治療法として最も進歩した方法であるといはれるやうになつてゐます、然るに我國では

從來の家屋が全く開放的てあ

るため空氣の流通から申せば此上もないことですから、換氣と言ふやうなことについては傳統的に考へてゐないのです、然し近來我國の建築法も一變して都會地では煉瓦や鐵筋コンクリートの建物が出來るやうになつて來ました、それがため結核患者が多くなつたと言はれてゐます、滿洲では防寒の關係から煉瓦を以て四壁を圍み窓の少い籠のやうな家を作り

戸外の空氣を嚴重に遮斷して

一年中の大部分を其中に暮してゐるのです、内地で開放的の生活をして換氣といふことには無關心の者が一度び渡滿して前記のやうな密閉せられた家屋に住むことによつて、どの位健康を害してゐるか知れません、實例として内地から來た若い婦人などが此急劇なる生活の變化によつて結核になるものが多いことです、近來一部の人に唱へられてゐますが、未だ一般には

新鮮な空氣の價値あることを

認めないで、窓を閉めきつて平氣で暮してゐます、邦人が歐米の如く換氣の必要を感ずる迄には尙幾多の犧牲を出し、幾多の年月を經なければならないと思はれます、こうした犧牲は一日も早く去りたいものです、人類が未開時代に粗造の家屋に住んでゐた時代は病氣もしなかつたが、だん〳〵精巧な家屋に住むやうになつて病氣をするやうになつたのでせう、人智の進歩は益々巧妙な機械を考案し

換氣などにもいろ〳〵な方法

を工夫してゐますが、何んといふても理想的換氣の行はるゝ處は屋外世界、即ち自然の空氣でありま す、さればこの理想的換氣を行ふには力めて屋外に出ることですが室内に居るときでも戸や窓を開け放つて屋内をして常に屋外世界の一部と連絡をとり屋内をして屋外世界の延長であるやうにすべきであります、このことは何人にとつても必要でありますが常に屋内に居る婦人や子供、室内勞働者などにとつては特に必要なことであります、然し實際問題として考へる時には

幾多の障害が出て來るのです

それは御承知のやうに滿洲の冬季は寒さがはげしい上に煤煙が多くて少しでも窓を開けて置くならば屋内は忽ち煤煙だらけとなつてしまふのです。三月も過ぎ春暖が催してペチカを焚かない頃になると名物の風がやつて來て、盛に砂塵を吹き飛ばし窓を開けることも出來ません。然しさしも強く吹いた風も五月の半となりアカシヤの花咲き初める頃となればぴつたりやんで一年の中で最も氣候のよい季節となります。これから夏を越し秋十月迄は餘り風もなく、窓を開けて屋外世界の一部と連絡して

生活するには最もよい時です

されば此時に力めて窓を開け、出來るだけ新鮮な空氣を室内に取り入れたいものです。そして晝間ばかりでなく夜も窓を開けて寢るやうにしたいものです。現在はこれも盜賊の心配があるため實行されてゐないのです。これ等は窓に鐵棒をはめたり、回轉窓を改造するなど少しの工夫によつて出來ると存じます。滿洲の家は皆洋風の建築で何處の家にも回轉窓はあるが

形ばかり西洋の眞似をして

あけることの出來るものは殆どなく皆釘づけとなつてゐます。これを換氣の出來るやう改造することは容易のことであります。それによつて晝間は力めて窓を開放し、夜間は回轉窓によつて換氣するやうにしたいものです。窓を明けることによつて私共の居室を屋外世界の一部とすること、これが私共の健康に多大の影響あることを在滿邦人の念頭に深く刻みつけたいと存じます。

童詩

燕と絮

春木和夫

そよろ〳〵と
吹く風を
積んで來たのか
つばくらめ。
お空で返る
たびごとに
池にやなぎの
絮が散る。
土手の芝生に
俯して見た
藍い水面の
つばくらめ。

數十萬年前の駝鳥の卵
滿蒙資源館所藏の珍品

駝鳥の卵の化石は世界中で最初に發見せられたものは、今を距ること四十餘年前、地中海の東端多島海中の一島サモス島及今日のダーダネルス海峡の邊（地中海より黒海に入る入口）から各々一個づつあるが、同樣のものは北部支那（正確なる産地不詳）からも既に三十有餘年前に發見せられ

◇…比較的 最近には、アメリカ探檢隊によつて南部外蒙古の平原中の昔の湖底の泥土層中から發見せられて居る。此の寫眞の實物は滿蒙資源館に陳列せられ是等の化石卵に次いで世界の記錄に殘さるべき大切な珍奇なもの〻一つで、現時の綏遠行托縣城西方約一十支里の山中の黄土中から發見せられ、その邊の地質時代から云ふと尠くとも數十萬年の昔、第三紀の末葉、鮮新世頃か又は其れ以後のものであらう。その大きさはアフリカ洲に現存の駝鳥の卵よりは稍大きく稍圓で長徑十八糎、短徑十四糎

◇…現在は 内部は乾燥して空虚であるが之に實質の充たさる〻ものとするとその重量約一、九瓩となり普通の鷄卵（五十五瓦）に比べると約三十四個となる。若し鷄卵二つ宛を一人前の御馳走とすると同樣な割合で此の化石卵の中身を料理すると正に十七人前の御馳走が出來るわけである。

こどもと夏の衛生
衣服……寢巻……蒲團

夏の着物は 輕くて薄いものを用ひ、子供の自由に運動か出來るやうにする、皮膚を鍛錬する意味で、特別にひよわな子供を除いては、手は肩まで、足は股あたりまでむき出して唯胸と腹の部分を覆へばそれで澤山である、即ち腹かけのやうなものを着せればよい、胃腸の弱いもの、いひ換へれば下痢を起し易い者は腹巻きをさせるがよい、戸外で遊戯をさせる時もかういふ服裝で充分である、唯餘り年のいかない又は

弱い子供は 日光の直射する場合には身體をあらはさないやうにしなければならない。肌着は、汗を吸ひ取るに適當な晒し木綿を用ゐるがよ。さうして度々洗濯をして汗に濡れたものを着せないやうに心掛けることは、いふ迄もないことである。乳兒は皮膚が殊に弱いから以上の注意を怠れば直きに汗疹を生じ、皮膚が爛れてそれが化膿して大事となることが多い。寢巻は特にゆつたりして、窮屈でないものを選び、上體（腕や胸）をむき出しても別に害がないけれども、下體（腹、腰、足）は冷えないやうにし、殊に

胃腸の弱い 者は夜腹巻をさせるがよい。それから足を冷さない爲めに股引を用ゐ足袋をはかせるのもよい。なぜかといふと、足を冷すと下肢を流通する冷た靜脈血が腹腔を通じて心臟を循環する際に、内部から腸を冷すから、幾ら腹を包んでも、足の冷るのを防ぐことが出來ない、だから寢冷をしないやうにするには、どうしても足を冷さないやうに心掛けなければならない。寢具夜具はやはり

輕いものを 用ひ子供が轉げ出さないやうに注意する、それには子供に簡單な普通の寢衣を着せて、夜具の襟の所二ヶ所と裾の兩側に丈夫な紐をつけて蒲團と結びつけてしまふ、かういふ風にして置けば子供が夜具を蹴飛ばしたり又夜具から轉げ出したりしないから至極便利である。

乳兒とヒマシ油

▽…乳兒が消化不良を起した場合ヒマシ油を飲ませるお母樣がありますがあれは有害無益です。かへつて吐氣を起させたり醫者の治療を困難にします。
▽…先づお乳をひかへて下さい、そして白湯か番茶のさましたものを與へる樣にし、おなかに濕布をしてやつて醫者を呼ぶことです。
▽…いきなりヒマシ油を飲ませることは注意深いお母樣のなさることではありません。乳兒の消化不良はお乳の性質や分量から起ります。（遺澤博士）

大チャンノモウジウガリ（三）

ハルミチ作　ジラウ畫

大チャン ヤ ヲヂサン ハ ドジンドモノ ナゲヤリ ノ ウマイノニ スツカリ カンシンシテヰルト、ドジンドモ ハ「ワタシドモ ノ ウデ ハ コンナモノデス」ト イハヌバカリニ トクイ ノ ハナ ヲ ウゴメカシテ ヰマス、「サア ザウゲ ヲ トラウ」

ドジンドモ ハ コン カラ チヒサナ カタナ ヲ トリダシテ マタタクウチニ ザウ ノ キバ ヲ スツカリ キリトツテ シマヒマシタ、オホキナ ザウゲ ハ ナガサ ガ ドジン ノ セイホドモ アリマシタ。

探偵小說 **女妖** (98)

江戸川亂歩作 横溝正史

伊藤幾久造畫

過去の影(四)

千家篤麿が春日龍三の邸宅から出て來ると、折しも、表へついたのは一臺の立派な馬車、木蔭に身をよせて眺めてゐると、意外にも綾小路瀞子ではないか。

それを見ると篤麿はハッと胸を躍らせた。何の爲に彼女は春日邸へやつて來たのだらう。あの河内莊の事件以來、千家篤麿は、この綾小路瀞子が並々ならぬ彼の大敵であることをよく知つてゐる。

讀者諸君も御承知の通り、あの河内莊の村役場から、河内莊に關する戸籍謄本を奪ひ去つたものは餘人ならぬ千家篤麿だ。彼も亦、河内兵部の子孫なのだらうか。

それは兎も角として、彼は今や河内兵部の子孫に關する事件と、春日龍三の事件を兩天秤にかけて今や大芝居を打たうとしてゐる。

ところが、河内莊の場合、突然横から出て來た綾小路瀞子のために、意外な破綻を來さねばならぬ破目となつた。それ以來彼は、絶えず瀞子の身邊に注意を怠らないでゐる。

今又、その瀞子が春日邸へ現れたからには又しても彼の仕事の邪魔を仕樣とするに違ひなかつた。

千家篤麿は油斷なく、瀞子の馬車を見守つてゐた。

と、更に意外な事には、瀞子の後から、もう一人、女が路上に下りたつた。

木澤由良子!

あの河内莊の幽閉場所から救ひ出された木澤由良子ではないか。

千家篤麿はそれを見ると、思はず、

「あつ!」

と叫ばずにはゐられなかつた。彼は何故かしら、ひどく狼狽した。

由良子の出現——それは彼にとつては致命的な痛手のやうに思はれる。彼は暫く呆然と立ちすくんでゐたが、やがて二人の女性が、春日邸の玄關を上つて行くのを見ると倉皇として立ち去つて行く。

一體、この次にはどんな芝居を打たうと云ふのだらう!

さうとは知らぬ瀞子と由良子——彼等は表の階段を上り切ると——玄關の呼鈴を押した。

現れたのは例の執事である。

彼は二人の顔をみると、ひどく當惑したやうに顔を赤らめた。

「今日はどなたにもお目にかゝらぬと申して居られますが」

「いいえ」

瀞子は鷹揚に頷きながらいふ。

「お手間はとらせませんわ。是非お目にかゝつてお願ひしなければならぬ事が出來たのです。綾小路瀞子が參つたといへば、春日さまは決して、いやだとは仰有らない筈でございますわ」

「でも……」

「いゝからまア取次いで下さいまし」

執事は當惑したやうに二人の顔を見較べてゐたが、止むなく奧の方へ引込んで行つた。

「何だか都合が惡いのぢやありませんでせうか」

木澤由良子はそれを見ると、臆病さうに肩をすくめる。

「いゝえ、そんな事はありませんわ。氣を大きくもつていらつしやい。春日さんは決してそんな方ではありませんからね」

「でも何だか押しつけがましくてあたし……」

「いゝのですよ。何も彼もあたしにお委せなさい。決して惡いやうには致しませんよ」

瀞子は力をつけるやうにさう言つた。

あゝ、瀞子と由良子——彼等はなんのために、この春日邸へやつて來たのだらう。

祖國の名譽のために四國選手が決死の奮戰

我選手新記錄を作り氣を吐く

極東オリムピック大會（第一日）

【東京二十四日發電】ヒリツピン四勝、日本三勝、中華民國一勝の成績を殘して第九回を迎へた極東オリムピツク大會は今回から更に印度の一國を加へ參加選手總數實に六百餘名、名實ともに備はつたものとなつていよいよ二十四日火蓋を切つた、トラツクに、フイールドに水上に各々祖國の名譽のため鬪ふ選手の眉宇には決死の意氣を漲はし盛なる國民的聲援の中に白熱の競技は一週日に亘つて展開され樣としてゐる、青葉薫く神宮競技場を中心に全東京は華やかな國際スポーツのオリムピアと化した、日本か、比律賓か、支那か光榮の天皇盃は何處の手に落ちんとする?、第一日の成績は左の如くである

トラック

百米豫選

A組

一着　南部　十秒九
二着　ネポムセノ
三着　カンダリ

スタートは南部最も良く前半にて一メートルをリードし佐々木良くネポムセノを追つたがラスト二十米にて引離され更にカンダリに拔かれた

B組

一着　吉岡　十秒八
二着　阿武
三着　ゴンザガ（比）

サツトン良くスタートし吉岡素晴しいダツシユにて之を拔き、ゴンザガに肉薄せるも寄せつけず阿武と並んで悠々入選

二百米豫選

A組

一着　ゴンザガ　二十二秒五
二着　ネポムセノ
三着　岡　健二

一齊にスタートし接戰續きたる後ゴンザガ、ネポムセノを三米岡を五米引離して一着となる

B組

一着　吉岡隆德　二十二秒一
二着　佐々木吉藏
三着　カンダリ

三十米までサツトン、吉岡併行しそれより亂戰となり決勝點では吉岡、佐々木の差六米、佐々木とカンザニの差一米となつた

四百米豫選

A組

一着　ホワイト　五十秒六
二着　石原　孝
三着　蒲田久之助

支那選手のフライングに依り四回遣し直しスタートシホワイト終始リードして勝つ

B組

一着　中島亥太郎　四十九秒四
二着　西　貞一
三着　アランプラ

中島スタートより斷然リードし悠々勝ち、西は二百五十米邊りよりアランプラと接戰して之を追越す

千五百米決勝に津田選手が一着

極東新記錄四分六秒

一着　津田晴一郎（四分六秒）
二着　北本　正路
三着　西浦勝次郎
四着　角谷　保次

（寫眞は津田選手）

スタートよりヤタール先頭となりテイアス、ヌド之に續き日本選手は三十米以上遲れたが、第二周終りより北本猛襲ヤタールに迫り津田、西浦續きヤタール五番に落ち津田最後の直線コースにて力走し一着となる（日本及極東新記錄）

フヰールド

走幅跳決勝

一等　南部忠平　七米五九
二等　織田幹雄　七米四六
三等　富山一郎　七米三二

（以上極東日本新記錄）

四等　ボルタシオン　六米八九

南部、織田いづれも日本新記錄三等富山も極東記錄を破るなど好記錄續出、大島のみは調子出ずボルタシオンに乘ぜられた、得點日本十、比島一

村二回で跳びバーはいよいよ世界オリムピツクレコードたる一米九八に上げられトリピオ一回にて跳び木村アムステルダム上海兩度の敗戰雪辱の意氣物凄く死力を盡せるも三回とも失敗トリピオ更に二米を二回で跳び越し底知れぬ力に滿場を驚嘆させて優勝

高障碍豫選

A組

一着　三木　一五秒五
二着　ニカノール（比）
三着　藤田

スタートは藤田とボータシオン良かつたが、三木三臺目にてボータシオンに並びそのまゝゴールに入る

B組

一着　アシアス（比）十五秒八
二着　淺川
三着　カドレス

岩永スタート良く優勢一着なりしもハードルを三臺倒して失格

走高跳決勝

一等　トリピオ（比）二米A
二等　木村一夫　一米九六
（以上極東日本新記錄）
三等　小野　操　一米九一
四等　ソリヴア　一米八四
得點　比六點　日五點

殘り一米八八ではトリピオ、木村、小野及びソリヴアの四名だけバーの高さ一米八四で四名だけ殘り一米八八ではトリピオ、木村はバーを搖り動かしつゝやつと跳び越え觀衆は本日最後の見物として手に汗を握り熱狂する一米九四にて小野落ちトリピオ一度にて跳び木村は三回にて跳び一米九六はトリピオ一回、木

低障碍豫選

A組

一着　カドレス　二十五秒六
二着　カシアス
三着　淺川正一

スタート揃ひ淺川、カシアスリードせるもカドレス、淺川を拔きカシアスが入選確實と見てスピードを落した隙に一着となる

B組

一着　三宅正元（タイム無し）
二着　阿武巖夫
三着　ヴイラヌエヴア

二十米より三宅リードし阿武五臺目にてビラヌエヴアを拔き各々五米の差にて入選

齋藤選手頑張つて四十メートル二七を出して優勝す

圓盤投決勝

日本全勝

一等　齋藤眞衞　四十米二七
二等　黑田保次　三十九米五八
三等　沖田芳夫　三十九米一七
四等　久内　武　三十八米三九

圓盤投決勝は比、支選手は始めから三十五メートルに達せず日本の四選手は投げる毎に極東記錄の旗近くに飛び斷然優勢を示し勝負にならずベストシツクスには比島のペラヨ、エスカランテが三十三メートル餘りで殘つたがそれ以上の記錄出ず結局日本の四選手間の爭ひとなり後半

庭球

布井（日本）六－一、六－二、六－二　アラゴン（比島）
佐藤（日）六－四、六－三、六－一　インガヨ（比）

△布井對アラゴンの庭球試合は午後一時十五分布井のサービスに開始、アラゴンのバツクの弱味につけ込み三ゲーム勝ち續け更に巧みなるネツトプレーにて六對一、第二セツトも樂に勝つ、第三セツトではアラゴン奮鬪し六ゲームにて四對二に漕ぎつけたるも及ばず敗退す、試合時間五十五分

△佐藤對インガヨの試合は二時二十分開始、第二セツトでは三對三となり力の入つたゲームを見せたが續かず三時十分閉戰

比支女子庭球

支那勝つ

北支女子庭球試合左く如し
李杏花　六－一、六－二　カレアガ

劉長春選手

四百米のみ出場

【東京二十四日發電】支那選手劉長春は上海豫選以來左足を痛めてゐるため二十四日の百米突、二百米突の豫選には棄權し四百米突のみに出場することゝなつた

9A－6 支那先づ勝つ

對比軍第一回戰績

【東京二十四日發電】比島對支那野球試合第一回戰は二十四日午後二時三十分より、球審天知、壘審橫澤、綿村、新田、比島先攻にて開始されたが支那軍見事九A對六で勝つ

	回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
比島	得點	0	0	0	0	1	1	3	0	1	6
支那	得點	2	0	1	0	0	0	2	4	0	9A

比島	
ムエ	4
ンチ	6
ロダ	2
ンメ	5
ペサ	7
ベセ	9
トサ	8
ダオ	3
シン	1
オピ	
ラン	
ガヅ	
マナ	
ネア	
レロ	
スア	

中華	
安陸	7
和平	4
平漢	6
炎照	2
照炳	9
陽	5
何林	3
楊程	1
馮	8

試合經過

▲一回　比三者凡退△支那張榮安左飛落球に一擧二進し陸樹階のバントに三壘に進み馮玉和とのスクイズ成り張榮安生還、投手の本壘送球は野選となつて馮玉和一壘に生き投手の牽制暴投で一擧三進蔡運平の三壘安打に馮玉和生還（比島サントス投手となり、ナヴアロ左翼となる）ご點を先取したが後者無為（比島零、支那二點）

▲二回　兩軍無為

▲三回　比島走者を出したが入らず△支那一死後陸樹階三壘右、馮玉和右前、蔡運平左前にいづれも安打し滿壘となり何東漢死球を喰つて陸樹階押出されて一點を擧げたが林炎の一併は馮玉和を本壘に封殺し楊東照も一併して止む（比島零、支那一點）

▲四回　兩軍無為

▲五回　比島一死後ガビオラ中右間安打しマンザナレスの一併に二進しナヴアロの右飛を野手落球する間にガビオラ生還エチエムの二併でナヴアロ二壘に封殺△支那三者凡退（比島二點、支那零）

▲六回　比島二死後セベダ左越二壘打しサントスの左前安打で生還、その間にサントス二進せるもオンシニアン遊併△支那林炎遊併惡投に生き楊東照四球に續き程觀炳捕邪飛の後馮恩陽遊併高投に林炎生還走者二、三壘に殘り張榮安とのスクイズ成功して楊東照生還陸樹階捕邪飛（比島一點、支那二點）

▲七回　比島ガビオラ遊併惡投に生きマンザナレス三振後ナヴアロの中堅安打に走者一、二壘に據りエチエム三振後メダンの遊併を野手二壘に惡投しガビオラ生還走者三、二壘を得サペロンの左越二壘打に二者生還セベダ二併△支那馮玉和死球蔡運平遊併高投に走者一、三壘を占む（比島ビル バオ遊擊となる）何東漢のバント野選となり馮玉和生還何東漢二盜し林炎中堅犧飛して蔡運平生還楊東照の投併で何東漢二、三壘間に挾殺される間に楊東照二壘を得程觀炳の左前安打に楊東照生還馮恩陽三振したが捕手落球して一壘に投じたるも一壘手落し二走者となり張榮安の遊擊安打に程觀炳生還四點を加ふ陸樹階三併（比島三點支那四點）

▲八回　比島（鐘友投手、程觀炳一壘となる）無死滿壘となつたが入らず△支那無為

▲九回　比島ビルバオ一、二間安打サペロンの三併で二壘封殺セベダ遊前内野安打しサントスの二併でセベダ封殺される間にサペロン生還オンシニアンの左前安打に二走者となつたがガビオラ三振し九アルフアー對六で支那先づ勝つ閉戰五時五分

	比島	支那
打數	四〇	三四
安打	八	七
三振	六	二
失策	六	一〇

陸上個人競技得點合計

日本　三七點　比島　七點
支那　零　印度　零

日支籠球戰

日本勝つ

日支籠球第一回戰は卅九對廿四にて日本勝つ

前半日本一五－一二中華
後半日本二四－一二中華

日比排球

排球日比一回戰は二十日午後三時五分比島のサーブにて開始されて第一セツト兩軍見事なるスマツシを交換し日本二十對十八まで肉薄せるも後衞のミスにて二十一對十八にて惜敗、第二セツトでは日本十一對四とリードせるもサイドチエンヂの後比島調子を出し十三對十三となり、坂上、江畑、政尾等見事なる防戰振りを示したるも二十一對十四となり惜敗した

前半　二一－一八　比島　日本
後半　二一－一四　比島　日本

比支女子排球

支那　二一－二一、一二－一六　比律賓

排球女子オープン支那對比島は第一セツトにては支那側斷然リードせるも第二セツトでは比島當り出し十一對七にてサイドチエンヂをなした、その後苦戰となり十七對十五と追すがつたのみで敗退した

デ盃戰アメリカゾーン

アメリカ二勝

【チエウイチエイス（メリーランド）二十三日發電】デ盃戰アメリカゾーン二回戰でアメリカはダブルスに勝ちメキシコを敗退せしめた

ヴアンリン｛六－一〇｝ラ
アリソン（米）｛六－一、六－三｝アンダ（墨）

日本大相撲

十日目の勝負

【東京廿四日發電】東京大相撲十日目勝負左の如し

勝　　　負
太郎山（吊り出し）綾浪
吉野山（叩き込み）藤の里
若瀬川（上手投げ）大島
古賀の浦（掬ひ投げ）綾櫻
雷の峰（寄り倒し）若常陸
幡瀬川（押し切り）出羽岳
新海（かけ凭れ）劍岳
荒熊（寄り切り）鏡岩
寶川（下手投げ）和歌島
清水川（上手投げ）外ケ濱
眞鶴（吊り出し）玉碇
武藏山（送り出し）朝汐
若葉山（押し出し）信夫山
天龍（押し倒し）能代潟
玉錦（寄り倒し）常陸島
常陸岩（はたき込）錦洋
大ノ里（はたき込）豐國
山錦（押し切り）宮城山
（打出し六時）

越鐵山手急行事件の公判

【東京二十四日發電】昭和五大疑獄のうち越鐵、山手急行事件の第一回公判は七月十日開廷と決定せる旨二十四日各被告に通達した、裁判長は小林讓氏、檢事は石郷岡岩男氏で辯護人は塚崎氏外十數名で永井亨博士等も出廷する

世界一周計畫の米國女流飛行家

六月一日先づ日本へ

【立川二十四日發電】米國女流飛行家の花形メーアス孃では先般來世界一周飛行を企てコースを選定中であつたが六月一日愈々ニユーヨークを出發しシベリアの上空を飛び日本に飛來する旨立川飛行場へ入電があつた

通學の中等生數を調査

現在大連男女中等學生の内汽車通學する者は約七十名ばかりあり、男學生は前部客車に、女學生は後部客車に乘る樣に規定されてゐるが、最近夏季に入つて汽車通學生も增加し朝夕の往復に混み合ふために自然男女間の區別がルーズになる嫌ひがあるので、石川神明高女校長は各校の汽車通學生の數を精確に調査し車輛不足の時には鐵道部に交涉のうへ增車して貰ふため、二十二日各校にあてそれぐ照會狀を發した

修身受持の校長夫人

男教諭と駈落

【東京二十四日發電】大村女子職業學校長大野半九郎氏夫人同校修身科教諭マサエ（四〇）は去る十五日「新たに生きる爲めには家出の外なし」との手紙を殘して行方不明となり又豫て同夫人と醜關係の噂ある同校教諭田原某も岡山に歸ると下宿を出た儘消息なく兩名諜し合せ岡山方面に向つた形跡あり目下搜査中なるが校長夫人たり修身科擔任のこの不仕鱈は非難が高い

奉票は反古同様

交通機關以外は授受を拒絕

【奉天特電二十四日發】昨今九千六百元といふ新値を示し既に一萬元の大臺に乘るも遠からぬと唱へられてゐる奉票は支那側商取引が一切現洋に改められ奉票を使用してゐる處は奉天でも市街自動車、電車、洋車位の一部分に限られ又田舍も片田舍でなければ授受されてゐない有樣となり全く顧みられなくなつて來た、奉天取引所でも二、三日間は出來高皆無といふ閑散を示してゐた、猶支那側の情報による聯合四庫の發行せる現大洋票は千百六十五萬元でその中兌換金として現銀七割有價證券三割を準備してゐる、そして昨年まで金融維持策として奉票を回收せるは六億數十萬元と稱へられ片田舍までも奉票の授受不安が徹底して來るに從ひ奉票は全く自然消滅となららうと

長崎紡織減給

收益激減で

【長崎二十四日發電】長崎紡織會社は最近收益激減し今期配當三分減の意嚮なるが、鹿兒島支配人は二十二日突如二千名の工手（女工千六百名、男工四百五十名）に對し一齊給料六分減を申渡し、同時に寄宿舍の食費一割を引き下ぐる旨を聲明した、從業員は會社の措置を謎とし變つた模樣もなく平常通り出勤してゐる

青年聯盟の軍隊慰問

滿洲青年聯盟では先に柳樹屯軍隊を慰問し非常の成果を收めたが、今回二十三、四兩日旅順の駐箚軍隊慰問のため幹部數名同地に出張した、なほ引續き聯盟では活動寫眞、講演等を催し廿餘ケ所の各地駐屯軍、分遣隊の慰問を行ふ豫定であると

石川縣下大火

【金澤二十四日發電】二十一日午後一時石川縣鹿島郡中乃島村大字中乃島小學校附近より發火し二時半迄に約三十戶を全燒し尙燃えつゝあり

大連神社の海軍記念祭

來る二十七日は海軍記念日につき大連神社に於ては當日午前十時より水谷民政署長事務取扱及び田中市長その他氏子役員等參列のうへ海軍記念祭典を執行

子供の火弄び

二十二日午後零時ごろ市内大和町二十番地遞信局電柱置場から發火し堆積電柱が盛んに燃えつゝあるを通行人が發見、消防署の出動で鎭火した原因は大和町二四番地通信工夫公文良三郎二男靖（八つ）同町通信職工川崎方松田格司（八つ）同町通信職工久光勇太郎長男久一（七つ）の三名がコールタールの附着せる前記電柱の堆積場で燐寸を弄びたる爲め引火したものであるが、大連署では各保護者に對し子供の火弄びに注意するやう戒告を發した

簡保健康相談所

關東遞信局が大連愛宕町四十二番地に開設した簡易保險健康相談所は三十一日正午同所に於て開所式を行ふと

海底爆破作業

寺兒溝第一棧橋東側の第二棧橋築造位置の海底岩盤破碎のため廿五日より來月三十日まで同地において爆薬を使用するから附近航行船舶は注意されたいと

遊覽船の臨時檢査

沙河口署保安係では事故豫防策として來る廿六日より星ケ浦一帶の遊覽舢舨および船頭の臨時檢査を行ふと

はいかる丸船客

【門司特電二十四日發】二十六日午前入港豫定のはいかる丸の主なる船客左の如し

伊野文三郎、吉田貫太、福田順三、山井弘、岡誠一、池田保、池浦隆次、吉田龍雄、佐野新一、高木少佐、工藤中尉、岡本中尉

滿洲の花　いまアカシヤの真盛り

日活現代劇臺本より この母を見よ（一〇）

畸面座同人構成

映畫キヤスト

原作	エリイザ、オルゼシユコ「寡婦マルタ」より
脚色	八木保太郎
監督	田坂具隆
撮影	伊佐山三郎
父 桑木元	南部章三
母 倭子	瀧花久子
子 中子	松平千鶴子
街の女 畔子	入江たか子
乾氏夫人	英百合子
おみつ	佐久間妙子
臼田夫人	津島ルイ子
娘瑠璃子	小西節子
婦人用品店主	常盤操子
よね	島村靜子
満村等	大原仁美
大村書店主	村田廣壽

厚い織物の隙間から覗いてゐる眼の持主は等である。

等はソツト織物から離れた。

夫人が出て來て無言のまゝ等の前を通り次の部屋へ入つて行つた。

等はまた覗きはじめたが、やがて部屋の眞中に立つて、兩手を上へあげ、じつと天井を見つめてゐた。そのお芝居めかしい姿勢に伴ふ鐵血表情が又ひどくお芝居風であつた。

倭子は彼女の前に置かれた書物を一册々々繰廣げ始めた。

そしてハタと當惑の色が其の顔に現はれて來た。

それらの書物から、十志子が今までに隨分澤山學んで、もう可なり高い程度に進んで居る事を知つたからである。

等は又覗き始めた

僕はあの人をあらゆる僕の女神達の女王にしようと思ふ—若き未亡人僕は女の蒼白い額や憂愁に沈んだ眼が大好きなんだ！

等はから呟やくとひよいと頭を上げた。さうして出來るだけ大きく眼を見開き、訴へるやうな、怨つたやうな、歎いたやうな表情をした。

十志子が質問をした。

しかし倭子はすぐ答へる事が出來なかつた。

倭子は本のページをめくり始めた。明らかに倭子は答へなければならない言葉を本の中から求めやうとしてゐるのであつた。

等のおどけた顔

わが女神の君には大分苦戰の體にお見うけ申すなどうやらあのちびの小さかしき質問に答へが出來ないらしい

足を爪立てゝ等は扉から離れ、窓際に立つた。そして硝子越しに眼を人混みの賑やかな往來へ外らした。

十志子がリーダーを讀んで居る不安さうに聞いてゐる倭子。

第二の質問が出された。

倭子は矢張すぐ答へる事が出來なかつた。

本をめくる手が顫へ出した。

濟みませんがお孃さん明日までお待ち下さいませんか

十志子の口邊に、年齡よりも智的に發達してゐる一寸した優越の微笑が浮んだ。

古本屋—

倭子は薄暗い、そして埃つぽい本棚の前に立つて居た。

初等英文法
算術難問題解釋

なるたけ値段の安いのを選んでゐる倭子の姿は朝、下宿を出る時の生き生きとした姿とは全く異つて淋しく見えた。

二階に歸つて來た倭子の足には全く力がぬけて居た。

眼は下ばかり見つめて、顔には深い煩惱の影が動く。

中子が喜びの聲を立てゝ抱きついて來ても、唯一寸と手を握つただけであつた。

下宿の階下

茶の間では亭主と女房が倭子達の噂をしながら夕飯を喰べてゐる

中子は母の顔が深い惱みに蔽はれてゐるのを知つた。

お母様お仕事がなかつたの

悧巧さうな中子の瞳が不安に戰いて見えた。（寫眞は英百合子、星ヘヤタ瀧花久子）

滿日文藝

滿日柳壇

『袖』 皮口 秋水

いゝ柄を番頭片袖にかけて見せ
迷信者佛の袖へしがみつき 昌圖 俊子
無理止めをされて袖口釘でさき
袖付の破れへ悋氣の目が光り 旅順 辰雄
振袖のポツクは鈴の音で行き
素見の袖は格子へ喰ひ込まれ 昌圖 柳川
振られたる袖に未練な目が殘り
買ひ物の袖は風呂敷だけはいり 大連 佛心
團結の袖を連らねて立ち上り 旅順 永眼坊
領袖も野黨になつて冴えぬ顔 奉天 奇峰
振袖に親の苦心を見せる稚子

滿日勝繼聯珠（六六）

中央聯珠社大連支部第一次戰譜
第十一回（その二）
二段 大田晨孤雁（大連）
先 山田源次郎（大連）

▲二十五種中指定（一號桂峽月五珠二題打）

【四段井村永治講評】

▲黑（十一）感想の如く（十二）に打ち次に「イ」に組む趣向を規ふ方手順くしてよい。白（十二）當然である。黑（十三）以下非常に難しい局面となつた、白（十八）反對も強い然し圖も赤種々の味のある防ぎでそれは對局當事者自身のその時の心持次第の處で何れとも云へぬ。黑（十九）今引いておかねばならぬといふ緊急の時でない故これは單に（二十一）と組む方含みがあつて面白い。黑（二十一）此の場合これより他なからう（十三）以下ここまで組む力量を認める。白（二十二）よろしい。最も急所なる事感想の如くである。黑（二十三）當然の防ぎである。

▲感想【山田曰く】（十一）は（十二）に打つた方が有利でした（十二）は此の際に於ける強防でせう【孤雁曰く】（十八）は堅く反對に打つべきであつた【山田曰く】（二十二）は最急所でせう……

（昭和二年十二月二十五日第三種郵便物認可）

主義を棄て　の比例定員制
米國移民委員會長上院に提出
わが反感緩和されん

【ワシントン廿三日發電】上院移民委員會議長ジョンソン氏は今日上院に於て日本移民にも比例定員を與へることを提案したが、氏の案は一九二四年の移民法に對する日本の反感を緩和せんとするもので現在日本よりの移民は一年約百名で右案に依ると一ケ年五十名乃至九十名の增加を見るに過ぎないが、その根本主義においては從來の差別主義を棄てゝ日本の希望する比例定員を與へんとするものである

軍縮第十九條解釋
國防の缺陷は大いに緩和され
日本にとつて好都合

【東京二十四日發電】二十三日の閣議で山梨海軍次官より報告されたロンドン海軍條約第十九條の解釋は第十六條に關聯して目下日、英、米三國において問題となつてゐるが、その疑義を生ずる點は日英米三國は大小巡洋艦の合計保有噸數內において艦齡超過艦の代換建造は小巡洋艦の代りに大巡洋艦を又は逆に大巡洋艦の代りに小巡洋艦を起工建造し只條約期間中に完成せざれば可なりといふやうにも條約文上は言釋出來ることに起因してゐる、若しそのやうに解釋するとすれば米國は兎も角日英は小巡洋艦の代換として多數の大巡洋艦を起工建造し得ること〻なり一九三六年末迄の條約期間中は完成せず共日英殊に日本の大巡洋艦勢力は條約規定の比較保有量以上の實勢力となり、さうなれば目下國內問題として喧しく論ぜられてゐる國防缺陷も大いに緩和される事となる譯であるから日本に採つては極めて好都合な解釋である

豫算編成方針は來月下旬頃決定
西下車中　井上藏相語る

【東京廿三日發電】大阪の貯蓄銀行大會等に出席のため廿三日午後九時廿五分東京驛發西下した井上藏相は車中左の如く語る

明年度の豫算編成は頗る困難で補助艦代換建造其他重大なる根本問題がどうなるか全然豫想がたゝぬから編成方針も何とも目鼻がついてゐない、然し海軍問題、減稅問題等は取除けて一先づ編成方針を決めること〻し主計局に命じて調査させてゐるが來月二十日前後には閣議で決定する運びにならう、勿論緊縮方針で公債は發行しない、歲入情況は租稅收入の如きも相當の減稅は免がれまいし國庫剩餘金も殆んど全く期待出來ないから新規施設はとてもやれない、只現下の情勢に照し減稅と或程度の社會政策的施設、國際貸借改善施設等は何とかしなければならないからその實現方法等については海軍部內にて海軍費等の目安がたゝぬ內は減稅等も何處迄やれるか判明しない、稅制整理については來月邊りから調査會を設けたいと思ふ

外國への現金郵送を禁止

【上海廿三日發電】國民政府は本日支那から日本その他諸外國へ價格表記の方法に依り現金を流出せしむるを嚴禁する旨の命令を發布した

漁獲物課稅
布哇議員抗議

【ホノルル二十四日發電】ハワイ代議士ハウストン氏は市民權の無い外國人の漁獲物に關稅を課する事は通商條約違反なりとしてワシントン政府へ抗議を申し込んだ

けふの寫眞

（上）李王垠殿下には二十二日世田ケ谷、國士館中學部に御成遊ばされた寫眞は學生の奉迎裡に御入場の殿下、先頭は水野總長（下）は近く除幕式を擧げる上野の竹の臺に設置のグランド將軍來朝記念碑

支那の南北戰
到る處混戰
現在一勝一敗の形勢

【天津特電二十四日發】南北の戰ひは例によつて兩派の宣傳が盛んで蔣派の丁士源氏が「今や新聞を看るの必要がない」と慨嘆したやうに、その眞相を捉へることは困難で例へば南方では今次の戰は民國最後の封建軍閥閻錫山、馮玉祥を討伐するものであるが大義名分に照し彼等の自滅はたゞ時間の問題だ、故に早くも山西派の巨將商震、傅作義、王靖國等は內應すべく決定すると共に去る十日からの戰は北方の雜軍所在に敗れ歸德の如きは夙に陷落した鄭州の占領も數日の後であらうと吹聽し又上海南京電報賑々しく南方の勝利を報じてゐる、これに對して北方では吾等はたゞ背叛國の蔣中正一人を討伐するのみ、義軍の嚮ふ所敵なく早くも陳調元軍（阮肇昌氏の部下李松山、張彬の二師）の一部は濟寧で石友三軍に寢返り更に蔣介石氏の信頼せる王均楊勝治、王金鈺、郝夢齡の諸將は全軍を率ゐて內應することになつた、假りにドイツ人顧問が指揮してゐても南方の軍心は既に蔣氏に離叛したから南京を陷すことは一、二週日後であらうと宣傳してゐる、孰れを聞いても景氣のいゝ話だが事實はこれに反し戰局は所在に混戰に陷り一勝一敗の形勢に在るもの〻如く遽に勝敗を斷じ難いのが實情である、而して今次の戰ひは蔣、反蔣兩派の天下分け目の戰ひで更に戰線の長さ、參加軍隊の多數は民國未曾有と稱せられ實戰と共に買收政略も併せ行はれつゝある爲め蔣介石氏は勿論、閻錫山、馮玉祥氏さへ前線に出馬し血みどろとなつて一切を指揮してゐる、今兩派の宣傳臭きものを拔き當地にて得たる信ずべき情報を綜合すると現今の戰況は大體次の如くである

隴海線方面

南軍は浦口に在つた教導團をも動員し之に直系部隊たる劉峙、顧祝同、陳繼承の精鋭を加へ去る十日より隴海線に展開し、亳州、鹿邑、夏邑、歸德等に在つた北軍の孫殿英、萬選才、劉春榮各軍に猛烈なる攻撃を加へつゝあるが、北軍善く防ぎ各部隊とも城內に據つて包圍されつゝ戰ひを交へてゐるが大體において北軍危うしと見られ爲めに山西軍の孫楚、張蔭梧の二軍が急援に赴き二十日頃から戰ひに參加した、勝敗は不明であるが北軍不利と雖も城內に據る强味があるので急には同方面の勝敗は決せられない模樣である、蔣介石氏は徐州、碭山を往復して指揮してゐる

山東西部方面

隴海線の開戰と共に曹州、東明方面の石友三軍は急に行動を開始し濟寧、兗州を目標にして進撃中、石氏は山東省政府主席に內定してゐるので黃河に背水の陣を布き非常な勢ひを以て進みつゝあるが、これに對し南軍の范熙績軍は濟寧魚臺の線に防禦陣地を築き守勢を取つてゐる、その一部は前記の如く阮肇昌氏の二師が石軍に寢返つたので南軍は泰安の馬鴻逵軍碭山の陳繼承軍から一部づゝを割いて應援せしめつゝある、今日のところ尚主力戰に入らないので戰況は不明

平漢線方面

南軍は蔣鼎文軍を主力としてこれに王金鈺、上官雲相、岳維峻の各軍を加へた有力なる部隊を以て東隴海線の攻勢に呼應して許州を目標に北進中であつたが北軍の樊鍾秀軍善く防ぎ却つて南軍を擊退したと傳へらる〻一方、臨汝方面から馮軍の龐炳勳軍は東南に進み北上しつゝある南軍を壓迫したので目下激戰中である、更に湖北の西部襄陽方面においても張維璽、劉汝明、田金凱等の馮軍南進を開始し南軍の楚芝蘭、范石生、楊虎城等の各軍と所在に交戰中、この方面は目下のところ南軍やゝ不利である

山東北部方面

津浦線の北段では依然山西軍（傅作義、李生達）と韓復渠軍と對峙してゐるが北軍としては右翼石友三軍を援助せざるを得ないので山東西部の戰況と共に近く行動を開始することにならう、

之を要するに南軍は北軍の前線に在る雜軍を先づ擊破し機先を制して主力戰に入る作戰で蔣介石氏の排遞主義が快よく發揮され既に去る十日から猛烈に攻撃を加へてゐるが、雜軍は土匪上りで地理に精しく且城內に據つて住民を抱込んでゐる爲め戰ひは急速に進まない、北軍は立ち遲れの觀があり例へば山西軍は夙に濟南を收むべきに勞せずして効を求めやうとする政略に努力した爲め今尚開戰に至らないことや、西北軍は雜軍を陣頭に立て友軍を顧視して主力の集中を怠つてゐたこと等がそれであらう、しかし今や西北軍の主力（孫連仲、宋哲元、劉郁芬、孫良誠等）は續々兵力を前線に輸送すると共に閻州一帶に集結を了り山西軍も亦閻馮兩氏も指揮線に立つたから南北の主力戰はいよ〳〵こゝ數日中に開始されやうが殆ど空前絕後とも觀られる大戰亂ではある

日本は太平洋における平和の擁護者である
送別會席上、駐日米大使演說

【東京廿四日發電】駐日米大使キャッスル氏は廿七日歸國の途に就くので日米協會では二十三日午後六時半から華族會館で盛大な送別晩餐會を開き會長德川公主催者側を代表して送別の辭を述べキャッスル大使は大要左の如き演說をなし滿場拍手裡に十時散會した

日米兩國は往々にして他を誤解し又日本は屢々アメリカを以て日本の極東における勢力を害はんとするものとなし、アメリカは時に日本を目するに東洋において禍の心を有するものとなしたのであります、アメリカが今後學ばなければならぬこと、而してロンドン會議後の信頼と友情との新時代においては從來よりも更に易く學び得ることは何であるかと申しますれば日本の極東における利害は最も重大であつて日本の對支貿易は何よりも自由であるが故に日本は太平洋における平和の擁護者であらねばならぬといふことであります【寫眞はキャッスル大使】

閻軍總豫備隊出動
隴海、津浦兩方面に急派電命
北平の軍事行動緊張

【北平二十三日發電】閻錫山氏は各方面の戰況不利のためいよ〳〵北平附近に殘留せる總豫備隊を繰出すべく第四路總指揮張蔭梧軍を隴海線方面に急派し更に第五路軍總指揮李服膺氏に即時津浦線方面に出動を電命した、當地の軍事行動は俄に緊張を呈して來た

實業團の反對に無産黨對抗
勞働組合法實現期待

【東京二十四日發電】第五十八議會において內相が屢々言明したことに依り勞働組合法の來議會提出が確實性を帶びて來た折柄工業俱樂部を中心に全國の十數實業團體が大規模な組織的反對運動を起さんとしつゝあることは勞資の階級的對立をますます尖銳化するものであるとして注目されてゐるが果然無産各派では勞働組合法獲得無産黨協同鬪爭委員會を設置し實業團體の反對に對抗すると共に政府を鞭撻して之が實現を圖ることに決し二十四日午後社民、大衆、勞農三黨の書記長會議を開き具體的對策を講ずること〻なつた

沿海州暴動原因
强制勞働者二萬人派遣に
生活不安に襲はる

【ハルビン特電二十四日發】浦鹽よりの報道によると沿海州地方は今にも反ソウエート勞農民が暴化するやう傳へられてゐるが、その眞相によると最近ロシヤ本國から强制勞働者（囚人）約二萬人を極東に派遣し各地の炭礦に使用した爲め以前の坑夫は失業の不安に襲はれて反撃し、スウチャン炭坑に同盟罷業を起し官憲と衝突し多數銃殺されたと傳へられる

東鐵管理局の罷業對策

【ハルビン特電二十四日發】露領沿海州スウチャン、イマン、スパスカヤ地方に石炭坑夫の同盟罷業あり、當地ロシヤ人を刺戟してゐるが、東鐵管理局にては從業員が罷業した場合處分する方法として管理局がその調停者となり、法規に違ひ處罰すること〻した、その法規は一九一九年の同盟罷業に適用したと類似のものを以てすると偕一九二一年のペスト流行に際し多數の機械工が十日に亘り罷業したので、管理局は彼等を解雇し更に採用したが何れも位置を一個年間低下したことがある

總裁、張長官に靈感を說く
剝製の虎の置物から
張學良氏の仙石總裁招待宴

【奉天特電二十四日發】滯奉中の滿鐵仙石總裁は廿三日夜七時から城內張長官々邸における晩餐會に臨んだ、日本側は仙石總裁、藤根滿鐵理事、林總領事、岩鼎山崎文書課長、鎌島秘書役、古仁所公所長、鈴木特務機關長出席、支那側は主人公張長官、臧式毅、榮臻、王樹常、張煥相、王鏡寰諸氏、湖尾、芝山兩顧問出席、張長官の挨拶に次いで仙石總裁謝辭を述べ、總裁は努めて料理に箸をつけ互に杯をあげて健康を祝し合ひ同八時閉宴、宴終つて仙石總裁と張學良氏は陶尚銘氏の通譯にて別室にて腹藏なき意見の交換をなし、そこにあつた虎の剝製の置物から「澤庵和尚が掌で虎の口を撫ぜたが虎は柔順しく和尚の氣撫を受けた、虎も和尚の誠に心を和げたのでどんなことでもすべて誠をもつてすれば通らないことはない」と總裁が語り、人間の靈感は一概に迷信とは言はれない、東西の神

郵貯二千餘萬圓
預金者數二十八萬人
【遞信局廿三日現在調查】

關東廳遞信局では四月より貯金課員總掛りで郵便貯金四年度分の利子計算に着手し文字通りに晝夜兼行でその完了を急いだ結果本月二十三日を以つて約二十八萬の預け人原簿全部に對し利子元加の計算を完了した、元來郵便貯金の利子は毎年三月末日を區切つてこれを計算し元金に加へる結果として滿洲では計算のために五月末日迄は利子記入の請求には應じないことになつてゐるが本年は係員の努力で便宜右期間內でも利子記入の請求に應ずることにした、希望者は最寄の郵便局に通帳を提出して欲しいとの事である、因に四年度の元加利子總額は九十七萬七千四百九十圓六十錢でその元加の結果本月二十三日の現在では實に二千三百九萬餘圓の多額に達し預け人員また二十八萬五千四百餘人の多數を算するに至つた

反英運動の首腦投獄

【ボンベイ廿三日發電】ナイヅ女史は二十三日輕禁錮九ケ月の判決を言渡された斯くてガンヂー氏の第二の後繼者も遂に投獄さる〻事となつた尚ガンヂー氏の息マニラル、ガンヂー氏は重禁錮一年イマムサット氏は同六ケ月の判決を受けた

反英中心地を軍隊占領

【ボムベイ二十三日發電】反英運動の中心ダラサナ村に對し遂に當局の彈壓の手下り同村は軍隊の占領するところとなつたが、これがため本日再び同地の部分的ボイコットが開始され株式取引所、棉花市場は閉鎖された

東鐵電信權
第二案を作成

【ハルビン特電二十四日發】東支鐵道の露支電信權交涉は既報の如く骨拔案となつたが、支那側代表李德言氏は右東鐵ロシヤ委員の回答をもつて滿足したものではないと稱し東鐵電信局を視察調査し第二の具體案を提示する意嚮であると毎日午前九時から午後三時まで委員と電信局に詰めかけ硏究してゐる

滿鐵の扈從者歸連

秩父宮殿下の沿線御視察に扈從中であつた滿鐵藤井秘書役は廿三日夜着連したが平野學務課長は二十四日、市川營業課長、清水工務課長、太田運轉課長、保々地方部長、貝塚旅客係主任等は二十四日夜歸連の豫定

淺野氏等歐米視察
廿三日歐洲へ

【ハルビン特電二十四日發】二十三日歐亞連絡列車で田中館博士、淺野總一郎氏外歐米視察の沼田少佐等十六名歐洲へ向つたが、淺野氏は「健康には旅行することだ」と冒頭しベルリンの燃料會議に出席しドイツの復興、世界の製紙、製鋼等產業界を視察して來る、豫定は約半ケ年だと八十三歲の老翁とも見えぬ元氣で、僅に七時間の休憩を利用して市內を一巡し、岡三菱支店長に「當地で事業をすれば何がよいか」と聞き「製粉、製油も日支關係上事業は難しい」との答を聞いて「それではひとつ圓滿に行くやうせねばならぬ」と何處までも事業本位の視察に岡氏を驚かした

宮崎氏郵船入說

【東京二十四日發電】二十三日依願免官となつた管船局長宮崎清則氏は日本郵船會社入社說が傳へられてゐるが、郵船當局は固く口を緘して語らない

市議補選の有權者身分照會

大連市では今秋施行される補缺選擧に關し二十四日から選擧人名簿作成のため原籍地の市町村役場に對し選擧人の生年月日、犯罪の有無等の身分照會を發送したが、約一萬五千通に達する見込みである

大觀小觀

勝つた、勝つたの相互宣傳、南か北か、戰爭には誂へ向の好季候だが結局は、うやむやの裡に双すくみか。

◇

張靜江の和平提唱、奉天側の停戰通電の噂など、双すくみの前提と觀るべく、うやむやの兆、早くも認めらる。

◇

併し、北も南も、景氣のいいこと夥だしい。

◇

が、河南一省だけの罹災民、一千五百五十七萬一千五百五十四人と註せらる。

◇

三千三百萬中、一千五百萬の饑民、支那民衆は何處へ往くのか。

◇

胡藤さき匂ひ、今や一年中の最好佳期、體育のシーズン、その最高調を示す。市民運動會も近きにあり。

天氣豫報

廿五日（南西の風）晴一時曇

	午前	午後
滿潮	八時二十五分	八時三十五分
干潮	一時五十分	二時二十分

極東オリムピック大會

けふ、神宮競技場に華やかな開會式

秩父總裁宮の令旨を文相捧讀

百米豫選に火蓋切る

【東京二十四日發電】第九回極東選手權競技大會の劈頭を飾る開會式は二十四日正午から盛大に擧行された、會場の神宮競技場入口は紅白の幔幕を張り廻らし大國旗を交叉して、メインスタンド屋上のポールには日、比、支、印の參加四國の國旗が揚げられて飜飜と初夏の風に飜へる、待ちに待つた滿都のファンは午前九時頃から早くも會場目がけて押寄せ定刻前には一萬五千人を容れるスタンド、五萬人を收容する芝生席の八分通りは埋められた、東京比律賓人、中華民國人各々數百名が一團となつてスタンドに陣取つてゐるのも國際大會ならでは見られぬ光景である、正面の來賓席には大會副總裁田中文相を始め各方面の名士、外交團がズラリと顔を揃へ夥だしい婦人客の翳すパラソルが色とりどりに外苑の緑に映えて、如實にスポーツ時代を物語る、やがて

朗らかな 行進曲のリズムが場に流れて正十二時信濃町口から陸軍々樂隊を先頭に禮服に威儀を正した總務委員の諸氏これに次ぎ、各自國の國旗を捧げた旗手は選手代表二名宛を從へ中、比、印、日の順序で其の後に續き、茲に華やかな入場式が開始された、紫、紺、白、赤等様々のユニホーム姿可憐な女子選手の列に續いて健康美そのもの〻様な男子選手が潑剌たる姿で隊伍堂々と行進をつゞける、怒濤の如き滿場の拍手を浴びながら六百餘名の選手は堂々場内を一周して再び信濃町口側に中、比、印、日の順序で整列した、五萬の觀衆が一齊に脱帽する中に厳かな

君ケ代の 奏樂行はれ終つて田中文相は秩父總裁宮殿下の令旨を捧讀、續いて極東體育協會長岸清一氏開會の辭、濱口首相（鈴木書記官長代理）は外國選手に對する歡迎の辭を、國際オリムピック委員嘉納治五郎氏は祝辭をそれぞれ朗讀して意義ある大會に滿腔の祝福を送つた、これに對して支那代表張伯苓、比律賓代表ブアルガス、印度代表マカージ三氏の答辭が濟むと引續き四國選手代表に依つて

嚴肅なる 宣誓が行はれ、總務委員長平沼亮三氏起つて茲に第九回極東選手權競技大會開會の旨を宣し、都下男女中等學校生徒一千餘名の壯快な大會歌の唱和につれ白地に赤くFEAAのマークを染め拔いた榮譽ある大會旗は場内正面の檣頭高くスルスルと揚げられ拍手と歡呼の中に茲に目出度開會式を終つた、この時陸海軍、各新聞通信社、東京鳩の會等の一千七百羽の傳書鳩はスタンド下から羽音立て〻一齊に空高く舞ひ上り、競技場空前の異彩を放つ、斯くて

奏樂裡に 選手一同退場午後一時半から商明治聯合軍對早慶聯合軍のオープン、ホッケー競技が開始され、同三時競技場を包む興奮と緊張の裡にいよいよ陸上個人選手權競技に入り火花を散らす百米豫選のスタートが切られた

秩父總裁宮令旨

茲ニ第九回極東選手權競技大會ヲ東京ニ開ク、本會ハ之ヲ組織スル各邦人士相互ノ信頼ト協力トニ依リ益々盛大ニ赴キ、今又新ニ印度ノ參加ヲ見ルハ欣快ニ堪ヘス、余ハ諸子カ克ク本大會ノ趣旨ヲ體シ平素鍛錬セル身體ト技術トヲ以テ相競フト雖モ常ニ公正ノ心ヲ持シ恭讓ト友愛トヲ失フコトナク以テ奨勵競技ノ精神ヲ發揮シ且ツ友邦親善ニ資センコトヲ望ム

田中文相の四國選手歡迎會

（下）神宮外苑競技場入口のアーチ

田中文相は二十二日午後二時より極東大會出場の四國選手を上野精養軒に招待して盛んなる歡迎會を開催した（寫眞上は起つて挨拶中の田中文相）

陸上競技 第一日組合

【東京二十四日發電】極東大會第一日陸上競技組合せ左の如く決定した

▲百米豫選 A組、南部、佐々木、ネポムセノ、カンダリ、周兆元、劉長春、ハミッド B組、吉岡、阿武、ゴンザガ、ブンダウエラ、郝春德、鍾連基、サツトン

▲高障碍豫選 A組、ハミッド、ニカノール、ポータシオン、三木、藤田、林紹洲 B組、淺川、岩永、蕭鼎華、カシアス、カドレス

▲二百米豫選 A組、劉長春、岡大隈、ネポムセノ、ゴンザガ、周恩德、B組、佐々木、吉岡、鍾連基、周兆元、ガンダリ、サツトンブンダペラ

▲低障碍豫選 A組、カシアス、カドレス、程錦官、池田、淺川、B組、三宅、梁英平、ピラヌエバ、ニカノール、阿武、ハミッド

▲四百米豫選 A組、劉長春、朱瑞洪、カンダリ、ホワイト、石原、浦田 B組、王健吾、麥國珍、西、中島、アランブラ

▲千五百米決勝 津田、北本、角谷、西浦、ヤタール、ヌド、グレー、ヂイアス、姜雲龍

あすの競技

【東京廿四日發電】明二十五日の競技種目左の如し

陸上、個人選手權（午後零時十分）▲蹴球、日本對比律賓（午後三時）▲野球、日本對比律賓（午後一時）▲庭球、日本對比律賓（午後二時）▲排球、女子エキジビション（午後一時）比律賓對中華（午後三時）▲籠球、女子エキジビション（午後六時）比律賓對中華（午後七時半）▲ホッケーオープン競技（午前十一時）未定

驚嘆の大出版

目下發賣中の『昭和天覧試合』は、宮内省よりの御下命に感奮して價格十圓以上のものをタッタ三圓八十錢といふ講談社一流の大犠牲出版！一家一册是非備へられよ！

秩父宮 京城に御着

【京城二十三日發電】秩父宮殿下には本間御附武官を從へさせられ二十三日午後八時五十分京城驛着列車で初の御入城遊ばされた、驛頭には齋藤總督、南軍司令官、兒玉政務總監以下官民多數御出迎へ申上げた、殿下には總督府差遣しの自動車 [illegible]

[illegible]

[illegible]闘し二十六日午後二時から協議會を開催し左記事項に就いて種々討議すると

一、宣傳ビラを小學校、公學堂、青年訓練所および各中等學校生徒を通じ一般に配布の事、宣傳ビラの様式等は市に一任すること

二、當日正午各電車、乘合自動車内乘客に對し「正午ですから時計を合せて下さい」と擔當車掌に於て注意すること

三、當日正午より二分間碇泊船、工場、機關車の汽笛を吹鳴する外消防隊の半鐘を打つこと（船舶に對しては海務局より滿鐵關係工場、機關車等に對しては滿鐵社會課長より其他の工場に對しては警察側より交渉を願ふこと）

四、前項時刻に各寺院の鐘を鳴らすこと（佛教團體世話人より各寺院へ交渉を願ふこと）

五、當日各小學校、各中等學校にて時に關する講話を爲すこと、（小學校長會幹事より交渉を願ふこと）

六、當日時計商は可成「時」に關する宣傳的装飾を爲すこと

七、當日時計商組合は市内適當の箇所にて「時」の宣傳を爲すこと（六、七項は時計商組合に於て盡力すること）

八、前日及び當日「ラヂオ」で「時」に關する講話を放送すること（本講話に關する一切の交渉は放送局に依頼すること）

九、當日は各種會合の時間を時に勵行する様注意すること

好天に惠まれ醫、工大 [illegible]抗競技開始さる

長旒を押立て鉢巻姿の應援團

醫大先勝し意氣昂る

[illegible]軍の應援團は醫大は赤、工大は白[illegible]の旗を見るが如き十數旒の[illegible]をなびかせてコートの[illegible]える、一方武道館においては午前九時から柔道の試合が始まつた、[illegible]

肉彈相搏つ [illegible]演ぜられ結局醫大側大將を殘して一勝し、先づ一點を擧げた、成績左の如し

醫大		工大
山下（一級）	分	中島（一級）
古野（同）	分	佐々木（同）
徳永（初段）	分	津村（同）
菱沼（同）	分	水谷（初段）
川畑（同）	跳腰	北川（同）
安武（同）	分	三ノ宮（同）
草場（同）	分	中田（同）
門脇（二段）	分	副將 岩崎（初段）
副將 松澤（同）	分	大將 小山（二段）
大將 沼野（二段）	不戰勝	

庭球ダブルス

一方庭球試合ダブルスの結果は左の如く醫大軋く工大を屠る

醫大		工大
椎名・馬場	[illegible]	百田・藤井
眞子・山蔦	[illegible]	黒羽・黒瀬

奉大兩滿倶 野球戰

あす午後二時 滿倶球場で

滿洲倶樂部では對大連實業戰を控へての前哨戰として沿線の强豪奉天滿倶を邀え廿五日午後二時から滿倶球場で一戰を試みることゝなつた、奉天軍は本年新たに同志社大學其他から三、四名の新選手を入れ必勝を期してゐるから面白い試合となるであらう、なほ同軍は廿四日夜來連あづま旅館に投宿の筈

危險倉庫に預りの武器

劉珍年の手に

さきにドイツ汽船リックマース號が奉天行並びに芝罘の劉珍年宛の武器百十噸を正規の護照なしで大連港に陸揚げせんとして問題を惹起し、引續き國民政府は當時去就を明かでなかつた劉珍年行武器をそれを取敢ず海關の手に沒收、奉天行武器のみ營口經由奉天に渡したが、その後芝罘行武器は寺兒溝の危險倉庫に保管中であるが、支那時局もその後幾變轉して最近に至り灰色であつた劉珍年軍が全く蔣介石側に加擔したのを見屆けるや國民政府は山東における反蔣軍討伐を劉珍年の手に一任する事となりさきに海關の手で保管中の武器をこれが代償として手渡す事となつた、因に該武器は小銃五千挺彈丸五百萬發であるが劉は正規の手續を踏んだ上これを引取る事となつたと

市内荒しの二人組捕はる

贓品は入質して遊興に費消

連日にわたり犯行

最近市内に二人組の窃盗犯人が潜入し、盛んに各所を荒し廻るので大連署司法係で嚴探中、廿三日午後十時ごろ市内若狹町四七番地正木喜七方へ何者か忍び入り衣類數點時價三百圓を盗み去つた屆出あり、同署では直ちに刑事總動員の下に市中質屋を片端から臨檢し贓品の發見に努めた結果、犯人が

逢坂町 遊廓に繰込んだことを突き止め、嚴重張込中、二十四日午前一時ごろ愛媛樓に登樓した首魁一名を逮捕、殘り一名は旅順に逃走中を手配により同夜八時ごろ旅順署の手で取押へた、首魁は佐賀縣生れ住所不定前科一犯市丸儀一郎（二七）共犯者は山形縣生れ住所不定小野寺虎雄（二五）とて、本月十八日兩名共謀で市内三河町二七番地高橋鐵次郎方に忍び入り衣類三十五點時價約千圓を竊取したのを手始めに、二十日二葉町百十一番地川本陸士方で衣類百三十八點、翌二十一日は西公園町渡邊新平方で現金十五圓外

數軒で 約二千圓の盗みを[illegible]等兵勤務中、詐欺罪で軍法會議に廻され、懲役四ケ月を服役してから青島方面を流浪、五月初旬來連し小野寺を引き入れて空巣專門に惡事を働いてゐたものである

州内庭球戰 參加者注意

本社主催の第十四回州内庭球大會はいよいよ二十五日午前八時より露西亞町、北公園兩コートに於て擧行されるが、參加チーム百二組の大多數であるから參加者は左記注意事項を嚴守せられたし

一、午前八時入場式（北公園コート）

一、試合は豫備戰より開始す

一、出場者は試合開始後は割當られたるコートに參集せられたし

一、次位の組の試合終了迄に未參者は棄權と見做す

一、試合進行上必要と認めたる場合は他のコートを使用することあるべし

日本大相撲 千秋樂の取組

【東京二十四日發電】日本大相撲夏場所千秋樂の取組左の如し

綾浪（伊勢ノ濱）荒熊（綾ノ里）
肥州山（吉野山）若瀬川（瀬川）
若常陸（大島）外ヶ濱（綾櫻）
古賀浦（雷ノ峰）太郎山（眞鶴）
山錦（九海）常陸島（和歌島）
劔岳（寶川）清水川（鏡岩）
出羽岳（武藏山）信夫山（天龍）
若葉山（錦洋）能代潟（朝汐）
玉碇（常陸岩）大ノ里
豐國（玉錦）宮城山

結婚オヂャン 珍劇一幕

判つて見れば藝妓なり

市内日出町九の二奥田虎吉＝假名＝は妻の姪である小倉市平松町春吉長女西村トキ（二七）を、自分の知人に周旋せんと來連するやう促してゐたところ、廿三日トキの親元より去る十七日着の定期船でトキが大連に赴いたからとの依賴狀が來たところが本人の姿が一向に見えないので奥田方では心配のあまり大阪商船について取調たところ十七日着のはるびん丸に確實に乘船し、行き先きは得勝街であることも判明した、奥田は不安のあまり小崗子署に搜査方を依賴したので同署で取調たところ、船客名簿に同じく得勝街行きの同船者があるのであるひは誘拐されたものではないかと取調た結果、同船者市内得勝街料理店金時柳井光雄（三〇）が既に門司において藝妓稼業をして居るトキを兩親の承諾を得て千二百圓を出して抱へ入れたこと判明、折角の結婚話もオヂャンになつた

離婚請求

姑の虐待にたまりかねて

市内千歳町五十番地カトリック教會内小田實は熊本縣天草郡本渡町居住の小田チホに相手取られ離婚請求の民事訴訟を二十四日大連地方法院民事部に提起された、理由は原告チホは大正十五年五月被告實と正式結婚したが樂しかるべき新婚生活は僅か二、三ヶ月で涙の生活に變つた、といふのは姑のマスは何故か花嫁チホを嫌ひ虐待の限りを盡すので、チホは三度まで家出したが、そのたびごとに連れ戻されてゐた、處が同年十二月姑マスはチホに盗癖があるなどと無根の説を捏造し侮辱を加へるのにたまり兼ね遂に郷里に逃げ歸り再三離婚を迫つてゐるが、實は宗教上斷じて離婚は出來ぬと應ぜぬといふのである

船倉[illegible] 大連水上署員船倉興助氏二女とし子（五つ）さんはかねて病氣のところ四日午前一時死去、二十五日午後四時より東本願寺において葬儀執行の筈

山崎專助氏 埠頭輸入係助役山崎專助氏は豫て紫斑症にて入院加療中、腎臓病を併發し遂に廿三日午後八時五分死去した、葬儀は廿五日午後四時から市内播磨町常安寺で執行

日曜の催物

▲大連遞信倶樂部運動會 大連運動場にて午前八時より

▲關東州内庭球大會 北公園露西亞町兩コートにて、午前八時より

▲全滿排球大會 大廣場YMCAコートにて午前九時より

▲野球戰 滿洲倶樂部對奉天滿倶戰、午後二時から滿倶球場で

▲觀世會月次會 午後六時磐城町八三渡邊師宅にて

▲素謡 嵐山、兼平、西行櫻、櫻川、鵜飼、連吟、弱法師、鉢木、獨吟、鞍馬天狗、八島、加茂、竹生島、忠度、小袖曾我

山崎專助儀永々病氣の處廿三日午後八時五分逝去致候間此段生前辱知各位に謹告仕候
追而葬儀ハ五月二十五日午後四時常安寺に於て相營可申候
昭和五年五月二十四日
妻 せつ
兒 伊與作
親戚一同
友人一同

…作　…太郎畫

…と〜通りいかにも夜釣にでも出たらしい猪牙船形、不器用乍ら鼻唄まじりに櫓へとりついた。
「あ、いけねえ、そんな漕ぎ方ぢやア、危なくつて見ちやアゐられねえや」
三藏は立ちかかつたが、
「待て、そちにはこれから大役があるんだ」
「あツ、さうだつけ、おお太夫さん、さ、こつちへ來てゐなよ」

再び猿を手許へよせてぢつと下流を望んでゐる。
船は上げ潮に逆らつて左手の岸をめざして下る。
うつとりと空にそびえた首尾の松。
「ああ、左近様、あの松際にやア川船役所があつたつけ」
「何と申す?」
「左近殿、あせるな、よい〳〵流し放題やるから、釣糸でも垂らしてゐてくれ」
さう云ふ間でも赤い灯は次第に近づいてくる。
「なアんだ飄談ぢやアねえ、拖槍船だ」
「え?」
「あいつア船頭の倅かなんかが拖槍で死んだんで、供養のために流したんでさア」
三人は低く笑つた。
「おどかしやアがる」
近寄り見れば正しくそれに相違なかつた。
「よし、三藏その赤い灯をとつてくれ、この船へつけるんだ」
「縁起でもねえ」
「莫迦、この際縁起不縁起が云つてゐられるか」
「さうともさうとも」

…うか、つまり見張番人に疱瘡船と思はせりやアいいんだ」
「違へねえ」
三藏は太夫を抱へこんで息をひそめた。
宵から吹いてゐる南西の風、川面はひとしほ荒く、波立つてゐる中を櫓聲忍ばせお藏をめざす。
恰度八ツの突出しの中央に當る築土には、コンモリと茂つた常盤木がその根をおうまかに張つてゐたが、そこへピタリと化け船をつけて様子如何にとうかがへば、遠く鐵砲の柝の音はきこえるもの〻近くには見張番人の咳ひとつ起らない。
「刻限は?」
「さやうさ」

…はぢつと耳をすませた。
…けるか!」
…の軒下傾にこの火藥包を一丁はさんでくるのだ、これがこや…の仕事よ、よいか、それからこの口火縄を一ト所に纏めて、それへ火をつけるのが三藏の仕事だ、で、亮之助殿は水面見張り、それがしは上下を見張らう」
大きくうなづいた三藏、グイと猿の太夫を抱いたまゝ築土へとびおりると聲をひそめてその耳に囁いた。
「太夫たのむぜ、ほれあの軒下ひだ、八百屋お七よ、いいか判つたかな」
急ぎ乍ら情婦から傳授されたか、それとも重五郎から習つたか、ひどく手練れてるらしく猿の耳に囁いたのち火藥包みを二三丁とりだしてその手に掴ませた。
と、猿の太夫は眼つぶしの紙袋と間違へたものか、ヒヨイと前方へむかつて投げつけやうとする。
「オツとといけねえ、困るなアさつきたア違ふんだぜ」
「おい三藏大丈夫か、うつかり投げられたら大變なことになる」
左近は氣づかはしげに見守つてゐる。

第七回 滿日勝繼碁戰(井上氏一回 勝二回目)

先二子先番 井上太市氏　盛田俊介氏

—【3】—

●四一リの十七　○四二ワの十五
●四三カの十四　○四四リの十五
●四五ニの十三　○四六への十四
●四七への十三　○四八ホの十二
●四九への十四　○五〇ロの十四
●五一ロの十三　○五二チの十三
●五三ヌの五　○五四チの五
●五五ヌの七　○五六チの七
●五七ホの八　○五八ヌの八
●五九ルの八　●六〇ルの四

▲清水二段講評　白四二は(い)に尖み頂け黒(ろ)の時(は)に飛んで打つ方優らん黒五七は好點なるも大勢上尚一歩(に)に單關するを要す

本社主催で開催する
甲賀三郎氏等の
獵奇探偵趣味漫談と音樂の夕べ
來月七日協和會館で

しばしば來連を囑されて居た日本探偵小説界の元老甲賀三郎氏は、時に本社の招聘に應じて、いよいよ本月末東京出發、陸路渡滿の旅につく事になつたが同氏と共に既報の如くソプラノの名手紀若初代嬢、新進テナー黒田進氏も來連する筈で、途中京城に於て「漫談と音樂の夕」を開催し、來月五日大連着、同七日(土曜日)夜滿鐵協和會館に於て、本社主催、滿鐵社員倶樂部後援の下に「獵奇探偵趣味漫談と音樂の夕」を開催する事に決定した、今や、全世界をあげて探偵小説時代を現出し、獵奇とモダンのトツプを切る物とさへ云はれてゐる此の時に當つて、本社が特に甲賀三郎氏を招聘する此の催しは恐らく全市の人氣を此の一點に集中する事と豫想されて居る尚同一行は大連より旅順其の他沿線へも出かける豫定で、沿線に於ける漫談會の開催は目下打ち合せ中である

社員倶樂部の兒童映畫デー
父兄の來會をも希望

滿鐵社員倶樂部では兒童の爲に三月に第一回兒童映畫デーを催して大成功をおさめたが、つゞいて來る二十五日午前十時及び同日午後一時半との二回に亘つて協和會館に於て第二回兒童映畫デーを催す事になつた、會費は大人二十錢小人十錢であるが、社員倶樂部に於ては此の際兒童と共に父兄の來會をも非常に希望して居ると、尚其のプログラムは次の如きものである

一、國歌　君ケ代　(一卷)
二、運動　輝くスポーツ(二卷)
三、日活映畫兒童劇　春は又丘へ　(六卷)

大連 JQAK

五月廿五日午後七時

▲童謠(イ)ナイトナイトさん(ロ)ポチトカロ獨唱平井英子
▲ソプラノ獨唱(イ)四葉のクローバ(ロ)ニーナの死同關屋敏子
▲新民謠(イ)石見小唄(ロ)伯耆小唄唄佐藤千夜子、同二三吉
▲新小唄「踊る黒猫」獨唱二村定一
▲ジャズソング「舞鶴行進曲」同同
▲小唄「吉原雀、四季の歌」唄、三紘祇園初太郎
▲同「青柳瀬氏の白旗」同同
▲浪花節「由井正雪」四面木村友衞
▲新小唄「銀座セレナーデ」唄二三吉
▲同「同」獨唱二村定一
▲新民謠「所澤小唄」唄二三吉
▲同「同」唄、三味線所澤藝妓連
▲ボート唄「灘の朝霧」合唱徳山璉
▲歌謠曲「空飛ぶ島」獨唱佐藤千夜子
▲獨唱「海と空の唄」同同
▲合唱「日本海々戰記念」合唱平井英子其他
▲浮世節「トツチリトン」(二面)唄三味線立花家橘之助
▲浪花節「天野屋利兵衞」(四面)壽々木米若

東京 JOAK

廿五日午後六時廿五分

▲ラヂオ風景一九三〇年新風景小野健一郎作演出指揮、第一景丸ノ内の或新聞社の朝、第二景玉川、第三景丸の内、第四景ビルデイング内の事務室、第五景屋上の展望、第六景病院、第七景デパートにて、第八景小料理屋第九景夜店、第十景郊外の家 出演者(郡誠、柳榮二郎、飯島綾子、秋本梅子、外數名)
▲七時五十分極東選手權競技大會ニユース
▲八時和洋合奏松竹管絃樂團、指揮島田晴譽、(一)長唄鞍馬山(二)映畫小唄(獨唱付)

義江主演のトーキー
『ふるさと』を見て
溝口氏の監督振りを激賞す

次に監督と撮影と俳優について云へば、此の映畫に於いて最も注意すべきは、藤原義江でもなく夏川靜江でもない。實に監督溝口である。此の映畫は彼が決して一樣の凡才に非ざることを證據だてるものである。

彼はトーキーといふハンディキャップにもひるまず、其の束縛より自由に離れ、畫面に變化をみせたのは、流石に非凡な手腕である。然し其の畫面の變化が内容變化ではなくして單なる描寫的變化に過ぎなかつた事は遺憾ではあるが、ともかくも舞臺につめられて居た日本トーキーを野外に放ち、トーキーならでは表現し得ない幾多のテクニツクを發見し、利用し、トーキーの畫面に變化を與へ得たことは流石に溝口健二である事をうなづかせて居る。一二の例を擧げれば、音樂會場の樂屋裏の場面で會場から聞えて來る聽衆の拍手、叫び、口笛等のあわただしい氣分を出す效果。又は鍵穴からのぞいた部屋の中、そこには女(夏川靜江)の姿だけしか見えないが、陰から男の口笛の音が聞へて來るところ又主人公(藤原義江)がラヂオ放送をするとき、それを聽く人が各所にある事を次々に示して行く所、最後の大衆撮影に於ける音響效果、等々、ストーリイの割合に簡單であるにも拘らず相當に面白く見せて居るのは監督の手腕である事を認めないでは居られない。撮影も先づ無難である。トーキーとしては、ことに日本トーキーとしては「大尉の娘」「假名屋小梅」に比べると數段の差であつた同じスタヂオで、同じ機械で、同じライトを使つて此の差異を示すのは技術に對する苦心、研究を物語るものであらう。唯夜間撮影の場面が——勿論いかなる映畫でもセツト以外は餘り芳ばしくないが——餘り綺麗でなかつた樣な氣がした。音響吹き込み、及び其の效果は日本トーキーとして激賞してよからう。雜音の入つて居ない事が最も氣持ちをよくした。俳優の苦心は充分くめる。幾分舞臺の經驗はあつても、トーキーは又調子が違ふので相當其の演出は苦かつた事と思ふ。聲と影とを合せて見ると、夏川が一番よく出來て居たやうに思はれる。藤原には少し荷が勝ちすぎて居たかも知れぬ。映畫に深い經驗のない彼としては無理もない事と思ふ。入江たか子が一寸顏を出す。その科白が「蒼白いインテリ野郎め!」である少しくさ過ぎて居る樣だ。何かの映畫の一カットをつぎ合せた樣な氣がした。とにかく「ふるさと」は日本トーキーとして、發展的にみたるとき其の價値を認めることが出來る「大尉の娘」「假名屋小梅」に比し其の間に大飛躍を認めることが出來る。トーキーのストーリイとしては、其の選擇に於いて、或は外國作品に優るかも知れない。事實、徹尾レヴユーの外國トーキーよりは、一歩進んでゐる(終)

滿洲日報

社說

戰禍に暴露する支那民衆
人道上重大問題

南北兩軍、中原に相對峙して內亂抗爭しつゝあるに、その地域たる河南省にありては、死を待つの災民、一千五百萬と稱せらる。支那側の統計によれば、河南省百十二縣、その人口三千三百萬、しかして、千五百萬人、全人口の半數は災厄に惱みつゝあるのである。天變地殃、風蝗水旱、これ人力の及ばざるところとするも、兵禍匪兇によつて、かくの如く多衆が水深火熱の地獄に陷れられつゝありといふに至つては、天を怨み、人を呪はざるを得ぬであらう。

◇

その調査概數によるも、家屋の破毀五萬餘、二百六十餘萬元、家具の燒却四百餘萬元、財物の損失六百餘萬元、糧秣徵發七百八十餘萬元(八千萬斤)、車輛派出百四十萬元(一萬八千臺)、牛馬派出二百餘萬元(二萬六千餘頭)、合計二千五萬元とに計上せるも、恐らくかくの如き輕少のものにはあらざるべく、また簡單に計數し得る損害の深刻甚大なることは、また想像以上といはねばならぬ。かくの如きは、たゞ一地方の戰禍概算であるが、人口三千三百萬人中、すでに絕食するもの八百餘萬、而して餓死するもの、日に一千人を下らずといふことに至つては、言語道斷、しかも、この支那における軍閥抗爭、內亂の戰禍が、果して何時に至つて絕滅するであらうか。それらを考ふるとき、鼎中に死を待つ民衆に對し、同情なきを得ない。

◇

最近代の社會世相を顧みるに、いはゆる資本主義經濟組織の結果としてか、とにかくに、何ら罪なくして職を失ひ、生活苦に陷るものゝ、その數、何萬なるを知らぬのである。然るに、この支那にありては、軍閥相抗爭し、同胞相內亂して、かくの如く深刻痛切なる地獄を現出しつゝあるのである。これ何の故か。兵火は勢ひといふものゝ、さりとは餘りの悲慘事ではあるまいか。かくの如くんば、三民主義、いづれにありや、國民革命、いづこにありやと、怨嗟の聲野に滿つるは、當然といはねばならぬ。

蔣介石氏も馮玉祥氏も、また閻錫山氏も、みな三民主義を標榜し、青天白日旗下に黨國を云云しつゝ、ともかくも抗爭を繼續しつゝあるのである。これ取りも直さず、無數の良民は青天白日旗に夾擊せられ、その日その日の衣食住を奪はれ、訴ふるに神も佛もないといふ現狀に置かれてゐるのである。こうなると、孫總理、何があらん、三民主義、何をも意味すると、自暴自棄に陷るも當然といはねばならぬ。しかもなほ、嚴くことを知らぬ餓鬼の如き軍閥は、互ひに職務を宣傳し、血を啜り、肉を啖ひ、骨を叩いてもなほ足れりとせず、北方側などは第二次、第三次の中央委員會の資格を云々してゐるに至つては、全く沙汰の限り、むしろ淚なきを得ざる、笑ふことの出來ぬ滑稽事といはねばならぬ。

◇

かくの如き事象は、ひとり河南一省のみに限つたことではない。深淺多少はあるけれども、とにかく支那の全土にわたつて演出されつゝある悲慘事なのである。かくてもなほ、國民革命を云々し、三民主義を高唱し得るの資格ありと思ふのであらうか。銀價の暴落によつて、一般民衆が甚大なる損失を被ること、これは不可抗力として、全く已むを得ぬものともいふことが出來やう。併しながら、軍閥の抗爭によつて、國內が混亂また混亂を續けてゐるといふことは、これ全然の不可抗力的事象であらうか。われらはこれを支那人の口癖にするところの沒有法子といふ程度には認めるけれども、絕對の不可抗力ではないと思ふものである。されば吾人は蔣、閻、馮らの軍閥、および汪ら國民黨の要人を以て任ずる人々に對し、重大なる反省を促さんと欲するものである。若し、今日にして兵を收むるの擧に出でざらんか、國民革命、南北統一の如き抽象的觀念を破壞するは勿論、結局、世界人類の人道問題として、重大なる結果を惹起せぬこととなしとも限らぬことを覺悟せねばならぬと思ふ。

財部海相は辭職せず
飽く迄政府の意見通り善處
軍令部長の面目も大いに立てる
政府の對策決定す

【東京廿三日發電】軍縮條約に伴ふ軍令部との會見について財部海相が廿三日の閣議に病氣缺席したので、政府は山梨海軍次官を招致して海軍側の內部的交涉斡旋の經過につき聽取したのちその對策につき種々意見を交換した、軍縮條約に伴ふ海軍力の缺陷補充方法並に統帥權問題につき海軍に關する限り海軍部內の談合によつて大體解決するであらうが、たゞ殘る問題は今後海軍力を充塡する金を如何にして振向けるかにつき政府は海軍側と充分協議を要する、加藤軍令部長の面目については政府として統帥權問題につき從來とれる態度を變改する程の犧牲を拂ふべきものでなく、海軍部內で財部海相、岡田參議官等の斡旋により加藤軍令部長の立場をよくすればよい、そして財部海相は條約調印者の一人として現職にとどまり飽くまで政府の意見通り善處することに意見の一致を見たる統帥權の參與を主張してゐるが、政府としては憲法上の觀點を變更し議會の言論に矛盾の生ずるが如き態度は今更絕對に採り得ざるところである、從つて兩者の諒解も今俄かに成立する事は望み得ないかも知れぬが軍令部としても結局は政府の措置を諒解するであらう、たゞ本問題のために抗爭を續ける事は國家のため不幸なるのみならず政府にとつても條約案の御諮詢を控へて徒らに事を紛ぐするものであるから速かにその解決を告げ得るやうにしたいといふにあり、結局海相の病氣恢復を待つて軍令部長と會見せしめ更に軍令部の肚を見極めたうへ對策を講ずることゝなつてゐる

統帥權問題の對策
軍令部の肚を見極めたうへて
政府が更らに講ずる

【東京廿三日發電】廿三日の定例閣議は財部海相病氣缺席のため山梨海軍次官を特に招致しロンドン條約第十九條の專門的解釋につき聽取したるのち統帥權問題に關する軍令部その後の態度についても報告を求めるところあつたが、政府の意見は軍令部は依然兵力量決定に對す

地方長官會議

【東京二十四日發電】地方長官會議第五日(農林省所管)は二十四日午前九時より農相官邸に開會、農相の訓示あつて指示事項につき質問應答あつて十一時散會した

宮相、地方官招待

【東京二十四日發電】一木宮相は二十四日正午霞ヶ關離宮を拜借の上地方長官會議で上京中の地方長官全部を招待し午餐會を催し、尙知事一行は午前十一時楓山御養蠶所の拜觀を差許され河井皇后大夫の案內で拜觀した

濱口首相靜養

【東京二十四日發電】濱口首相は二十四日午後二時自動車で鎌倉の別莊へ赴き休養二泊の上二十六日午前十一時歸京の豫定

學士院會員 藤井、足立兩博士

【東京二十四日發電】本日左の通り發表さる

文學博士 藤井乙男

醫學博士 足立文太郎

帝國學士院規定第二條に依り勅旨を以て帝國學士院會員被仰付

鐵相、藏相と共に濱口首相懇談す

【東京廿三日發電】濱口首相は二十三日閣議散會後江木鐵相および井上藏相の居殘りを求め統帥權問題に關し政府の責任に關係する重要點において從來の根本方針を改變せざる範圍において何等か軍令部長の面目を立て圓滿に解決する方策及び今後の海軍力充實に關する財政的方面よりの見込みにつき兩相より意見を聽取懇談した

私鐵補助

期限接近に對し更にこれが延長は當然なさねばならぬことに思つてゐる、來る通常議會までには何とか方策を考慮することにしてゐる、有賀殖銀頭取の任期滿了に關し後任問題につき草間前財務局長を起用するといふ噂はあるが自分では何等考へてはゐない、暫く言明は預けて貰ひたい、取引所の發令についても案はいろくとある中にも朝鮮の實情を斟酌して發布することに苦心があるまだ何んとも具體的にいはれない

市場規則

の改正は取引所令と離れた問題としてみて貰ひたい、勅任參與官問題はこちらでは必要と認めて提出したのであつたが政府が取下げて欲しいといふことで結局取下の手續きを執つた政府に一任した譯で實現は出來なかつた

奉派軍事會議

【奉天特電二十三日發】閻、馮兩氏と會見し反蔣の協定をなしたと傳へられる孫傳芳氏は既報の如く廿一日天津より來奉し次いで張作相氏も同日吉林より來奉したが于學忠も目下滯奉中で時局の逼迫と共に奉派の方針を具體的に決定すべく近く最高軍事會議を北陵の別邸に開くであらうと

東鐵ロシヤ幹部 著しく親支態度
露支會議を控へて

【ハルビン特電二十四日發】莫德惠全權のモスクワ行によつて東支鐵道ロシヤ側幹部の對支態度は最近非常な親支主義になりエムシヤーノフ理事が中心となつて露支間の親睦を計るに斡旋し特に特區間における敎育問題については東鐵ロシヤ從業員子弟の敎育上密接の關係を有してゐるのでルーデー局長は周廳長を訪問し親しく沿線における敎育行政の狀況を聽取したがロシヤ側としては敎師はロシヤ政府から派遣した者を敎育廳が單に形式上採用する程度に改めたい希望を有してゐる、勿論ロシヤ子弟を敎育してゐる各小、中學校の敎師はロシヤの國籍を有するものが任命されてゐるが、敎科書その他一切はどこまでも勞農主義による敎育方針を根本とすることに支那當局が緩和するならば東鐵として援助する肚を有してゐると

張景惠氏赴奉

【ハルビン特電二十四日發】近く遼寧で東北四省の首腦者會議を開催することになり張景惠行政長官も列席することに決定した、問題は內亂に對する東北政權の對策、その勝敗結果による對露關係、モスクワの露支正會議に關しての協議で財政問題も討議される由、尙張景惠氏は最近耳を患ひ醫師の診察を受けてゐると

滯奉の仙石總裁
奉天神社、忠靈塔に參拜
張學良氏を訪問す

【奉天特電二十三日發】奉天ヤマトホテルに入つた仙石滿鐵總裁は午後理髮室に現はれて、默々として髮を刈らせ、二三社員に面接して午後六時廿分ホテルを出で、藤根理事、山崎文書課長、鍋島秘書役小倉事務所長等を伴ひ、自動車にて奉天神社に向ひ、山內神官に導かれて拜殿にて玉串を捧げて參拜した、次で忠靈塔に參拜して城內の張總司令官舍に向つたが總裁は張學良氏と懇談の後學良氏の招宴に臨んだ、陪賓として日本側、藤根滿鐵理事、林奉天總領事、山崎滿鐵文書課長、鍋島總裁秘書役、古仁所奉天公所長らの諸氏、支那側は各政務委員全部出席し頗る盛宴であつた

朝鮮の重要問題
兒玉政務總監歸任談
順調に進

【京城特電二十四日發】兒玉政務總監は去月十七日東上し特別議會に臨み二十二日夜歸城二十三日登廳記者團に左の如く語る

特別議會で總督府本年度豫算約二億四千萬圓が無修正で通過したことは欣快に堪えない次第である、運合問題は海運業は既に解決がついて今日は只陸の方は運合の主旨には反對と云ふ譯ではない樣だが合同の出來ない種々なる事情が介在してゐる爲めでこの事情が一掃されたら曉は當然合同する機運があらうと思はれる、六月一日から新設會社の朝鮮運送會社に代行權を與へるといふ問題も結局既定の方針通りだらう んでゐる樣だが

奉票は反古同樣
交通機關以外は授受を拒絕

【奉天特電二十四日發】昨今九千六百元といふ新値を示し既に一萬元漸落が唱へられてゐる奉票は支那側商取引が一切現洋に改められ奉票を使用してゐる處は奉天でも市街自動車、電車、洋車位の一部分に限られ又田舍も片田舍でなければ授受されてゐない有樣となり全く顧みられなくなつて來た、奉天取引所でも二、三日間は出來高皆無といふ閑散を示してゐた、獨逸支那側の情報によると遼寧四庫の發行せる現大洋票は千百六十五萬元でその中兌換金として現銀七割有價證券三割を準備してゐる、そして昨年まで金融維持策として奉票を回收せるは六億數十萬元と稱へられ片田舍までも奉票の授受不安が徹底して來るに從ひ奉票は全く自然消滅となるであらうと

北寧鐵の職工學校

【奉天特電十四日發】北寧鐵路局では現業員敎育普及を目的に皐姑屯驛に職工夜學校を新設し二十日から開校した、入校職工は二百餘人に達してゐるとであると

はいかる丸船客

【門司特電二十四日發】二十六日午前八時入港豫定のはいかる丸の主なる船客左の如し

伴野文三郎、吉田貫太、福田順三、山井弘、岡誠一、池田保、池浦隆次、吉田龍雄、佐野新一高木少佐、工藤中尉、岡本中尉

人事

▲稻垣準三氏(藥種業)二十四日上り便にて東京へ

ハルビンの赤白ロシヤ人は最近日本に對して非常な注意を拂つてゐる▲露字紙は白系の色彩を帶びたものルースコエ、スロウオ、ルーポル、赤系だと目されてゐるものにグラルドハルビナー、とアンガスタの通信があり、いづれも殆ど全紙面は日本の事情を報道してゐるが▲そして最近問題視されてゐるのはロンドン條約で、海相に包裝した短刀を贈り或は草刈少佐が切腹したなどが報道されたので「日本には愛國ハラキリ、サムライの精神は昔も今も變らない」と赤白共に賞讚してゐる、それから今一つはハルビンの日本總領事館を襲擊した鮮人問題に關し日支交涉が如何に解決するかについて多大の興味をもつて注視し「日本はどうして手溫してゐる?」と反問するものすらある【ハルビン特信】

興業債券發行
一千萬圓借替て

【東京二十三日發電】興業銀行では六月十一日期限の興業債券一千萬圓借替のため更に同額の債券を發行することゝなつた

大平滿鐵副總裁
廿三日首相訪問

【東京特電二十三日發】大平滿鐵副總裁は二十三日午後二時、首相官邸に濱口總理を訪問し、約三十分に亙り會談して辭去、次で大藏省に河田次官を訪問した

津田司令官
五月末青島へ

第二遣外艦隊司令官海軍少將伊地知清弘氏は今回海軍軍令部出仕となつたのでその後任には海軍少將津田靜枝氏新たに任命の旨發表された、因に津田新司令官は五月卅一日神戶發青島へ向け赴任の豫定

鴨綠江大鐵橋の開閉を御覽遊ばされる秩父宮殿下(×印)

廿三日安東驛に奉送の林奉天總領事、仙石滿鐵總裁、太田關東長官(右から)

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(強調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	七〇八〇	七一〇〇	七〇八〇	七一〇〇
六月末	七一七〇	七一九〇	七一七〇	七一九〇
七月末	七二六〇	七二八〇	七二六〇	七二六〇
八月末	七三四〇	七三四〇	七三四〇	七三四〇
九月末	七三七〇	七三九〇	七三七〇	七三九〇

出來高 八十九車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(強調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	二三三〇	二三三〇	二三三〇	二三三〇

出來高 九千枚

▲豆油(強調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	一〇四五	一〇五〇	一〇四五	一〇五〇
七月限	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五

出來高 四千箱

▲高粱(強調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	四四四〇	四四八〇	四四四〇	四四八〇
六月末	四五二〇	四五三〇	四五二〇	四五三〇
七月末	四五一〇	四五一〇	四五一〇	四五一〇
八月末	四五四〇	四五四〇	四五四〇	四五四〇

出來高 三十八車

▲包米 出來不申

現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保(袋込)	七一四〇	七一五〇

大豆(特物) 出來高 五十車

普通大豆 出來不申

	寄付	大引	出來高
豆粕	二三一五	二三一五	一萬枚
豆油	二〇四〇	二〇四〇	二千箱
高粱	四五四〇	四五四〇	一車

包米 出來不申

錢鈔

定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	六〇五〇	六〇五五	六〇五〇	六〇五五
遠期	六〇七〇	六〇七五	六〇七五	六〇七五

出來高 期近百二十萬圓 遠期三百八十五萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	六〇五	一一〇〇五	一八六〇
二時半	六〇四五	一一〇〇〇	一八六五
三時半	—	一一〇〇五	一八六〇

出來高 銀對金二萬三千五百圓 銀對洋一萬二千圓

商品

神戶特電(廿三日)

(出來不申)

	先物	先物
大豆現物	六一〇	五一五
豆油現物	一六五	三四二
滿洲小麥		一五
豆油現物		一八〇

東京株式(短期)

	五品	東新
寄値	不申	八九〇
引値	不申	八九九
高値	不申	九〇八
安値	不申	八九七

大阪米式

銘柄	後場寄	後場引
株新	六一七〇	六一七〇
紡新	四六八〇	四七〇〇
大鐘	一五四二〇	一五四七〇
新糖	六六八〇	六七二〇
日郵	不申	四七二〇
船新	不申	四三二〇
東新	八九六〇	八九六〇

神戶期米

限月	後場寄	後場引
五月	二七一五	二七一九
六月	二七二〇	二七二六
七月	二七〇〇	二七二三

東京期米

限月	後場寄	後場引
五月	二六五〇	二六五九
六月	二六六七	二六六八
七月	二六五九	二六五六

大阪期米

限月	後場寄	後場引
五月	二七〇一	二七一〇
六月	二七〇九	二七二〇
七月	二七一五	二七二三

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
五月	一三九九〇	一三九九〇
六月	一四二五〇	一四一九〇
七月	一四四六〇	一四四〇〇
八月	一四六五〇	一四五九〇
九月	一四七五〇	一四七四〇
十月	一四七九〇	一四七九〇
十一月	一四八〇〇	一四八三〇

滿日地方版

奉天

李鍵公子殿下 きのふ戰蹟を御視察 けふは遼陽へ御出發

李鍵公子は陸軍士官學校生徒二百廿名と共に廿三日撫順の御視察を終へさせられ同日御歸奉、奉天神社並に忠靈塔に御參拜遊ばされ守備隊に御投宿遊ばされたが廿四日は北陵及び文官屯の戰跡を御見學遊ばされ廿五日遼陽へ向はせられる御豫定である

財界の不況から 城內華商の投賣 附屬地邦商は大打擊

奉天附屬地內における邦商は深刻なる財界不況で青息吐息の矢先近頃城內における支那商も財界不況と官憲の壓迫で破產者續出し附屬地に逃避し來るものが多數に上り之等は營利を目的とせず商品を金に換るため投賣りを開始してゐるため邦商の蒙る影響も甚大なものでこのまゝ一年も二年も續いたなら邦商は困苦のドン底に突き落されはしないかと杞憂されてゐる

防穀令の解禁要求 支那側の回答

支那側の防穀令發布に關し去月十八日奉天總領事館から抗議を提出した處今回左の如き回答書を送つて來た

穀物輸出禁止に關し取調方御依頼により早速省政府に送付した處省政府からは本件については未だ內政部の命令に接し居らず從つて禁止方も通令せざるも今後右の如き事情あらば當然前例によつて辦理すべく現に東北政府委員會にては山海關監督より國民政府の穀物輸出禁止に關し打電あり之がため營口領事より解禁方要求し來れる旨移牒ありたるにより現在の處東北省としては民食の缺乏の虞なきため國民政府に解禁方要求するに決定したり

酌婦が面當に自殺を圖る

本籍長崎市船津町市內□□町六番地料理店穩積館抱へ酌婦志保子事金子かづ子(二三)は廿二日午後十一時頃自室に於てリゾール十瓦を嚥下し苦悶中を同樓の仲居が發見して大騷ぎとなり直に回生病院に入院せしめ應急手當の結果生命は取止めるらしい、志保子には豫て中村某(三)假名と稱する情夫あり廿二日夜十時頃座敷で強か酩酊し中村に電話をかけて呼んだが來ないので立腹し面當の自殺を企てたものである、又志保子には前借千六百圓あり昨年七月大連沙河口から穩積に鞍替して來たもので評判の美人であるが一旦酒を飲むと日頃の溫順しい性質と打つて變つて人違ひのやうになり志保子が醉ふと同樓でも警戒してゐた程である猶彼女は三年前鐵嶺に於て力彌と名乘り稼業中も右の如き自殺を企てた

町の便り

奉天商議では廿三日午後三時から輸入組合、商店協會聯合で商業部門會を開き問題の消費組合問題に關し各自の意見を聽取した上近く議員會を開催し具體案を作成し大連にて開催の商議聯合會に臨む筈である

◇

仙石總裁は[illegible]日午後七時からヤマトホテルに官民有志多數を招宴する由

◇

高魁五氏は廿五日午後六時から在奉新聞通信記者を公記飯店に招待し懇親宴を張ると

◇

奉天驛では廿四、五の兩日春日公園並に溫泉俱樂部で家族會を催すが演藝、安來節、寶探し等の餘興があると又住吉町會內でも二十五日午前十一時から春日小學校々庭で家族會を開くと

◇

前田奉天司法領事天津へ轉勤のため奉天硬球俱樂部では二十五日午後一時から圖書館コートで送別試合を行ふ由

◇

二十二日午後零時四十分頃日吉町及和泉町東側下坂に於て小西關永慶恒方運轉手住廣業(二六)の操縱せる自動車と皇姑屯運費剛(四〇)の曳ける馬車と衝突し運は右足下腿部に挫傷を受け醫大醫院に入院せしめ加療中であるが治療費半額宛負擔することゝなつて解決

◇

東京市神田區表神保町六番地柳尾方同居水野ひで子(一八)は市內春日町八番地中村某に對し昨年總仲となり同棲して妊娠までしたが伯母を呼びよせ中村と共にひで子を置き去りにして行方を晦したので是非歸して呉れとその筋へ說諭願ひを出した

人事

▲蓮沼侍從武官　二十三日長春より過奉釜山へ
▲大倉喜七郎氏　二十二日夜過奉赴連
▲土屋高等法院長　二十二日歸旅
▲安岡檢察官長　同上
▲田村滿鐵興業部長　二十二日本溪湖より過奉歸連
▲櫻井遞信局長　二十二日本溪湖より來奉
▲孫傳芳氏　二十二日歸連
▲陶尙銘氏　二十二日夜歸奉

長春

徵兵檢查第一日 合格者は六十三名

長春に於ける本年度徵兵檢查は二十二日から開始されたが、第一日の成績は

受驗人員は長春領事館管內一名、吉林總領事館管內五名、哈爾賓總領事館管內二十二名、鄭家屯領事館管內一名、四平街警察署管內三十二名、其他(大連)一名合計六十三名

で甲種合格は吉林の一名、哈爾賓の三名、四平街の二十名だと

西公園の貸ボート

長春西公園の貸ボートは埠頭の修繕が漸く出來上つたので豫定よりやゝ遲れ二十四日から開始することゝなり同日午後一時からボート開きを行つた

秩父宮殿下 御成記念運動會

室町小學校では宮殿下の台臨は今回が始めてのことであるので、この光榮を記念する爲め二十四日午前八時から同校庭に於て殿下御成祝賀運動會を開催した

守備隊滿期兵 四十名は三十日夜歸國する

長春守備隊の本年度滿期除隊兵四十名は三十日廿四時廿分發列車で歸國すると

家族慰安會 長春警察署員の

長春警察署は秩父宮殿下御來長に際して署員が不眠不休の活動を續けたので三十一日から二日間家族慰安會を催すと

修公安局長 營口に歸省

長春市公安局長修長余氏は展墓の爲め二十日間の豫定で鄕里營口に歸つたので留守中は梁警察處長が代理すると

けふ日曜 賑ふ西公園 縣人會や家族會で

長春西公園は新綠に裝はれて昨今全く面目を一新したので日曜毎に此方彼方で家族會が催されてゐるが五日の日曜には地方事務所、南滿電氣支店、國際運輸、吉長鐵道會計課、山梨縣人會、福島縣人會、岡山縣人會、愛媛縣人會、茨城縣人會の家族會がある筈であるから賑ふことであらう

撫順

總裁は廿七日來撫 一泊して詳細に視察

目下沿線巡視中の仙石滿鐵總裁は愈々二十七日來撫の旨炭礦に內報があつた、來撫の上は一泊して炭礦の各施設並びに現狀を具さに視察する筈である

生產係主任

撫順における各種工業生產品激增と共に經理課內に生產係が新設されたが、右主任には龍鳳坑庶務主任日高爲三郞氏が任ぜられ日高氏のあとには運輸の菅野誠氏二十二日附任命された

渡邊琥珀店の光榮

畏くも秩父宮殿下御來撫の際既報の如く炭礦より獻上したる琥珀細工十一點は驛前渡邊琥珀堂謹製のもので渡邊氏はその光榮に歡喜してゐる

山火事一時間半

二十三日午後四時三十分頃□□廟東部楊柏林中に山火事起り炭礦勞務係小園誠吉、北谷平藏外華工多數出動消火に努めたが約二千平方米突黑松一千四十本を燒失し同六時頃漸く鎭火した

各地の海軍記念日

祝賀宴に續いて 公會堂で演藝會 廿八日は軍隊を慰問

【鐵嶺】來る二十七日海軍記念日には既報の如く二七俱樂部が主催して二十五周年大祝賀會を催し、午後四時からは陳列館を會場として祝賀宴が催され同六時からは公會堂に於て祝賀餘興が催される事となり、過日來各方面の出演申込を募つてゐたが、廿三日を以て締切り協議の結果プログラムを定めた、なほ鐵嶺軍隊の希望により廿八日晩は在鐵各團體が主催者となつて鐵嶺各軍隊の慰安會を催し、これ又在鐵有志の素人演藝會を開催する事になり海軍記念日餘興と同時に出演番組を定めた、決定せる出演者左の如し

廿七日(午後六時開始)

一、童謠　綠星俱樂部員
二、輕口　鐵嶺機關區有志
三、舞踊「淀の川瀨」　郵便局有志
四、尺八合奏　杵八會員
五、萬歲手踊り　居留地有志
六、尺八「青海波」　西田方山師
七、輕口　機關區有志
八、義太夫「野崎村」　若駒、倉田
九、手踊り　鐵嶺ホテル
十、喜劇「果報は寢て待て」　兵器部有志
十一、手踊　萬安連中
十二、博多二輪加　福岡縣人有志

廿八日(午後四時開始)

一、舞踊「唐人お吉」　かほる千惠子
二、琵琶「橘中佐」　岩滿旭將師
三、琴尺八合奏　方友會
四、舞踊「紅屋の娘」　機關區有志
五、義太夫「三十三間堂」　若駒倉田
六、尺八「青海波」　西田方山師
七、手踊り　萬安連中
八、喜劇「壺坂」　機關區有志
九、手踊り　鐵嶺ホテル
十、時代劇「一心太助」　郵便局有志
十一、歌劇「カフエー」　從濟寮有志

祝賀會 會費は一圓で公會堂で開催

【大石橋】來る廿七日(火曜日)は日本海々戰の第二十五周年記念日に相當するを以て海軍に關する講演並に祝賀會を開催するため、官民有志は二十三日午後一時より地方事務所會議室に集まり協議の結果、當日は公會堂に於て會費一圓にて祝賀會を開催することに決した

祝賀會に從軍者を招待する

【營口】來る二十七日の海軍記念祝賀會は午後五時から公會堂に於て開催の筈なるが、海軍々人の同戰役の從軍者、山本土彼彥、江山百合一、黑川宗藏、水師重三郞、佐々木正龍、前川幸次郞の諸氏を招待することゝなつた、尙右以外の從軍者は地方事務所に屆出でられたしと

皇居を遙拜し 神社と忠魂碑に參拜

【開原】來る二十七日海軍記念日に際し在鄕軍人分會にては例年の通り午前六時半開原神社々頭に參集し遙拜所に於て皇居遙拜、開原神社に參拜したる後中央公園に至り忠魂碑に參拜する事となつたと會員のみならず一般に於ても參拜されたいと

開原

開原デー運動會 來る六月二十二日擧行

開原デー運動會に關する協議會は既報の通り二十二日地方事務所に於て開催の結果左の通り擧行する事に決定した

六月二十二日午前八時半より午後四時迄(雨天の時は二十九日に繰延)中央公園にて擧行▲實行方法は例年の通り▲運動會は家族の娛樂を本位として擧行、軍隊、官衙、地方部、驛、市中の對抗競技を行ふ▲觀覽席は各團體に例年の通り割當をなすも本年は棧敷を作らず西側及南側の樹間に各團體毎に隨意休憩所を設備する事▲當日會場內に支那人を入れぬ樣取締る筈につき各自の使用支那人は使用主の氏名を書き捺印せる白布の腕章を附し出入せしむる事▲會長川崎亥之吉、庶務委員長川島定兵衛、審判委員長三田泰三、競技委員長井上芳雄、場內整理委員長上郡山九效、賞品委員長大津鎌武、記錄委員長佐竹令信、救護委員長松本辰吉、設備委員長千々和正彥、警備委員長前田信二、その他委員は會長より追て委囑すると

親鸞上人降誕會 開原

本願寺にては二十五日午前十一時より宗祖親鸞上人降誕慶讃會法要を營み續いて講演、正午より御齋午後一時より餘興接待等ある由

除隊兵沿線見學

開原守備隊滿期除隊兵四十名は谷口特務曹長引率の下に旅順、大連、奉天、撫順、長春、公主嶺等各沿線見學の爲め二十二日五時四十分出發せるが二十六日十七時三十一分歸隊の筈

警察署家族會

開原警察署にては來る六月一日水源地に於て署員家族會を開催すると

中野五葉師講演會

臨濟宗の師家として鎌倉圓覺寺僧團監督であつた中野五葉禪師は今回修養團滿洲聯合會の招聘に應じ滿鐵社會課後援にて沿線各地巡錫中なるが、當開原にては來る二十八日公會堂に於て講演を催す豫定なりと

松尾警部轉任

西豐縣陶鹿領事分館主任松尾警部は今回通化縣領事分館に轉任を命ぜられたので二十二日來開し轉任挨拶の爲め各方面を歷訪した

大瀨戶氏出發赴任

奉天取引所に轉任の大瀨戶儀次郞氏は二十六日十七時三十六分發列車にて出發赴任すると

永野家不幸

永野小學校長の二女宜子(一〇)さんは過日來入院加療中であつたが二十二日夕刻藥石効なく遂に死去、葬儀は二十三日午後四時開原寺に於て盛に執行された

開原河に水死人

二十三日午前十時頃開原驛檢車方光本が開原河に水死人あるを發見屆出たので、坂井司法主任は直ちに三田院長と共に急行、開原河東側橋梁の橋脚の水面に浮びたる水死體を引揚げ檢案の結果、死後十二時間位を經過し左方臀部に輕い打撲傷あるのみにて左右目頭に爪の跡樣の痕あるも致命傷と認むべき傷狀なく、四十歲位身長五尺四寸餘、丸顏色白にて(水は相當呑んでゐたが)肥滿せる五分刈頭の鼻下と下唇下に僅に髭を蓄へ、セル地薄茶色の袷長衣を纏ひ黑絽の子のズボンを穿ち一見商人風の人品賤しからぬ風體であつたが、ポケット中にも手掛りとなるべきものなく、前記の模樣より見て夜行列車にて鐵橋通過中デッキに出で誤つて墜落せる者にあらずやと列車內に遺留品の有無調査中、前記事情により死體は一先づ華商公議會に引渡し假埋葬に付し遺族の搜査方を各方面に手配中

平岡校長出張

滿鐵教育研究會にては吉林、敦化、海龍、北山城子方面の鮮人教育其他の狀況視察をなす事となり開原、長春、ハルビンの普通學校長は長春より鐵嶺、奉天、旅順、安東の普通學校長は奉天より同地方面へ視察に上る筈なるが、當開原よりは平岡雄吉氏が來る六月二日より七日まで出張すると

鐵嶺

電燈料值下問題 果然、白熱化す 商議の態度如何で市民大會 廿一日の會見は物別

鐵嶺の電燈料金值下問題に關し過日各團體より選出された代表者數名は二十一日電燈局に宗石局長を訪れ、六ケ條の件案を提へて面談數刻に及んだが何等具體案を得ず結局不得要領の儘物別れとなつたので、值下運動期成同盟會では本問題を商工會議所議員會に提出し其の贊同を得て滿電本社に直接交涉すべく決議し、商工會議所に申出たので

會議所でも來る二十六日議員會を開催協議の上會議所としての態度を決する筈である、期成同盟會では會議所が不贊成の場合は市民大會を開催し大いに輿論を喚起し全鐵嶺市民一致して目的達成に邁進せんと意氣込んでゐる

風薰る龍首山で けふ野遊會 呼物の寶探は午後一時から 車馬賃は警察で定む

延期に延期を重ねた鐵嶺全市民の野遊會は愈々二十五日午前十時を期し龍首山上に於て盛大に擧行され、會場にはうどん、ビールサイダー菓子果物等の賣店が設備され午後一時からは賞品一等より三十等までの寶探しが催される、辨當やお壽司は參加者各自に攜帶されたしと、車馬賃は警察の方で左の如く一定したから定額以上を拂ふ必要はない

洋車一臺片道三十錢、同往復五十錢、馬車一臺片道六十錢、同往復一圓

尙會場入口日支警察官が取締り、服裝の見苦しい支那人や精神病者は入場を禁止する筈であり、今日一日は全く野遊び氣分となつて鐵嶺增進の一助にされたいと

浙江省避難民

浙江省からの避難民百餘名は[illegible]命令で鐵嶺縣下に居住すべく數日前に來鐵したが、鐵嶺縣下では既に水田事業も完成し荒蕪地なく開墾の餘地も無い爲め縣長はこれを吉黑兩省內に移住せしむべく省政府に申請し近く北方に出發せしめる筈と

平民簡易高級學校創立 支那側が城內に

城內では昨年七月平民職易學校を開設し無學の者に對し無料で教育を授け普通教育を施すべく授業を開始したが、その後の成績頗る良好で最近は縣下各所に此種の學校が設立せられ現在三百十校、收容人員四千名といふ多數に達してゐる、この成績に鑑み縣政府では今回更に平民職易高級學校を開設すべく既に城內で男女二校を創立したと

降雨を俟つ 奧地の鮮農

鐵嶺縣下は勿論東山地方奧地在住の鮮農達は昨今水田の播種期を迎へて準備を整へたが久しく降雨なき爲め各河川は全く枯渇の狀態にあり、慈雨の臻るを祈願してゐるが、來月十日頃まで降雨なき時は播種は全く不可能となり凶作を免れず、鮮農は何れも憂慮してゐると

立山巡查部長慰靈祭 犯人逮捕で

立山巡查部長射殺犯人逮捕により鐵嶺警察署では二十九日午後一時より鐵嶺基督教會に於て故立山部長に對する犯人逮捕の報告慰靈祭を執行すると

吉林

城內の道路擴張

吉林市政籌備處長劉樹春氏は城內各街の道路狹隘で交通不便なるを遺憾とし河南街、通天街等主要筋二十三ヶ所の道路取擴げ計畫を立て、省政府委員會でも許可したので、車道と人道とに分けて修築し兩側の家屋も幾分引込められる個所も多いが、完成の曉は吉林各街は面目を一新するであらう

警官增員決定 間島から六名

吉林石射總領事は豫て警官五名の增員方を外務省に申請中の處、今回其決裁と同時に過般歸朝した西澤巡查の後任を含む左記派遣人員を發表されたが、新任者は孰れも從來間島地方に在勤した人々で、二十六日頃間島を出發し着任は月末頃の豫定である

巡查部長山田四太郞、巡查松尾峰雄、久保弘治、奧山寬一、柴正人、崔秉珪

衞生宣傳デー

吉林中華基督教青年會にては二十一日より二十四日までの四日間を市民衞生宣傳デーと定め毎日午後五時より六時まで市內主要地點に於て露天講演を試みつゝある

石射總領事 家族を同伴して 廿五六日頃歸任

石射吉林總領事は內地に在りし家族が二十日神戶出帆、二十三日大連に着くので之が出迎への爲め二十一日午前八時五分發列車で大連に向つた、因に其の家族は夫人と息女二名で、二十五、六日頃歸吉の豫定であると

民會假事務所

吉林居留民會事務所の改築工事は野田喜太郞氏に落札したので、民會では二十日新開門外の元東亞煙草出張所に假事務所の移轉を了し執務して居るが、此の工事は約二[illegible]

小島氏離吉

今回滿鐵本社庶務部社會課に榮轉を命ぜられた小島一男氏は二十日正午發列車で家族同伴赴任の途に就いたが、吉林在住官民多數驛頭に見送つた

哈爾賓

吾等の町を語る

草原から近代都市へ 素晴らしい三十年間の飛躍

滿鐵事務所々長代理 軍司義男氏談

時代はめぐる、地球は廻る三十年間に著しい發育を遂げたこの町に二十二年間生活し、半生を過した軍司義男氏の史觀の一つ

◇

「明治 四十二年頃のハルビンに尖端を切つて日章旗を揭げたのが現在ニューヨークシチー銀行前の木造二階建に熊澤洋行が產れ當時日本商人としては僅に三井物產と其他二、三を數へる寂寥さ、人口は約一千名內外で、大部分は洗濯屋、時計修繕、寫眞屋さんで、料理屋が其の大半を占めてゐた、勿論日露戰爭前にも日本人は住んでゐたが、明治三十三年にこの第一線を突破して開拓に足を踏み入れたのが宮崎信升君であつた當時汽車も完全でなく宮崎君は松花江の流れに沿ふてやつて來たといふ、一面雜草と川柳に蔽のやうなものが生ひ茂つてゐて、髑髏も見えなくなるくらゐの草原地だつた——それが僅々三十有餘年の間にシカゴと稱される程の飛躍をしたのだから夢のやうだ」と軍司さんは超スピード振に追憶の懷しさをなげかけての述懷

◇

「日露 戰後ですら現在の正金支店前一帶はぼツとした空地ばかりで、その背後には入場料を徵收する公園のやうなものもあつた、旅館は東洋館と朝日館の二軒だつたが、現在木造の朝日館は昔の儘で、謂はゞ歷史的の品物である、日本人で土地とか家屋を所有してゐたものは熊澤洋行ぐらゐのもので、實に隔世の感がある」

◇

「舊い 人物も段々無くなり今では武內商會の主人、料理屋組合長の宮崎君、東洋ホテルの城戶君等々、卅年の歷史をもつてゐる人は殆ど指を屈する程になつた」この町開拓の第一步を築いた人々の功勞は、町の生命の存在する限り永久に記錄されるべきものであらう、それは民會墓地の年々歲々新なる墓標によつてのみ表象されるものではなく、永久の語り草のうちに殘されて行くであらう

◇

「町は ロシヤの東支鐵道敷設時代を第一期、ソウエート革命の一九一七年を第二期、更に支那勢力の擡頭した現在を第三期とすれば、第一期に於てはロシヤの勢力が偉大で中國人などは殆ど問題とならず、日露戰爭によつて漸く存在を認められた日本人も東支俱樂部には一步も近寄ることすらできなかつた、第二期に入りシベリーに日、英、米共同聯合軍を派遣する樣になつてから、初めて國際的都市として近代的發展を見るに至つたのである、滿鐵事務所も大正六年日滿貿易の夏秋龜一氏が運輸事務を取扱つてゐたのを改めて新設された、邦人は大正七、八年の好況時代松浦商會が堂々たるビルデングを建築し、漸く邦商がキタイスカヤに進出したに過ぎない」

◇

「民會 がベカルナヤにあつた時代は、民會附近の鋪路で泥濘で一步馬が足を踏み脫すと泥が馬腹に達すると云ふ有樣、それが今では立派なヘブが造られ、雨あがりの道にも苦まずに步ける文化町となつたのである」

桑田の變、羅馬が一朝にして成るスピード時代の躍進である、この速力で町がグングン伸びて行けば人口百萬を突破するのは數年を俟たぬだらう

「不景氣風を押切つて、郊外の新築家屋が年々激增して行く狀態からみれば、恐ろしい平面的の伸び方である、これが立體化することはどうかと思はれるが、人口百萬決して倒れない都市となるであらう」

ハルビンの胃袋は無限大であり榮養素にも富み、決して神經衰弱には罹るまい(寫眞は軍司氏)

大してひゞかぬ 緊縮の風 夏物洋雜貨を通して覗いた哈市の購買力

世界的不況と緊縮、節約の風にあてられた本年の夏物洋雜貨の新規仕入と賣行はどうであらうか——輸入組合の窓から覗つめた處によると夏物として組合の融資額は約五千圓見當で邦人向の小賣商十餘件に割當てられてゐる、その外は直取引であるから四、五の二ケ月に夏物として輸入された品物の總額は約一萬圓內外であらう、尤もこれはハルビン在留邦人向の範圍の計算であるが、昨年と一割乃至二割方仕入額が減つてゐるらしい然し購買額は別に大した變化無くたゞ口數が多くなつてゐる、これは一般邦人が緊縮のため幾分は餘分でも買物は差控へた點もあらうが、全體的にみてハルビンは俸給生活者が多いために購買力が減退しないのだらうと

東鐵管理局 日語飜譯者後任

東支管理局總務課日本語飜譯者のネズナイコ氏は病氣のため辭任し其の後任にはパンプリン氏が就任し事務を執つてゐる、パ氏は東京ニコライ學校出身で日本語は流暢である、氏は局長の秘書として又日常は日本新聞の飜譯をする職務にあり日本に對し非常に趣味を有する人である

本溪湖

煤鐵公司記念式 未曾有の盛況

煤鐵公司創立二十周年記念式の次第は既報の通りなるが、大倉喜七郎男も豫定を變更して再び來溪し前辦島岡亮太郞氏も株主代表として來溪、その他滿鐵側より田村興業部長、山西撫順炭礦長、支那側は奉天より大官連多數來溪列席した、これよりさき二十二日午前九時より大倉山麓追悼碑前に於て莊嚴なる殉職者の追悼式を執行し十一時三十分より豫定のプログラムにより公會堂に於て記念式を擧行、午後一時より神社下廣場に建設けられたる宴會場に於て日支官民七百數十名の大宴會を開いた餘興には奉天より應援の多數手形連も加はり、花火は晝夜間斷なく打ちあげられ眞に未曾有の大盛會であつた、因みに記念の爲め小學校、神社、公會堂其他の公共事業に對しそれ〴〵寄附のほか記念寫眞帳を多數關係方面に贈つた

父兄會幹事會 新役員決定

二十一日午後一時より小學校に於て父兄會幹事會を開き昭和四年度決算報告、同五年度豫算承認の件、父兄會副會長並に新幹事推薦の件、十年間勤續者那須教師表彰の件、來る二十六日午前十時より學校講堂に於て父兄會總會を開催する事を議決した、因に新副會長として機關區長七田積氏を、新幹事として吉川郵便局長、藤村驛長、保線の岡口竹次、鞍平見田靜太郞の諸氏を推薦した

安東

把頭を襲ひ 二萬餘元を强奪す 三人組馬賊

去る十九日臨江縣七道溝に拳銃所持の支那馬賊三名現はれ帽兒山より歸途の長白縣八道溝採木公司把頭王永喜を襲ひ大洋票二萬四千元を强奪し奧地へ逃走した、王が十八日帽兒山採木公司出張所から勞働者賃金を受取つて所持し居る事を探知し帽兒山から尾行したものらしいと

不二農場の小作爭議 廿日解決す

久しく紛爭を續けてゐた龍川郡不二農場の小作爭議も二十日解決を告げ、二十一日朝に至つては農場一同小作人の約八割は出耕して播種期遲延の挽回に努めてゐるが何分一齊に起耕したので耕牛の不足を告げてゐる、二十一日よりは約五百頭の耕牛を使用し向ふ一週間位で終了の見込であると

一周年記念會 安東童話會で けふ開催

來る二十五日は安東童話協會創立一周年に當るを以て二十五日午後七時より安東クラブで一周年記念會を開催する事となつた、同夜は七時より一時間半の豫定で童話會を開き批評、研究、懇談を行ひ次に役員改選其他打合せをなし九時半閉會の豫定であると

營口

商議役員會 消組問題を報告

營口商業會議所では廿二日午後五時から同所內に役員會を開き、去る十六日大連に開催の滿洲商工會議所聯合會に出席した關副會頭の消費組合問題に關する協議會の經過報告あり、次で六月五日大連に開會の同會出席者及び有礙前副會頭に記念品贈呈其他數件を協議し同八時散會

發電所增築 機關室を

營口水電會社では發電所の機關室を增築することゝなり二十四日地鎭祭を行ひ二十五日より起工八月中旬竣工の豫定、豫算は二萬圓であると

大石橋

守備隊の兵士更替 除隊兵士は三十日出發

當地守備隊滿期除隊兵八十九名及び入營初年兵士九十三名は左記日時宮驛を發着する事に決定した、市民は成るべく多數送迎せられたしと

滿期除隊兵士五月三十日午前六時四十分發(南行第二〇列車)入隊初年兵士五月三十一日午後四時三十分着(第一五列車)因に前例に依り除隊兵士に對しては官民一同より慰勞品を贈呈する事となつた

鞍山

陸上競技場で 蹴球戰 午後二時から

滿洲蹴球協會監督の下に鞍山蹴球俱樂部では二十五日大連育成軍を招き陸上競技場に於て午後二時よりラグビー試合を擧行する、鞍山始めての催しとて一般ファンから離る期待されて居る

士官學校滿鮮戰史視察團 廿六日午前來鞍

陸軍士官學校滿鮮戰史視察團一行二百四十餘名は二十六日八時二十五分着列車にて來鞍し昭和製鋼所を見學し首山に向ふと

印度よ、何處へ？

反英運動は繼續し 政府は益々彈壓す

刮目される全インド圓卓會議

インドが綿布の關税を引上げただけでもわが國にとつて大打撃であるのに、その上に外國綿布の不買決議をして、反英運動の一味を日本にもあびせてゐるのは實に迷惑千萬な話である、綿布の注文は一、二ケ月先きの約定まで出來てゐるのだが、或はその積止めの電報が來はせぬかと懸念され、絹織物やレーヨンの方も心配してゐる一體インドは何うなるのか。

の圓卓會議の催される二、三ケ月前に例のインドの施政狀態を實地に調査したサイモン委員會の報告が發表される筈である、右の圓卓會議に於いてインドが自治領を與へらるる事になるか何うか、全印國民會議一派は同會議に列席する事さへも拒んでゐる、回々敎徒及び穩健分子は出席の日を待望してゐる。

反英行動の繼續

反英運動の指揮者ガンヂーや、アバス・チヤブヂが相次いで投獄され、その後を繼いだ女詩人サロヂニ・ナイヅは、最近鹽專賣倉庫襲撃に向ふ途中、警官隊のため警戒區域外に追拂はれた、全印國民會議實行委員會は去る十六日獨立派の領袖モチラル・ネールを議長として、税金不納、鹽專賣法破毀、禁酒等の各運動及びこれに伴ふ爭鬪の繼續、イギリス商業機關に對するボイコツト、新聞休刊、非暴力嚴守等の決議を行つた、インド政府は各地の暴動頻發に鑑み、その彈壓政策に漸次峻烈さを加へてゐる。

自治領の地位

反英運動の中堅たる全印國民會議一派は、飽くまで完全なるインドの獨立を獲得せんとしてゐる、然し遠き將來ならばいざ知らず、差當りイギリスがインドの獨立を許す模樣はない、たかだか自治領になる位のものであらう、回々教徒の政治團體や穩健分子はそれで滿足するらしい、彼等は獨立派の行動を以て、却つてインドの將來を誤るものと非難してゐる。

全印圓卓會議

去る十二日インド總督アーウイン卿は「來る十月二十日ロンドンに全インド圓卓會議を開くことに決し、目下その準備中である」と聲明した、これは昨年十一月同總督が約束したところであつて、イギリス政府が英領インド及びインド王侯國の各派代表者を招いて、インドの自治問題に關し協議をしようとしてゐるのである、尤もこ

關税ノ自主權

現在カナダ、濠洲、ニユージーランド、南阿聯邦、アイルランド自由國等には完全な自治が許され通商條約の如きも形式的にはイギリス本國の監督を受けてゐるが、實際は各自治領政府が獨立的に締結してゐる、然しインドにこの權能が與へられるかどうか、頗る疑問であらう、インドは最近イギリス綿布に特惠關税を與へたが、これはインド人が非常に反對したところであつた、若しインドに自治が許されたら、インド人は恐らくイギリスに對する特惠關税を撤廢するであらう、イギリスもそれを見拔いてゐるに違ひない、果してあぶない刄物をインドに渡すであらうか。

往昔の同志も現在では仇敵

トロツキーが近著『我が生涯』で スターリンを攻撃

一昨年スターリン一派の爲めに本國を追放され、失意の日を送つてゐるロシア革命の巨頭トロツキーは「我が生涯」と題する六百頁に達する大册の自叙傳を最近ニユーヨークの出版業者によつて發表した、全册の半分以上は自分がロシア革命に演じた役割、スターリンとの角逐、及びレーニン亡き後に自己の王座を死守せんとした苦鬪に就いて述べてゐる、彼の言に從へば彼の沒落はスターリンの擡頭と共に共産黨内に胚胎してきた革命思想の衰退によるものである、とスターリンのことを徹頭徹尾攻撃し

彼は怠け者で嫉みやで、自分より仕事の出來る者を排斥しやうとする最も卑劣な人間で、レーニンや自分達が成就した革命の潮流にうまく棹さして成り上つた平凡人に過ぎないとこき下し「スターリンは

實行力

があり意志の強い人間ではあるが、彼のイデイオロギーは極めて原始的なものだ」と述べてゐる、彼は此の著書の中でヂノヴイエフ、カーメネフ、ラデツク等スターリンに屈服した昔の同僚のことは大分注意して書いて居り餘り惡口はいつてゐない、文中悲觀したやうな言は吐いてゐないが、蓋し七轉び八起きを常とする彼の如き革命兒の生涯には、今の失意時代も來るべき活動期の前奏曲に過ぎないかも知れぬ、最後に彼は

フランス革命にも比すべき彼の十月革命はレーニンと自分によつて成し遂げられたもので、永い月日には必ず其の最後の結果が明かになるであらう、これはスターリンが如何に詭辯を弄するも枉げ得られない事實であると斷言してゐる

紅い夕陽

【遼陽】遼陽縣では民政署から縣への訓令に依れば省内各縣長は管内人民の結婚に際しては結婚證書を販賣しその賣揚金は各地の女子學校の經費に充當せよとある

◇―新刊批評―◇

▲鹽と人生（平林敏滋著）或る西洋の學者が「鹽の少ない陸上に生活する動物の血精中に、多量の鹽を含有してゐるのは其の祖先が海水中に生活してゐた遺傳だと」言つてゐるが、鹽が生命と密接な關係のあることはこれによつても證據立てられる、鹽は單に健康の必需品だけでなく、吾々の生活に最も重大な役割を持つてゐる、本著は從來日本に鹽の文獻のないのを遺憾とし、鹽の知識の一般化のために著はされたもので、其一で鹽の科學、第二で調味及び食品としての鹽製品、其三で鹽を病氣治療に應用する所謂食鹽療法を述べ、その紹介に努めてゐる（四六版百十七頁定價八十錢東京神田表神保町栗田書店發行）

▲華道（三好洞石著） 本書は花道教師三好洞石氏が多年唱道して來た生花の通俗化、即ち現代花道の缺陷たる技巧に囚れず植物の自然を尊重して學理を應用し、而かもなるべく短日月の間に習得せしめる目的の下に編纂されたものである、内容は盛花と投入花に亘り斯道にとつては革命的とも云ふべき清新な筆致で華道の民衆化を高調し、舊來の保守的因襲を棄てゝ最も現代に適應した新形式により一般初心者及び研究中の人々の爲に華道の由來より説き起し實際的技術を百二十二頁に及び詳細親切、且つ平易に解説した良書である（定價二圓大連市柳町七十番地大連華道學院發行）

投書歡迎

中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以内のこと

輕行を憐れむ

Y・A生

二十日、高畠護輔の名を以て「非國民仙石滿鐵總裁を葬れ」のパンフレツトが我事務室に配布された、私は滿鐵の社員である、總裁は我等の親分である、これに對し非國民呼ばりをされては好い氣持はしない、高畠といふ人は私は一面識もないが察する所、偏見家の樣に思はれる、吾々社員に向つて吾々の親分を非國民呼ばりをするのみか、これに贊成を强調せらるゝことは恰度、子供に向つて其の親の非行をあばいて親を其の家から追出すことに共鳴せよといふのと同樣である、いくら正義の念にかられた子供でも親の惡口を言はれて好感を抱くものは恐らくなからう、而も其親の行爲が確然と非であることを認められない場合に於ておや、私は總裁の當時の病狀は詳しく聞いて居ないが病氣であつたのは事實だ、又秩父宮殿下の御着連の際、御出迎申上げなかつた事、及び沿線に御隨行申上げなかつたのも事實である、而しこれを以て直ちに非國民呼ばりするのは餘りに皮相の觀である、社會をリードし中論を喚起するには餘りに淺見である、私は非國民呼ばりをするよりも御出迎にも御隨行をもするよりも御出迎にも御隨行をも病氣のため御遠慮申上げた總裁の心事には寧ろ同情する、宮殿下の御來滿に際して官憲は元より吾滿鐵も御乘用車は勿論總べての衞生方面には深甚の注意を拂つてゐた其際若し私の親が總裁の位置にあつたと假定すれば私は親の意志に反してゞも極力、御遠慮申上げる事をすゝめたであらう、然らば私も總裁同樣非國民であらうか、私は私の親分を非國民呼ばりさるゝ事に反感を持つよりも高畠氏の輕行を憐れむものである

海◇外◇消◇息

百廿年後には月世界へ旅行

大砲發射で航空船を推進

プリストン大學の教授の説

もう百二十年もしたら人間は月の世界に出かけてそこから地球の同胞と通話することが出來るとは、米國プリンストン大學星學教授ジョン・ステユアイト博士最近の豫言である、博士は曰く

人間は一時間五萬哩の高速度航空船で遊星間を周遊し得る時が來るそれは今から百二十年以内に實現される見込である、もう二十年もしたら一時間千哩の飛行は可能になる、そして過去二世紀間に於ける交通機關の速力の増加率を見るに、今から百二十年以内即ち西暦二千五十年迄には引力に打勝つだけの速力を實現し、人類が月世界に旅行し得られると云ふ

推論に到達

する、このエネルギーは種々の物質に求めることが出來る、今日でも既に石炭や酸素の百倍もエネルギーを有してゐるイオン化水素とか、其のまた十六倍のイオン化リシウムなどと云ふものが發見されてゐる、そのエネルギーを[illegible]して發動機に使用するかは[illegible]からの研究に待たねばならないが今日の智識でもロケツト（花火の如き）の原理によつて前進する新航空船で月世界への旅行は理論上可能である、その航空船は恐らく球形で直徑百十呎、四方八方に大砲を備へ付けその數

十數門に及

ぶであらう總重量は約七萬噸、内二萬八千噸は砲彈でこの砲彈の發射によつて飛行船が推進するわけである、船員は約六十人乘客十數名で航續力約二ケ月である、出發地點は沙漠とし、大砲の發射による地上の被害を防ぐ、かくて砲彈のやうな大速力で月世界に達したら光線を利用して地球と通話する、これはケネリー・ヘイサイト層のため電波によるラヂオが通じないからである、歸航も往航と殆ど同じ道を通るが用心しなければならぬのは着陸の時で、餘り高速度で歸つて來ると、その落下を止める爲めに大砲を發射するので地上に危險を與へる虞がある

黄金製の自動車

ドアーの把手はダイヤモンド

五月六日フランスのシエールブール港に入港したアメリカ貨物船ミンネハンカ號は、ペルシヤ王の注文でアメリカの自動車會社が製造した黄金製の自動車を乘せてきたこれは恐らく世界で一番の贅澤品であらう、車體は全部黄金の延板で造られ兩方の扉の把手はダイヤモンドで出來てゐるモーター以外は全部王の設計したもので内部は赤い絹と高價な毛皮を以て裝飾され、黄金を臺としてダイアモンドをちりばめた電燈器具とテーブルが備へ付けられてゐる、此の世界一の贅澤品が無事にテーランに到着するやう自動車會社ではこれが製造以上の骨を折つてあらゆる注意を拂つてゐる

家庭とコドモ

過渡時代に於ける婦人服の改善
「なるべく洋服を推奨したい」

時代は移る……不利不便不經濟な日本婦人服はもう時代に合はなくなつた、傳統に捉はれて不合理な生活に執着することは愚の骨頂である、不合理なものは片はしから捨て了まふことだ……と言つたところで實行力の乏しい今の日本婦人にはそんな思ひ切つたことはおいそれと出來ないかも知れない、そこで先づ過渡時代として婦人の通常服、事務服、作業服などは全部洋服にしてしまふ、そこで問題になるのは婦人の禮裝であるが、次のやうにすれば結構だと思ふ、洋服ならば絹ワンピースに多少裝飾のあるものを認める、洋服の場合は

一、禮裝は無紋付を本體とする

二、喪服は無地紋付を本體とし紋がなくともよいことにする又模樣ものを用ふる場合は黒紗を以て其の模樣を覆ふこと

三、紋付羽織を以て禮裝に準じたい

四、止むを得ざる場合には吉凶共縞物も用ひて宜しい、但し凶事には喪章をつけて弔意を表すことにしたい(土肥修策氏談)

窓を開けて 新鮮な空氣を入れませう

滿鐵家庭研究所 日向保良

私共の生活に新鮮な空氣が、どんなに必要であるかと言ふことは歐米諸國では古くから知られてゐます、それで屋內に居る時は何時でも窓を開けて新鮮な空氣を入れるやうに心掛けてゐます、尚夜には寢臺をベランダに持出して寢ることまでしてゐるさうです、又病院では窓を開けるだけに止まらず、病室を野天に移すことまでも實施して治療方面に立派な成績を擧げ只今では肺結核の治療法として最も進歩した方法であるといはれるやうになつてゐます、然るに我國では

從來の家屋が全く開放的である

ため空氣の流通から申せば此上もないことですから、換氣と言ふやうなことについては傳統的に考へてゐないのです、然し近來我國の建築法も一變して都會地では煉瓦や鐵筋コンクリートの建物が出來るやうになつて來ました、それがため結核患者が多くなつたと言はれてゐます、滿洲では防寒の關係から煉瓦を以て四壁を圍み窓の少い箱のやうな家を作り

戸外の空氣を嚴重に遮斷して

一年中の大部分を其中に暮してゐるのです、內地で開放的の生活をして換氣といふことには無關心の者が一度び渡滿して前記のやうな密閉せられた家屋に住むことによつて、どの位健康を害してゐるか知れません、實例として內地から來た若い婦人などが此急激なる生活の變化によつて結核になるものが多いことです、近來一部の人によつて換氣の必要であることを唱へられてゐますが、未だ一般には

新鮮な空氣の價値あることを

認めないで、窓を閉めきつて平氣で暮してゐます、邦人が歐米の如く換氣の必要を感ずる迄には尚幾多の犠牲を出し、幾多の年月を經なければならないと思はれます、こうした犠牲は一日も早く去りたいものです、人類が未開時代に粗造の家屋に住んでゐた時代は病氣もしなかつたが、だん〳〵巧妙な家屋に住むやうになつて病氣をするやうになつたのでせう、人智の進歩は益々巧妙な機械を考案し

換氣などにもいろ〳〵な方法

を工夫してゐますが、何んといふても理想的換氣の行はるゝ處は屋外世界、即ち自然の空氣であります、さればこの理想的換氣を行ふには力めて屋外に出ることですが室內に居るときでも戸や窓を開け放つて屋內をして常に屋外世界の一部と連絡をとり屋內をして屋外世界の延長であるやうにすべきであります、このことは何人にとつても必要でありますが常に屋內に居る婦人や子供、室內勞働者などにとつては特に必要なことであります、然し實際問題として考へる時には

幾多の障害が出て來るのです

それは御承知のやうに滿洲の冬季は寒さがはげしい上に煤煙が多くて少しでも窓を開けて置くならば屋內は忽ち煤煙だらけとなつてしまふのです。三月も過ぎ春暖が催してペチカを焚かない頃になると物の風がやつて來て、盛に砂塵を吹き飛ばし窓を開けることも出來ません。然しさしも強く吹いた風も五月の半ばとなりアカシヤの花の咲き初める頃となればぴつたりやんで一年の中で最も氣候のよい季節となります。これから夏を越し秋十月迄は餘り風もなく、窓を

開けて屋外世界の一部と連絡して生活するには最もよい時です

されば此時に力めて窓を開け、出來るだけ新鮮な空氣を室內に取り入れたいものです。そして晝間ばかりでなく夜も窓を開けて寢るやうにしたいものです。現在はこれも盜賊の心配があるため實行されてゐないのです。これ等は窓に鐵棒をはめたり、回轉窓を改造するなど少しの工夫によつて出來ると存じます。滿洲の家は皆洋風の建築で何處の家にも回轉窓はあるが

形ばかり西洋の眞似をして

あけることの出來るものは殆どなく皆釘づけとなつてゐます。これを換氣の出來るやう改造することは容易のことであります。それによつて晝間は力めて窓を開放し、夜間は回轉窓によつて換氣するやうにしたいものです。窓を明けることによつて私共の居室を屋外世界の一部とすること、これが私共の健康に多大の影響あることを在滿邦人の念頭に深く刻みつけたいと存じます。

童詩 燕と絮

春木和夫

そよろ〳〵と
吹く風を
積んで來たのか
つばくらめ。
お空で返る
たびごとに
池にやなぎの
絮が散る。
土手の芝生に
俯して見た
藍い水面の
つばくらめ。

大チヤンノモウジウガリ (三)

バルミチ作 ジラウ畫

大チヤン ヤ ヲヂサン ハ ドジンドモノナゲヤリ ノ ウマイノニ スツカリ カンシンシテキルト、ドジンドモ ハ「ワタシドモ ノ ウデ ハ コンナモノデス」ト イハヌバカリニ トクイ ノ ハナ ヲ ウゴメカシテ キマス、「サア ザウゲ ヲ トラウ」ドジンドモ ハ コシ カラ チヒサナ カタナ ヲ トリダシテ マタタクウチニ ザウ ノ キバ ヲ スツカリ キリトツテ シマヒマシタ、オホキナ ザウゲ ハ ナガサ ガ ドジン ノ セイホドモ アリマシタ。

こども…と夏の衞生
衣服…寢卷…蒲團

夏の着物は 輕くて薄いものを用ひ、子供の自由に運動が出來るやうにする、皮膚を鍛錬する意味で、特別にひよわな子供を除いては、手は肩まで、足は股あたりまでねさ出して唯胸と腹の部分を蔽へばそれで澤山である、即ち腹かけのやうなものを着せればよい、胃腸の弱いもの、いひ換へれば下痢を起し易い者は腹巻きをさせるがよい、戸外で遊戯をさせる時もかういふ服裝で充分である、唯餘り年のいかない又は

弱い子供は 日光の直射する場合には身體をあらはさないやうにしなければならない。肌着は、汗を吸ひ取るに適當な晒し木綿を用ゐるがよ。さうして度々洗濯をして汗に濡れたものを着せないやうに心掛けることは、いふ迄もないことである。乳兒は皮膚が殊に弱いから以上の注意を怠れば直きに汗疹を生じ、皮膚が爛れてそれが化膿して大事となることが多い。寢卷は特にゆつたりして、窮屈でないものを選び、上體(腕や胸)をむき出しても別に害がないけれども、下體(腹、腰、足)は冷えないやうにし、殊に

胃腸の弱い 者は夜腹巻をさせるがよい させるがよい爲めに股引を用ゐ足袋をはかせるのもよい。なぜかといふと、足を冷すと下肢を流通する冷た静脈血が腹腔を通じて心臟を循環する際に、內部から腸を冷すから、幾ら腹を包んでも、足の冷るのを防ぐことが出來ない、だから寢冷をしないやうにするには、どうしても足を冷さないやうに心掛けなければならない 寢具夜具はやはり

輕いものを 用ひ子供が轉げ出さないやうに注意する、それには子供に簡單な普通の寢衣を着せて、夜具の襟の所二ケ所と裾の兩側に丈夫な紐をつけて蒲團と結びつけてしまふ、かういふ風にして置けば子供が夜具を蹴飛ばしたり又夜具から轉げ出したりしないから至極便利である。

乳兒とヒマシ油

▽…乳兒が消化不良を起した場合ヒマシ油を飲ませるお母樣がありますがあれは有害無益です。かへつて吐氣を起させたり醫者の治療を困難にします。

▽…先づお乳をひかへて下さい、そして白湯か番茶のさましたものを與へる樣にし、おなかに濕布をしてやつて醫者を呼ぶことです。

▽…いきなりヒマシ油を飲ませることは注意深いお母樣のなさることではありません。乳兒の消化不良はお乳の性質や分量から起ります。(遠澤博士)

數十萬年前の駝鳥の卵
滿蒙資源館所藏の珍品

駝鳥の卵の化石は世界中で最初に發見せられたものは、今を距ること四十餘年前、地中海の東端多島海中の一島サモス島及今日のダーダネルス海峽の邊(地中海より黒海に入る入口)から各々一個づつあるが、同樣のものは北部支那(正確なる産地不詳)からも既に三十有餘年前に發見せられ

◇…**比較的** 最近には、アメリカ探檢隊によつて南部外蒙古の平原中の昔の湖底の泥土層中から發見せられて居る。此の寫眞の實物は滿蒙資源館に陳列せられ是等の化石卵に次いで世界の記録に残さるべき大切な而も、珍奇なものゝ一つで、現時の綏遠省托縣城西方約二十支里の山中の黄土中から發見せられ、その邊の地質時代から云ふと尠くとも數十萬年の昔、第三紀の末葉、鮮新世頃か又は其れ以後のものであらう。その大きさはアフリカ洲に現存の駝鳥の卵よりは稍大きく楕圓で長徑十八糎、短徑十四糎

◇…**現在は** 內部は乾燥して空虚であるが之に實質が充たさるゝものとするとその重さ約一、九瓩となり普通の鷄卵の五十五瓦に比べると約三十四倍となる。若し鷄卵二つゞつを一人前の御馳走とすると同樣な割合で此の化石卵の中身を料理すると正に十七人前の御馳走が出來るわけである。

探偵小說 **女妖** (98)

江戸川亂步作 横溝正史

伊藤幾久造畫

過去の影(四)

千家篤麿が春日龍三の邸宅から出て來ると、折しも、表へついたのは一臺の立派な馬車、木蔭に身をよせて眺めてゐると、意外にも綾小路浪子ではないか。

それを見ると篤麿はハツと胸を躍らせた。何の爲に彼女は春日邸へやつて來たのだらう。あの河内莊の事件以來、千家篤麿は、この綾小路浪子が並々ならぬ彼の大敵であることをよく知つてゐる。

讀者諸君も御承知の通り、あの河内莊の村役場から、河内莊に關する戸籍謄本を奪ひ去つたものは餘人ならぬ千家篤麿だ。彼も亦、河内兵部の子孫なのだらうか。

それは兎も角として、彼は今や河内兵部の子孫に關する事件と、春日龍三の事件を兩天秤にかけて今や大芝居を打たうとしてゐる。

ところが、河内莊の場合、突然横から出て來た綾小路浪子のために、意外な破綻を來さねばならぬ破目となつた。それ以來彼は、絶えず浪子の身邊に注意を怠らないでゐる。

今又、その浪子が春日邸へ現れたからには又しても彼の仕事の邪魔を仕樣とするに違ひなかつた。

千家篤麿は油斷なく、浪子の馬車を見守つてゐた。

と、更に意外な事には、浪子の後から、もう一人、女が路上に下りたつた。

木澤由良子！

あの河内莊の幽閉場所から救ひ出された木澤由良子ではないか。

千家篤麿はそれを見ると、思はず、

「あつ！」

と叫ばずにはゐられなかつた。

彼は何故かしら、ひどく狼狽した。

由良子の出現——それは彼にとつては致命的な痛手のやうに思はれる。彼は暫く呆然と立ちすくんでゐたが、やがて二人の女性が、春日邸の玄關を上つて行くのを見ると倉皇として立ち去つて行く。

一體、この次にはどんな芝居を打たうと云ふのだらう！

さうとは知らぬ浪子と由良子—

—彼等は表の階段を上り切ると—玄關の呼鈴を押した。

現れたのは例の執事である。

彼は二人の顏をみると、ひどく當惑したやうに顏を赤らめた。

「今日はどなたにもお目にかゝらぬと申して居られますが」

「いいえ」

浪子は鷹揚に頷きながらいふ。

「お手間はとらせませんわ。是非お目にかゝつてお願ひしなければならぬ事が出來たのです。綾小路浪子が參つたといへば、春日さまは決して、いやだとは仰有らない筈でございますわ」

「でも……」

「いゝからまア取次いで下さいまし」

執事は當惑したやうに二人の顏を見較べてゐたが、止むなく奥の方へ引込んで行つた。

「何だか都合が惡いのぢやありませんでせうか」

木澤由良子はそれを見ると、臆病さうに肩をすくめる。

「いゝえ、そんな事はありませんわ。氣を大きくもつていらつしやい。春日さんは決してそんな方ではありませんからね」

「でも何だか押しつけがましくてあたし……」

「いゝのですよ。何も彼もあたしにお委せなさい。決して惡いやうには致しませんよ」

浪子は力をつけるやうにさう言つた。

あゝ、浪子と由良子——彼等はなんのために、この春日邸へやつて來たのだらう。

祖國の爲めに 四國選手が決死の奮戰
千五百米決勝に日本先づ全勝
極東オリムピック大會（第一日）

【東京二十四日發電】ヒリツピン四勝、日本三勝、中華民國一勝の成績を殘して第九回を迎へた極東オリムピック大會は今回から更に印度の一國を加へ參加選手總數實に六百餘名、名實ともに備はつたものとなつていよいよ二十四日火蓋を切つた、トラックに、フイールドに水上に各々祖國の名譽のため闘ふ選手の眉宇には決死の意氣を漲はし盛なる國民的聲援の中に白熱の競技は一週日に亙つて展開され樣としてゐる、青葉輝く神宮競技場を中心に全東京は華やかな國際スポーツのオリムピアと化した、日本か、比律賓か、支那か光榮の天皇盃は何處の手に落ちんとする？　第一日の成績は左の如くである

千五百米決勝に津田選手が一着
極東新記録四分六秒

一着　津田晴一郎（四分六秒）
二着　北本正路
三着　西浦勝次郎
四着　角谷保次
（寫眞は津田選手）

高障碍豫選
A組
一着　三木（一五秒五）
二着　ニカノール（比）
三着　藤田

百メートル豫選
A組
一着　南部（十秒九）
二着　ネボムセノ
三着　カンダリ

B組
一着　吉岡（十秒八）
二着　阿武
三着　ゴンザガ（比）

布井選手悠々ネラゴンを破る
日比對抗庭球戰

布井（日本）六―一、六―一、六―二　アラゴン（比島）

九A―六で支軍捷つ
對比軍一回戰

【東京二十四日發電】比島對支那野球試合第一回戰は二十四日午後二時三十分より、球審天知、壘審横澤、錢村、新田、比島先攻にて開始されたが支那軍見事九A對六で勝つ

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
比島 得點	0	0	0	0	1	1	3	0	1	6
支那 得點	2	0	1	0	0	2	4	0	A	9A

比島		中華	
エム	4	安階	7
チダン	6	榮樹	4
メベロン	2	陸和平	6
エサセベダ	5	張玉運	2
サントス	7	蔡東漢	9
オンシニアン	9	馮炎照	5
ガビオラ	8	何東	3
マンザナレス	3	林觀丙	1
ナヴアロ	1	楊程馮	8

京城の秩父宮
朝鮮神宮に御拜の後 各方面御巡覽遊さる

【京城特電二十四日發】朝鮮ホテルに第一夜を過ごさせ給へる秩父宮殿下には廿四日早朝御起床、洋式御朝食後、直ちに陸軍歩兵大尉の御軍服に大勳位大綬章を佩ばせられ本間御附武官を隨へさせられて總督府差廻しの自動車に召させ、京畿道警察部長の先驅にて朝鮮神宮に成らせられ、高松宮司の捧げた玉串を神前に供進御禮拜遊ばされたのち高臺より京城市中を御展望、關水府尹より御説明を御聽取あつた、九時卅分神宮御發、女子普通學校に向はせられ階上に御小憩の後各學年の授業を親く御覽あり再び自動車にて總督府御着、玄關には總督以下各局部長奉迎裡に總督室に入らせられ、齋藤總督ほか廿五名に單獨賜謁あり、列立拜謁（五百四十一名）の後、兒玉政務總監の御案内にて第二會議室に入らせられ陸大生徒と共に兒玉政務總監の朝鮮事情に關する講話を聞し召され朝鮮史料を御覽あり、廳舍建築壁畫等の御説明を聞し召され、正面玄關にて總督府幹部と共に記念御撮影遊ばされ、御徒歩にて博物館、勤政殿、慶會樓を御巡覽あり正午總督官邸の午餐會に台臨あらせられた

接戰を豫想さる全滿排球戰
愈よけふ火蓋を切る

YMCA主催、本社後援の第五回全滿排球大會はいよいよ二十五日午前九時より大廣場東拓空地YMCA屋外コートに於て擧行されるが、參加チーム十二チームに達し非常なる接戰を豫想されて居る、なほ本年度よりはAB兩クラスに分けて試合を擧行することになつたから一層興味を添へるものと思はれる、また本社寄贈の優勝盃は昨年大會に於て大商軍三度連續優勝せしため同軍の獲得するところとなり本年新に優勝盃を寄贈することになつた、因に當日のプログラムは左の如くである

式
▲午前九時入場式並に優勝盃返還

B組
▲九時二十分滿鐵地方課對滿鐵用度課▲十時滿鐵埠頭事務所對滿鐵審査課

A組
▲十時四十分醫大對YMCA▲十一時二十分工專對醫大▲十二時工專對YMCA▲午後一時B組決勝▲二時大連商業對大連二中▲三時女子競技開始

青年聯盟の軍隊慰問

滿洲青年聯盟では先に柳樹屯軍隊を慰問し非常の成果を收めたが、今回二十三、四兩日旅順の駐箚軍隊慰問のため幹部數名同地に出張した、なほ引續き聯盟では活動寫眞、講演等を催し廿餘ケ所の各地駐屯軍、分遣隊の慰問を行ふ豫定であると

見よこの盛況振り
參加延べ人員三千五百餘名 競技回數二百十一回に達す
市民運動會プロ決る

大連市主催、本社後援の大連市民運動會は毎年參加延人員三千名を突破して此種運動會における參加人員の斷然トップを切つてゐるが本年度も開催の報一度傳へられるや續々申込あり、去る廿日申込締切と同時に整理に着手し漸く二十三日をもつてこれが整理を終へプログラムを左の如く編成することになつた、即ち參加延人員三千五百有餘名、競技回數二百十一回といふ盛觀振りである

トラックの部
▲六十米競走午前八時（八回）
▲百米競走　八時十分（六十八回）
▲八百米　九時二十分（十九回）
▲提灯競走　九時四十五分（九回）
▲五千米競走十時二十分（二回）
▲四百米競走十一時廿五分（十八回）
▲優勝盃返還式午後十二時二十分
▲假裝行列　十二時三十分
▲四百米リレー豫選一時（四回）
▲スプーン競走一時十分（七回）
▲千五百米競走二時（十回）
▲二百米競走二時三十分（卅一回）
▲二人三脚四時三十分（六回）
▲來賓競走（スプーン）
▲役員競走（變形二人三脚）　四時四十五分（三回）

フイールドの部
▲千米メドレーリレー四時五十分
▲千六百米リレー　五時十分
▲四百米リレー　五時二十分
　　四時五十分
▲砲丸投　午前八時（八回）
▲走巾跳　午前九時（八回）
▲騎馬合戰（早苗高小）
▲重荷競走十一時三十分（五回）　午前十一時十分
▲綱引　午後一時五分
▲青訓教練　一時三十分
▲軍隊體操　三時
▲走高跳　三時四十分（八回）

阿片專賣局 七月初旬に竣工

大連民政署裏に新築の阿片專賣局は工事九分通り竣工し目下下水道の工事中であるが七月初旬までには之れも完成するので同中旬までには現愛宕町の舊廳舍より移轉出來るであらうと

越鐵山手急行事件の公判

【東京二十四日發電】昭和五大疑獄のうち越鐵、山手急行事件の第一回公判は七月十日開廷と決定せる旨二十四日各被告に通達した、裁判長は小林謙氏、檢事は石郷岡岩男氏で辯護人は塚崎氏外十數名で永井亨博士等も出廷する

通學の中等生數を調査

現在大連男女中等學生の內汽車通學する者は約七十名ばかりあり、男學生は前部客車に、女學生は後部客車に乘る樣に規定されてゐるが、最近夏季に入つて汽車通學生も增加し朝夕の往復に混み合ふためにに自然男女間の區別がルーズになる嫌ひがあるので、石川神明高女校長は各校の汽車通學生の數を精確に調査し車輛不足の時には鐵道部に交渉のうへ增車して貰ふため、二十二日各校にあてそれぞれ照會狀を發した

日滿連絡會議
今秋十月大連で開く

【東京廿三日發電】滿鮮地方との連絡につき協議する日滿連絡會議は本年は今秋十月末大連にて開くことに內定した、會議には鐵道省、鮮鐵、滿鐵、大阪商船、北日本汽船、東支鐵道の各代表者出席時に一、滿洲行貨物の敦賀浦鹽並に神戸大連經由輸送を開始する件其他を協議

右滿洲行貨物は目下朝鮮經由によつてのみ輸送されてゐるが、ウスリー鐵道も既に恢復し、東京方面よりの物資輸送は浦鹽を經由の輸送路によれば甚だ利便なので、これを復活せしめんとするのであるなほ同時に西伯利鐵道のスピードアップに伴ひ滿鐵、鮮鐵ならびに我國有鐵道を通じその國際列車の指定も行はるゝ筈である

二度も飛込む 厭世の朝鮮人男

二十三日午前十時ごろ星ケ浦海岸にて艀舨を雇入れ舟が沖に出たところ突然身を躍らし投身自殺を圖つた男があり、直ちに船頭の劉茂順が飛込んで救ひ上げたがこの男は原籍朝鮮慶尚南道南海郡邑內面當時住所不定、洋食料理人趙信佑（三〇）といひ、本年一月來連し職を求めたが何處にも口がなく最近は衣食にも窮し三日三晩食はずの揚句、思ひ餘つて自殺を圖つたものと判明した、同人は一度救ひ上げられて船頭の隙を窺ひ再び飛び込んだが救はれ星ケ浦請願派出所安東巡査に引渡された

三國委員會決定事項

【東京二十三日發電】第九回極東大會三國委員會は二十三日午前十時より日本岸會長、山本忠興、澤田一郎、支那馬約翰、比島ファルガス、イラナン各代表出席、日本側の提案たる「オープン競技を廢止しすくなくとも極東の何れかの國に半月以上在住するアマチュアで、各地方の運動クラブに所屬する一般外人の參加を許す案」については支那側反對、比島は贊成し廿六日に再協議するに決し左の件を可決した

一、アマチュアの提議を確立し精神的意義をも瞭かにする事
一、陸上競技は次回より國際陸上競技聯盟の規則を採用する
一、陸上競技選手權をトラック、フイールド、混成競技の三種に分つ事

相生由太郎氏 襲名披露宴

福昌公司相生由太郎氏の襲名披露宴は百數十名を招待し二十三日午後六時半よりヤマトホテルにおいて開かれ、相生氏の挨拶に次ぎ村井啓太郎氏、來賓を代表し祝辭を述べ八時半、盛會裡に散會した

姫路第十師團に惡性流感猖獗

【姫路廿三日發電】姫路第十師團管下各部隊に昨今惡性流感猖獗してゐる、病狀は三十九度乃至四十度の高熱を發し惡寒腰痛起し甚だしきは腹痛下痢を催す、各部隊は豫防注射マスク等で蔓延防止に努めてゐる、罹患者は鳥取歩兵第四十聯隊四十五名、姫路騎兵第十聯隊十五名、野砲兵十名、十聯隊九十七名、輜重兵十大隊廿六名、歩兵三十九聯隊六十三名計二百四十六名である

漂泊ふ貞女

十一年間行方不明の夫と愛兒、を尋ねねて漂泊ふ貞婦の血と涙の物語、見よ！萬人皆哭く講談倶樂部六月號の大評判事實小說！

日本大相撲 九日目の勝負

【東京廿三日發電】日本大相撲夏場所九日目の勝負左の如し

勝	手	負
太郎山	打ちやり	駒錦
沖ツ海	寄り切り	綾ノ浪
荒熊	寄り出し	吉野山
若常陸	腰くだけ	幡瀨川
大島	打ちやり	古賀浦
常陸鶴	引き落し	藤ノ里
眞島	渡し込み	寶川
山錦	寄り倒し	若瀨川
綾櫻	肩すかし	鏡岩
清水川	外掛け	出羽岳
雷ノ峰	寄り切り	和歌島
劍岳	下手投げ	信夫山
朝汐	小手投げ	玉碇
玉錦	掬ひ投げ	武藏山
能代潟	上手投げ	常陸岩
豐國	押し倒し	新海
大ノ里	突き出し	若葉山
天龍	寄り切り	宮城山
錦洋	不戰一勝	常ノ花

打出し午後五時五十五分

海軍記念祭

大連神社に於ては當日午前十時より水谷民政署長事務取扱及び田中市長その他氏子役員等參列のうへ海軍記念祭典を執行

來る二十七日は海軍記念日につき

自稱畫家暴る 酩酊カフエーで

市內藤町南山寮二號篤原方寄宿自稱畫家菱沼貞雄（三二）は二十二日午後十一時、強か酩酊し浪速町カフエーダイヤに立ち廻つたところ女給のサーヴイスが惡いと云つて暴れ出し、主人や女給を投げつけるなど狼藉中を大連署員に檢束された

相馬御風氏重態

【高田廿三日發電】新潟の鄉里に隱棲した文士相馬御風氏は廿二日午後顱心性脚氣を起し人事不省に陷り目下絶對安靜を保ち療養してゐるが重態である、氏は最近專ら良寬和尚の研究に沒頭し權威ある研究も尠くない

新潮信號設置請願

甘井子と大連港の航路を新設する事になつたことは既報の如くであるが、これに對しては甘井子航路浚渫作業船平島丸を主として航路開鑿に當らしめてゐたがこの平島丸に對し潮の高低を報ずるため報潮信號設置の許可方を海務局あて

長崎紡織減給 收益激減で

【長崎二十四日發電】長崎紡織會社は最近收益激減し今期配當三分減の意嚮なるが、鹿兒島支配人は二十二日突如二千名の工手（女工千六百名、男工四百五十名）に對し一齊給料六分減を申渡し、同時に寄宿舍の食費一割を引き下ぐる

子供の火弄び

二十二日午後零時ごろ市內大和町二十番地遞信局電柱置場から發火し堆積電柱が盛んに燃えつゝあるを通行人が發見、消防署の出動で鎭火した原因は大和町二四番地通信工夫公文良三郎二男靖（六）同町通信職工川崎方松田格司（六）同町通信職工久光勇太郎長男久一（七）の三名がコールタールの附着せる前記電柱の堆積場で燐寸を弄びたる爲め引火したものであるが、大連署では各保護者に對し子供の火弄びに注意するやう戒告を發した

大連鐵道事務所より請願して來た即ち大連港東港口北燈臺より千米を距る北防波堤上に報潮人控室を作り長さ九メートル通十八センチメートルの松丸太に、白、赤、白赤の三種旗を利用して潮の高低を報告するものであると

後進を指導し角界のため盡力
引退聲明の常ノ花語る
餘り突然に協會側も狼狽

【東京廿三日發電】横綱常ノ花の土俵引退の聲明は餘り突然であつた爲め協會では非常に狼狽し、二十三日朝から協會幹部は全部某所に集り善後策を考究中であるが、出羽ノ海部屋でも常ノ花が引退することは親方以外一人も知るものなく、二十三日午前十時半ごろ親方から三役に對し話があつただけである、この報を聞いた出羽海部屋の力士は全部稽古から各自の部屋に引揚げ

感慨に

耽つてゐるが、同部屋における常の花の人望が非常なものであつただけ皆仰天の態である、引退聲明書發表後常の花は語る

自分は相撲道の爲めならどんな犧牲でも忍ぶ積りであるがもう體が續かない、そこで今後は將來に向つて後進を指導し角界の爲めに盡したいと思ふ

西部內蒙古 東省が測量
國防計畫のため

東北省當局は蘇の露支抗爭以來邊境の防備に全力を擧げ諸般の設備計畫をしてゐるが、西部內蒙古地方は露國と接壤し國防上最も重要なる地域であるにも拘らず未だ完全の地圖さへなき有樣なるより、今回該地方の地理を明かにし國防計畫を樹立すべく測量班を派遣することに決した、同班は測量局三角科班長王向生を主任とする五十名で、本月十九日打通線を經て蒙古に入るべく奉天を出發したと

航空母艦にテレビジョン
米發明家試驗

【スケネクタデイー（ニューヨーク州）二十三日發】電氣工學の權威で發明家であるアレキサンダーソン博士は航空母艦サラトガについて戰時のテレビジョン實用について試驗をする旨發表した、即ちテレビジョンの利用は學理的には飛行機上より敵地の偵察寫眞放送等に使用され得る筈で博士は今度の戰爭はテレビジョンといふ電氣の目を持つた操縱士無しの然かも電氣によつて爆彈投下が出來る飛行機によつて戰はれることゝならうと豫言した

簡保健康相談所

關東廳遞信局が大連愛宕町四十二番地に開設した簡易保險健康相談所は三十一日正午同所に於て開所式を行ふと

海底爆破作業

寺兒溝第一棧橋東側の第二棧橋築造位置の海底岩盤破碎のため廿五日より來月三十日まで同地において爆藥を使用するから附近航行船舶は注意されたいと

遊覽船の臨時檢査

沙河口署保安係では事故豫防策として來る廿六日より星ケ浦一帶の遊覽艀舨および船頭の臨時檢査を行ふと

日活現代劇臺本より

この母を見よ（一〇）

崎面座同人構成

映畫キャスト

原作	エリイザ、オルゼシユコ「寡婦マルタ」より
脚色	八木保太郎
監督	田坂具隆
撮影	伊佐山三郎
父	桑木元　南部章三
母	倭子　瀧花久子
子	中子　松平千鶴子
街の女	群子　入江たか子
おみつ	英百合子
乾氏夫人	佐久間妙子
臼田夫人	津島ルイ子
娘瑠璃子	小西節子
婦人用品店主	常盤操子
よね	島村靜子
滿村等	大原仁美
大村書店主	村田廣壽

つたやうな、驚いたやうな表情をした。

十志子が質問をした。

しかし倭子はすぐ答へる事が出來なかつた。

倭子は本のページをめくり始めた。明らかに倭子は答へなければならない言葉を本の中から求めやうとしてゐるのであつた。

等のおどけた顏

わが女神の君には
大分苦戰の體に
お見うけ申すな
どうやらあのちびの
小ざかしき質問に
答へが出來ないらしい

足を爪立てゝ等は扉から離れ、

重い織物の隙間から覗いてゐる眼の持主は等である。

等はツト織物から離れた。

夫人が出て來て無言のまゝ等の前を通り次の部屋へ入つて行つた。

等はまた覗きはじめたが、やがて部屋の眞中に立つて、兩手を上へあげ、じつと天井を見つめてゐた。そのお芝居めかしい姿勢に伴ふ誠實な表情が又ひどくお芝居風であつた。

倭子は彼女の前に置かれた書物を一冊々々繰擴げ始めた。

そしてハタと當惑の色が其の顏に現はれて來た。

それらの書物から、十志子が今までに隨分澤山學んで、もう可なり高い程度に進んで居る事を知つたからである。

等は又覗き始めた

僕はあの人を
あらゆる僕の女神達の
女王にしようと思ふ—
若き未亡人
僕は女の蒼白い顏や
憂愁に沈んだ眼が
大好きなんだ！

等はかう呟やくとひよいと頭を上げた。さうして出來るだけ大きく眼を見開き、訴へるやうな、

二階に皈つて來た倭子の足には全く力がぬけて居た。

眼ょ下ばかり見つめて、顏には深い懊悩の影が動く。

中子が喜びの聲を立てゝ抱きついて來ても、唯一寸と手を握つただけであつた。

下宿の階下

茶の間では亭主と女房が倭子達の噂をしながら夕飯を喰べてゐる

中子は母の顏が深い惱みに鎖つてゐるのを知つた。

お母樣
お仕事がなかつたの

俐巧さうな中子の瞳が不安に瞬いて見えた。（寫眞は英百合子、星ヘヤタ瀧花久子）

窓際に立つた。そして硝子越しに眼を人混みの賑やかな往來へ外らした。

十志子がリーダーを讀んで居る

不安さうに聞いてゐる倭子。

第二の質問が出された。

倭子は矢張すぐ答へる事が出來なかつた。

本をめくる手が慄へ出した。

濟みませんが
お孃さん
明日までお待ち
下さいませんか

年齡よりも智的に發達してゐる十志子の口邊に、一寸した優越の微笑が浮んだ。

古本屋—

倭子は薄暗い、そして埃ぽい本棚の前に立つて居た。

初等英文法
算術難問題解釋

だけ値段の安いのを選んで

滿日文藝

滿日柳壇

『袖』

皮口　秋水
いゝ柄を番頭片袖にかけて見せ
迷信者佛の袖へしがみつき

昌圖　俊子
無理止めをされて袖口釘でさき
袖付の破れへ格氣の目が光り

旅順　辰雄
振袖のポツクは鈴の音で行き
紊見の袖は格子へ喰ひ込まれ

昌圖　柳川
振られたる袖に未練な目が殘り
買ひ物の袖は風呂敷だけはいり

大連　佛心
團結の袖を連らねて立ち上り

旅順　永眠坊
領袖も野黨になつて冴えぬ顏

奉天　奇峰
振袖に親の苦心を見せる稚子

滿日勝繼聯珠（卅六）

中央聯珠社大連支部第一次戰譜
第十一回（その二）
二段　大田房孤雁（大連）
先　山田源次郎（大連）

▲二十五種中指定（一號桂馬月五珠二題打）

【四段井村永治講評】

▲黒（十一）感想の如く（十二）に打ち次に「イ」に組む趣向を狙ふ方手廣くしてよい。白（十二）當然である。黒（十三）以下非常に難しい局面となつた、白（十八）反對も強い然し圖も亦種々の味のある防ぎでそれは對局當事者自身のその時の心持次第の處で何れとも云へぬ。黒（十九）今引いておかねばならぬといふ緊急の時でない故これは單に（二十一）と組む方含みがあつて面白い。黒（二十一）此の場合これより他なからう（十三）以下ここまで組む力量を認める。白（二十二）よろしい。最も急所なる華感想の如くである。黒（二十三）當然の防ぎである。

▲感想【山田曰く】（十二）は（十一）に打つた方が有利でした（十八）局に於ける強防でせう（十八）は堅く反對にあつた【山田曰く】二（二）に打 急所でせう……